

平成 23 年度

まちづくりアンケート 報告書

平成 24 年 3 月



長野市

は じ め に

この「まちづくりアンケート」は、市民の皆様のご意見・ご要望をお聴きし、市政に反映させることを目的として、昭和 57 年度から毎年度実施しております。

この調査から得られた結果を十分精査し、より正確でスピーディーな事務処理や、きめ細かな行政サービスに努めてまいります。

また、本市の魅力をさらに高め、都市の活力や市民福祉の向上を図る施策を積極的に展開し、市民の皆様が、長野市に住むことに誇りと喜びが持てるとともに、安心して住むことができるようなまちづくりに、引き続き全力を尽くしてまいります。

平成 24 年度から、「第四次長野市総合計画後期基本計画」がスタートいたします。本計画は、地域が育んできた歴史や文化などの資源を生かしながら、「自分たちの地域は自分たちでつくる」を理念に、住民と行政の協働による、持続・発展する地域社会を実現し、本市の存在感を高めていくことを目指しております。この地で結ばれる全ての人々とともに、将来の「夢」を語り合える、希望あふれるまちを築き上げるため、今後一つ一つの施策を着実に進めてまいります。

結びに、本アンケートの実施に当たり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後も市政に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 24 年 3 月

長野市長 鷺澤 正一

目 次

1 調査の概要	1
2 調査分析結果	9
レジ袋について	10
健康について	18
公園での犬の散歩について	34
ウインタースポーツについて	46
支所における期日前投票時間について	68
災害への備えについて	72
第四次長野市総合計画 施策の指標項目	76
行政施策の満足度	83
行政施策の優先度	91
3 アンケート用紙	97

1 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、満足度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの（昭和 57 年度から毎年実施）

(2) 調査対象

長野市内に在住の 20 歳以上の男女

(3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成 23 年 10 月 16 日現在）からの等間隔無作為抽出

(4) 標本総数

5,100 人

(5) 調査方法

返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

(6) 調査期間

平成 23 年 10 月 25 日（火）から 11 月 8 日（火）まで

(7) 回収結果

有効（送達）標本数	5,093 通
無効（未送達、返送）標本数	7 通
回収標本数	3,335 通
回収率	65.5%

(8) 集計方法

電子計算機による集計（委託）

		有効標本数	構成比	回収数		回収率
全体		5,093	100.0%	3,335	(性別不明)	65.5%
20 歳代	男性	320	6.3%	97	1	30.3%
	女性	352	6.9%	184		52.3%
30 歳代	男性	470	9.2%	207	0	44.0%
	女性	472	9.3%	307		65.0%
40 歳代	男性	477	9.4%	248	2	52.0%
	女性	442	8.7%	335		75.8%
50 歳代	男性	430	8.4%	262	1	60.9%
	女性	429	8.4%	341		79.5%
60 歳代	男性	500	9.8%	345	4	69.0%
	女性	479	9.4%	412		86.0%
70 歳以上	男性	323	6.3%	253	11	78.3%
	女性	399	7.8%	314		78.7%
不明		-	-	11	-	-

(9) 調査項目

①回答者の属性

- | | |
|----------|--|
| A 地域区分 | 市街地地域、市街地周辺地域、犀南地域、松代・若穂、中山間地域 |
| B 性別区分 | 男性、女性 |
| C 年代区分 | 20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上 |
| D 職業区分 | [自営業主および家族従業員]
農業・林業・漁業、工業、商業・自由業
[会社員、公務員]
会社員（事務系・技術系）、公務員・教員
[その他]
主婦、パート・アルバイト、無職（学生含む）、その他 |
| E 居住年数区分 | 5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上 |

②設問テーマ

●レジ袋について（環境部 環境政策課）

レジ袋削減について市民の意識を調査し、今後の持参率向上に向けた有効な施策を検討するための資料とする。

●健康について（保健所 健康課）

長野市健康増進計画の進捗管理および評価ならびに「長野市健康づくり推進懇話会」の検討資料とする。

受動喫煙による健康被害を減らすことを目的に、その被害の実態を調査し、今後の喫煙マナー向上および全面禁煙施設の認定に役立てていくための資料とする。

●公園での犬の散歩について（都市整備部 公園緑地課）

犬の飼い主のマナーの実状および市民の意向を調査し、今後の公園管理の参考とする。

●ウインタースポーツについて（産業振興部 観光課）

市民のウインタースポーツに対する意識や取り組みの状況を把握するとともに、各施設へのニーズを調査し、今後の施設運営の在り方を検討する資料とする。

●支所における期日前投票時間について（選挙管理委員会事務局）

支所における期日前投票時間を午後7時まで暫定的に延長したが、今後の選挙における投票時間に対する市民の考え方を調査するもの

●災害への備えについて（総務部 危機管理防災課）

東日本大震災以降、防災に対する市民の関心が高まっているが、実際に各家庭で行われている防災に対する備えなどの実態を把握し、今後の防災対策に反映させるもの

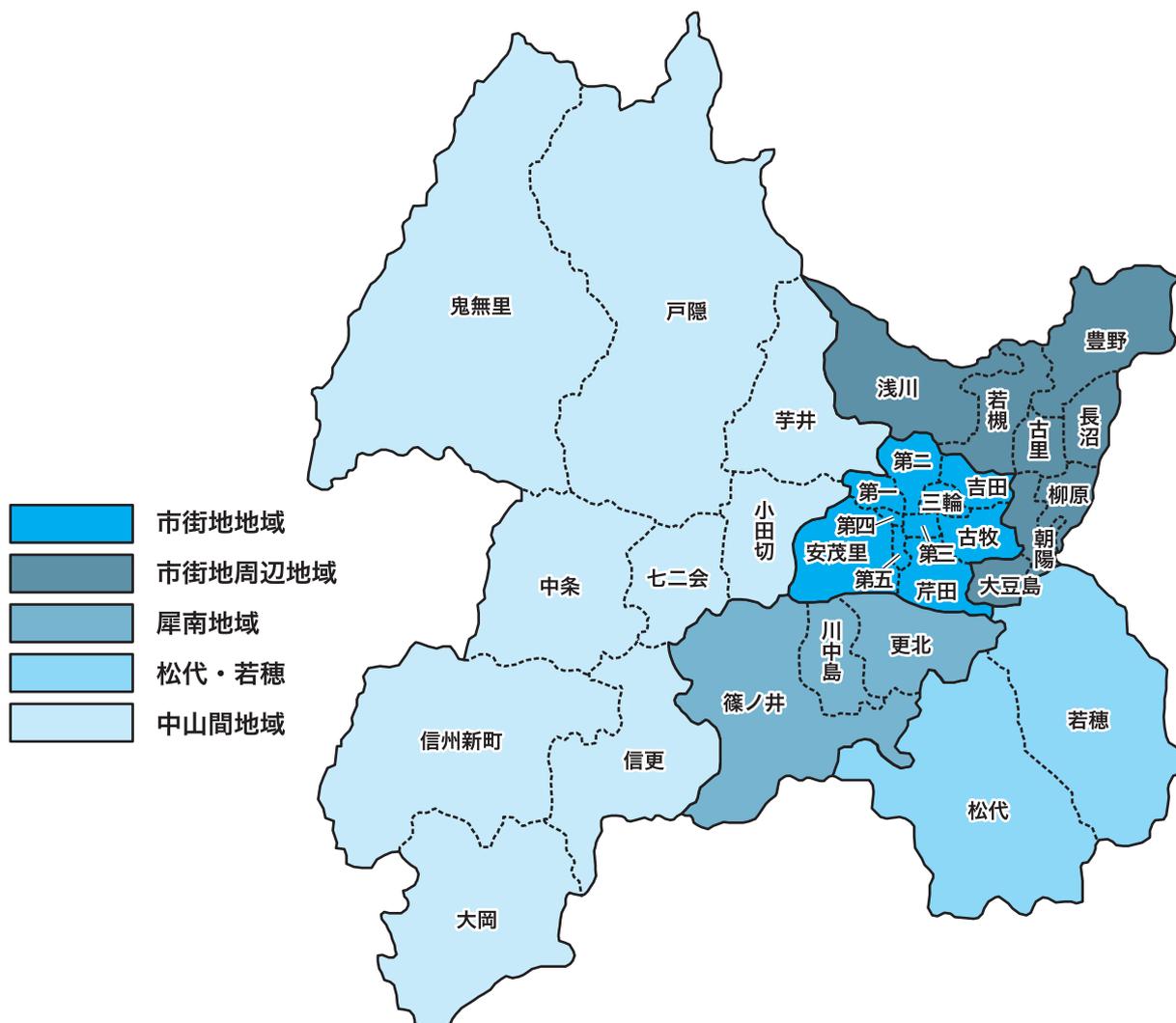
●その他市政全般（企画政策部 企画課）

行政施策の満足度、優先度などについて継続的に統計をとり、第四次長野市総合計画の指標などに活用する。

(10) 地域区分別回収状況一覧

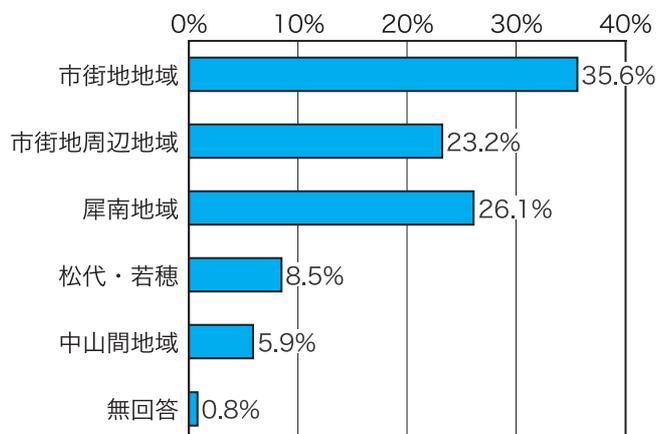
		抽出標本数			無効 標本数	有効 標本数	回収 標本数	有効標本 回収率
		男性	女性	合計				
市 街 地 域	第 一	40	43	83	0	83	61	73.5%
	第 二	88	80	168	0	168	100	59.5%
	第 三	68	56	124	0	124	55	44.4%
	第 四	20	15	35	0	35	26	74.3%
	第 五	37	28	65	0	65	36	55.4%
	芹 田	168	147	315	1	314	190	60.5%
	古 牧	165	174	339	1	338	229	67.8%
	三 輪	106	120	226	1	225	146	64.9%
	吉 田	110	115	225	1	224	153	68.3%
	安茂里	150	150	300	0	300	191	63.7%
	小計	952	928	1,880	4	1,876	1,187	63.3%
市 街 地 周 辺 地 域	古 里	81	103	184	0	184	115	62.5%
	柳 原	51	44	95	0	95	61	64.2%
	浅 川	50	47	97	0	97	70	72.2%
	大豆島	79	86	165	0	165	112	67.9%
	朝 陽	91	109	200	0	200	128	64.0%
	若 槻	117	151	268	0	268	175	65.3%
	長 沼	20	14	34	0	34	23	67.6%
	豊 野	66	66	132	0	132	89	67.4%
	小計	555	620	1,175	0	1,175	773	65.8%
犀 南 地 域	篠ノ井	266	275	541	1	540	358	66.3%
	川中島	174	182	356	1	355	246	69.3%
	更 北	229	207	436	1	435	265	60.9%
	小計	669	664	1,333	3	1,330	869	65.3%
松代 若穂	松 代	119	129	248	0	248	161	64.9%
	若 穂	91	81	172	0	172	121	70.3%
	小計	210	210	420	0	420	282	67.1%
中 山 間 地 域	小田切	6	13	19	0	19	15	78.9%
	芋 井	14	20	34	0	34	20	58.8%
	七二会	13	12	25	0	25	14	56.0%
	信 更	14	19	33	0	33	24	72.7%
	戸 隠	25	28	53	0	53	37	69.8%
	鬼無里	11	11	22	0	22	16	72.7%
	大 岡	9	6	15	0	15	10	66.7%
	信州新町	33	31	64	0	64	42	65.6%
	中 条	13	14	27	0	27	19	70.4%
	小計	138	154	292	0	292	197	67.5%
不明 (未記入)							27	-
合 計		2,524	2,576	5,100	7	5,093	3,335	65.5%

(11) 地域区分図

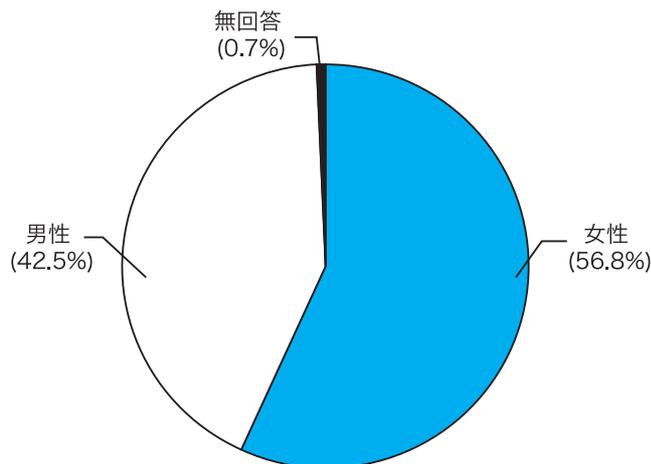


(12) 地域区分別サンプル構成

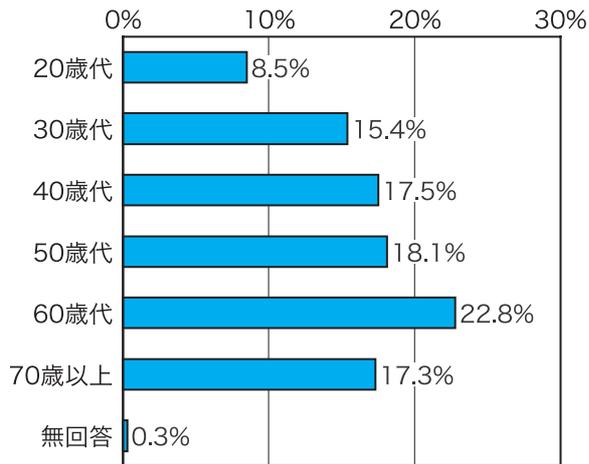
地域区分	地区名
市街地地域 (10地区)	第一地区、第二地区、第三地区、 第四地区、第五地区、芹田地区、 古牧地区、三輪地区、吉田地区、 安茂里地区
市街地周辺地域 (8地区)	古里地区、柳原地区、浅川地区、 大豆島地区、朝陽地区、 若槻地区、長沼地区、豊野地区
犀南地域 (3地区)	篠ノ井地区、川中島地区、 更北地区
松代・若穂 (2地区)	松代地区、若穂地区
中山間地域 (9地区)	小田切地区、芋井地区、 七二会地区、信更地区、戸隠地区、 鬼無里地区、大岡地区 信州新町地区、中条地区



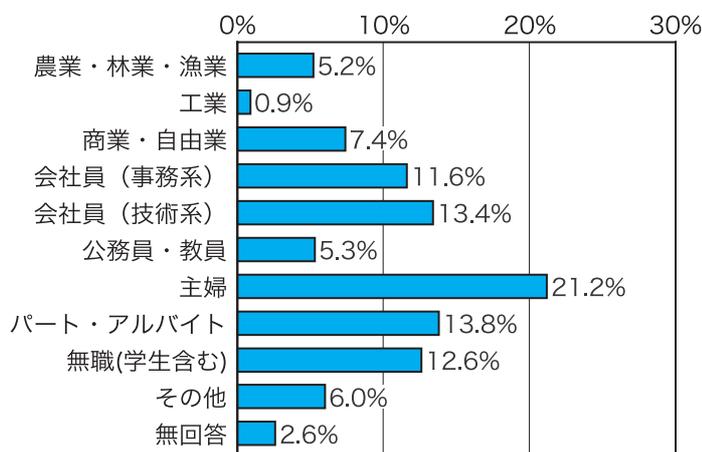
(13) 性別区分別サンプル構成



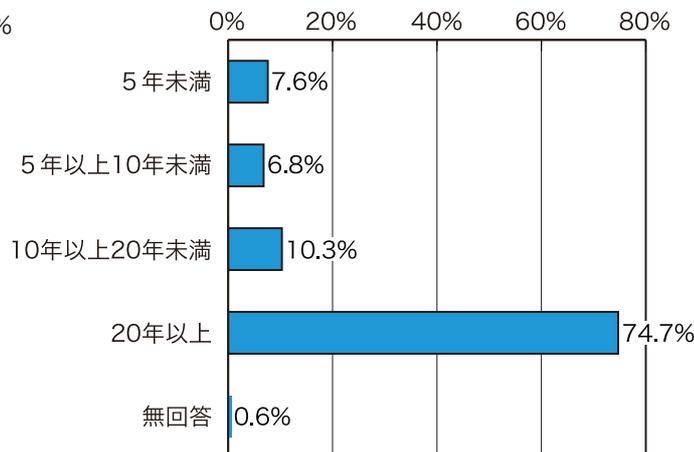
(14) 年代区分別サンプル構成



(15) 職業区分別サンプル構成



(16) 居住年数区分別サンプル構成



(17) 報告書の見方

- ①調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記している。従って、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。
- ②アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。
- ③属性別の結果については、特徴的なもの、資料として重要と思われるものについて分析した。なお、属性別にみた図表では、不明サンプルを表示していないため、標本数の合計が全体の標本数と異なる場合がある。
- ④設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上一部省略している場合がある。

(18) 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度は95%とする。

(注) 信頼度95%：同じ調査を100回実施したときに、おおむね95回まではこの精度が得られることを示す。

$$b=1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \cong 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b：標本誤差（±少数ポイント）

N：母集団（人）

n：標本数（人）

P：回答比率（少数）

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

回答比率と標本誤差（信頼度95%の場合）

回答比率 (P) 標本数 n (人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%
3,000	1.07	1.43	1.64	1.75	1.79
2,000	1.31	1.75	2.01	2.15	2.19
1,500	1.52	2.02	2.32	2.48	2.53
1,000	1.86	2.48	2.84	3.04	3.10
500	2.63	3.51	4.02	4.29	4.38
300	3.39	4.53	5.19	5.54	5.66

※上表は $(N-n)/(N-1) \cong 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

表の見方

例えば、ある設問の回答者数が1,500人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±2.48%ポイント以内（57.52～62.48%）である、と見ることができる。

2 調査分析結果

2 調査分析結果

レジ袋について

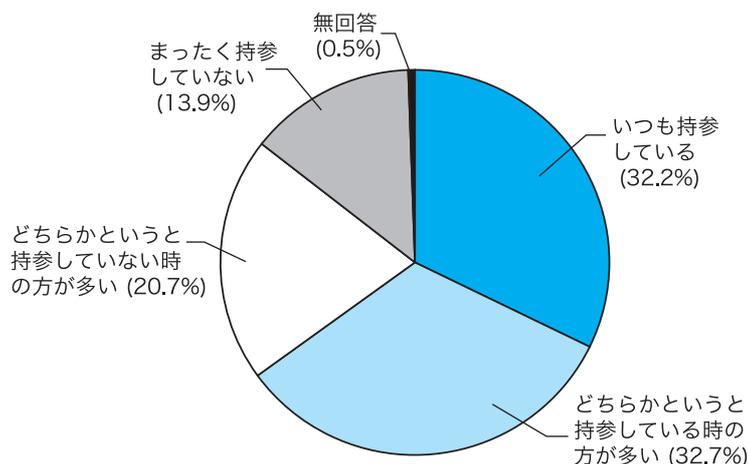
マイバッグ利用状況 ～およそ3分の2の市民がマイバッグを利用～

問1 あなたの家庭では、日常のお買い物をするとき、マイバッグ(買い物袋)を持参していますか。次の中から1つだけ○をしてください。

			いつも持参している	どちらかという と持参している 時の方が多い	どちらかという と持参していない 時の方が多い	まったく持参 していない	無回答	合計
全体		度数	1,075	1,092	690	462	16	3,335
		割合	32.2%	32.7%	20.7%	13.9%	0.5%	100.0%
性別	男性	度数	374	416	309	312	6	1,417
		割合	26.4%	29.4%	21.8%	22.0%	0.4%	100.0%
	女性	度数	692	672	376	148	6	1,894
		割合	36.5%	35.5%	19.9%	7.8%	0.3%	100.0%
年代	20歳代	度数	59	86	74	63	0	282
		割合	20.9%	30.5%	26.2%	22.3%	0.0%	100.0%
	30歳代	度数	100	185	132	97	0	514
		割合	19.5%	36.0%	25.7%	18.9%	0.0%	100.0%
	40歳代	度数	172	216	116	79	2	585
		割合	29.4%	36.9%	19.8%	13.5%	0.3%	100.0%
	50歳代	度数	195	214	115	79	1	604
		割合	32.3%	35.4%	19.0%	13.1%	0.2%	100.0%
	60歳代	度数	280	246	149	84	2	761
		割合	36.8%	32.3%	19.6%	11.0%	0.3%	100.0%
	70歳以上	度数	268	141	103	59	7	578
		割合	46.4%	24.4%	17.8%	10.2%	1.2%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	368	380	254	178	7	1,187
		割合	31.0%	32.0%	21.4%	15.0%	0.6%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	249	265	146	113	0	773
		割合	32.2%	34.3%	18.9%	14.6%	0.0%	100.0%
	犀南地域	度数	301	302	164	99	3	869
	割合	34.6%	34.8%	18.9%	11.4%	0.3%	100.0%	
	松代・若穂	度数	79	84	73	45	1	282
		割合	28.0%	29.8%	25.9%	16.0%	0.4%	100.0%
	中山間地域	度数	69	53	50	24	1	197
		割合	35.0%	26.9%	25.4%	12.2%	0.5%	100.0%

日常の買い物におけるマイバッグ(買い物袋)の持参状況については、「いつも持参している」が32.2%、「どちらかというと持参している時の方が多い」が32.7%となった。

およそ3分の2(64.9%)の市民が、マイバッグを利用している結果となった。



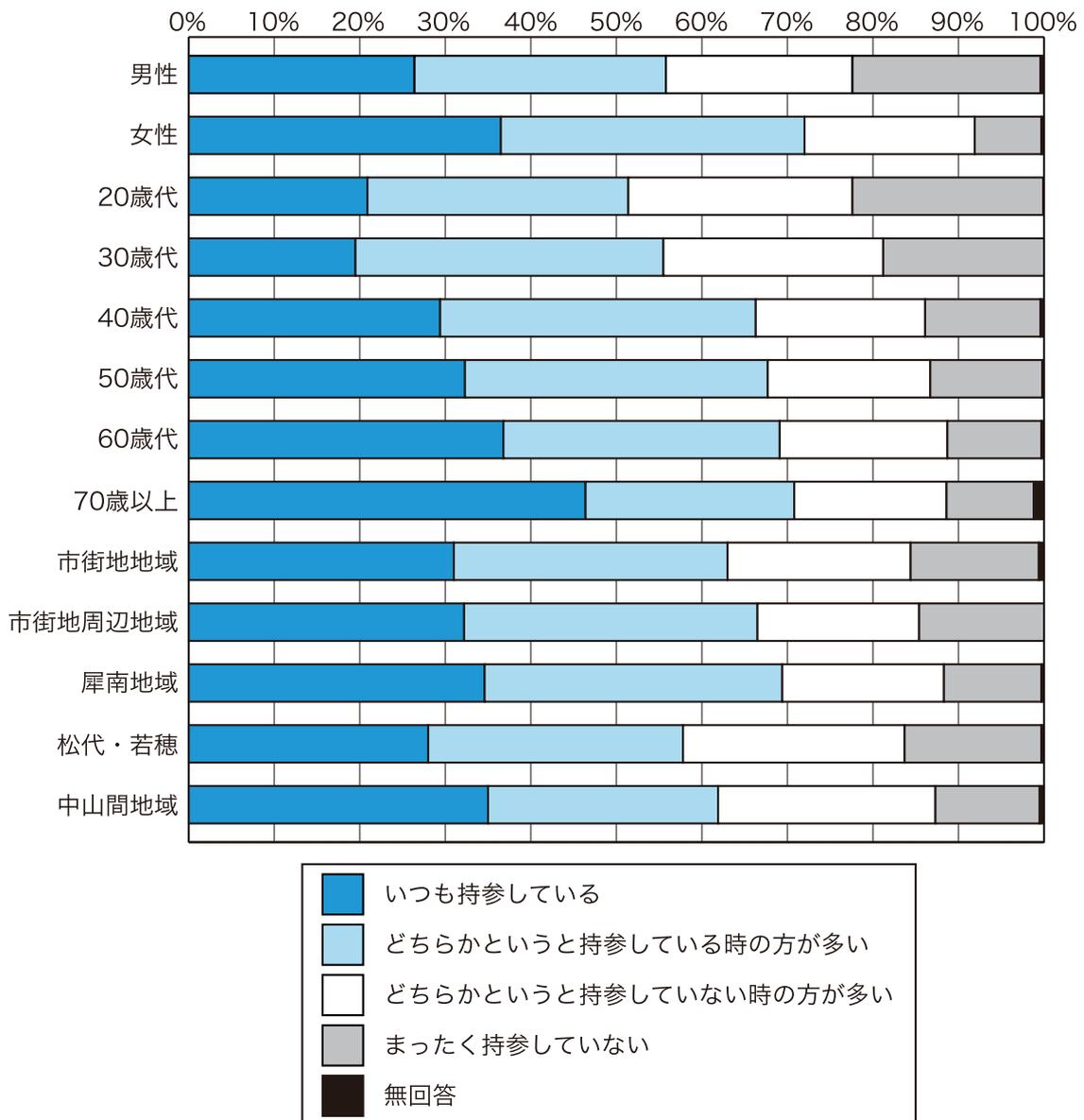
男女別でみると、「いつも持参している」という回答は、「男性 (26.4%)」よりも「女性 (36.5%)」の方が多。同様に、「どちらかというとき持参している時の方が多」という回答も、「男性 (29.4%)」よりも「女性 (35.5%)」の方が多。かつた。

「いつも持参している」、「どちらかというとき持参している時の方が多」という回答を合計すると、「男性」が55.8%であるのに対し、「女性」は72.0%となり、女性の7割がマイバッグを利用している。

年代別では、「いつも持参している」という回答が最も多かつた年代は「70歳以上 (46.4%)」で、「60歳代 (36.8%)」が続いた。

「いつも持参している」、「どちらかというとき持参している時の方が多」という回答を合計すると、「70歳以上 (70.8%)」が最も多、およそ7割の人がマイバッグを利用している。最も低かつたのは「20歳代 (51.4%)」で、「70歳以上」と19.4ポイントの開きが生じている。年代が高くなるにしたがつて、マイバッグの持参割合も高くなっている。

地域別では、「いつも持参している」という回答が最も多かつた地域は「中山間地域 (35.0%)」であった。「いつも持参している」「どちらかというとき持参している時の方が多」という回答の合計が最も多かつた地域は「犀南地域 (69.4%)」であった。

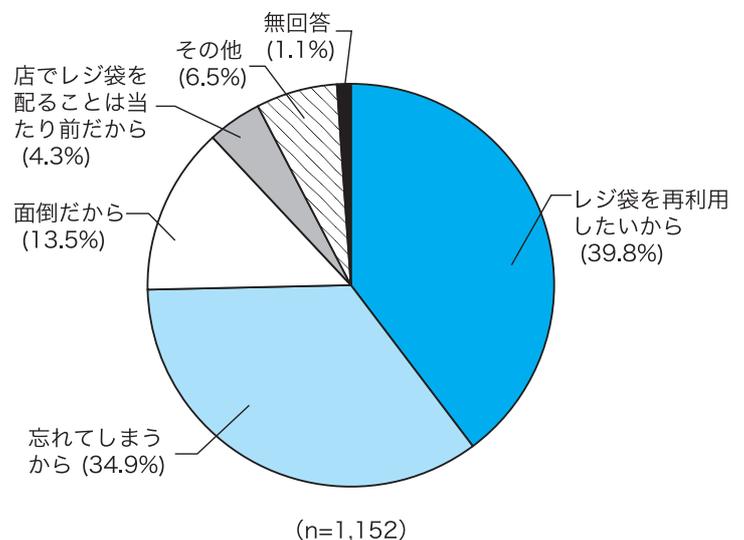


マイバッグを持参しない理由 ～「レジ袋を再利用」4割～

問2 問1で「どちらかという持参していない時の方が多い」または「まったく持参していない」に○をした方にお伺いします。マイバッグを持参しない主な理由に1つだけ○をしてください。

			面倒だから	忘れてしまうから	レジ袋を再利用したいから	店でレジ袋を配ることは当たり前だから	その他	無回答	合計
全体		度数	155	402	458	49	75	13	1,152
		割合	13.5%	34.9%	39.8%	4.3%	6.5%	1.1%	100.0%
性別	男性	度数	124	179	218	39	50	11	621
		割合	20.0%	28.8%	35.1%	6.3%	8.1%	1.8%	100.0%
	女性	度数	31	222	238	6	25	2	524
		割合	5.9%	42.4%	45.4%	1.1%	4.8%	0.4%	100.0%
年代	20歳代	度数	31	51	43	3	7	2	137
		割合	22.6%	37.2%	31.4%	2.2%	5.1%	1.5%	100.0%
	30歳代	度数	33	85	92	8	10	1	229
		割合	14.4%	37.1%	40.2%	3.5%	4.4%	0.4%	100.0%
	40歳代	度数	27	64	81	5	18	0	195
		割合	13.8%	32.8%	41.5%	2.6%	9.2%	0.0%	100.0%
	50歳代	度数	26	58	83	10	11	6	194
		割合	13.4%	29.9%	42.8%	5.2%	5.7%	3.1%	100.0%
	60歳代	度数	25	83	98	12	14	1	233
		割合	10.7%	35.6%	42.1%	5.2%	6.0%	0.4%	100.0%
	70歳以上	度数	12	60	61	11	15	3	162
		割合	7.4%	37.0%	37.7%	6.8%	9.3%	1.9%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	61	138	177	25	26	5	432
		割合	14.1%	31.9%	41.0%	5.8%	6.0%	1.2%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	38	93	99	8	19	2	259
		割合	14.7%	35.9%	38.2%	3.1%	7.3%	0.8%	100.0%
	犀南地域	度数	30	96	106	7	22	2	263
		割合	11.4%	36.5%	40.3%	2.7%	8.4%	0.8%	100.0%
	松代・若穂	度数	19	38	47	6	4	4	118
		割合	16.1%	32.2%	39.8%	5.1%	3.4%	3.4%	100.0%
	中山間地域	度数	7	33	27	3	4	0	74
		割合	9.5%	44.6%	36.5%	4.1%	5.4%	0.0%	100.0%

マイバッグを持参しない主な理由としては、「レジ袋を再利用したいから (39.8%)」が最多となった。「忘れてしまうから (34.9%)」がこれに続き、この2つの回答が、全体のおよそ4分の3 (74.7%) を占めた。

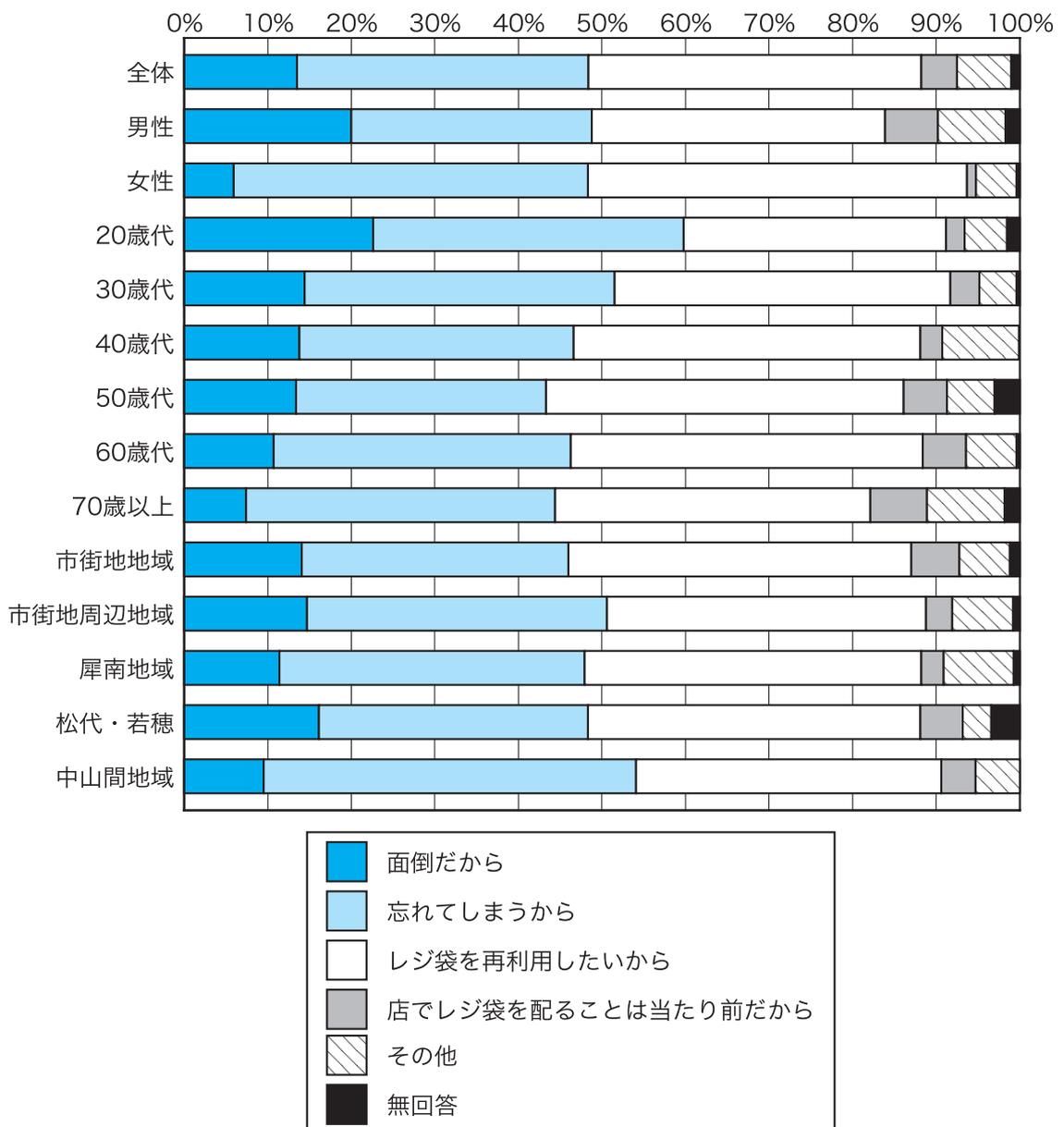


男女別で見ると、男女共に「レジ袋を再利用したいから」が最も多い回答となった。「女性」は、「レジ袋を再利用したいから (45.4%)」と「忘れてしまうから (42.4%)」が共に4割を超す回答となった。

「面倒だから」という回答は、「男性」が20.0%であるのに対し、「女性」は5.9%と、男女間で大きな差が見られた。

年代別では、「20歳代」では「忘れてしまうから (37.2%)」が最も多く、その他の年代では「レジ袋を再利用したいから」が最も多い回答となった。また、「20歳代」では「面倒だから (22.6%)」という回答が2割を超えた。

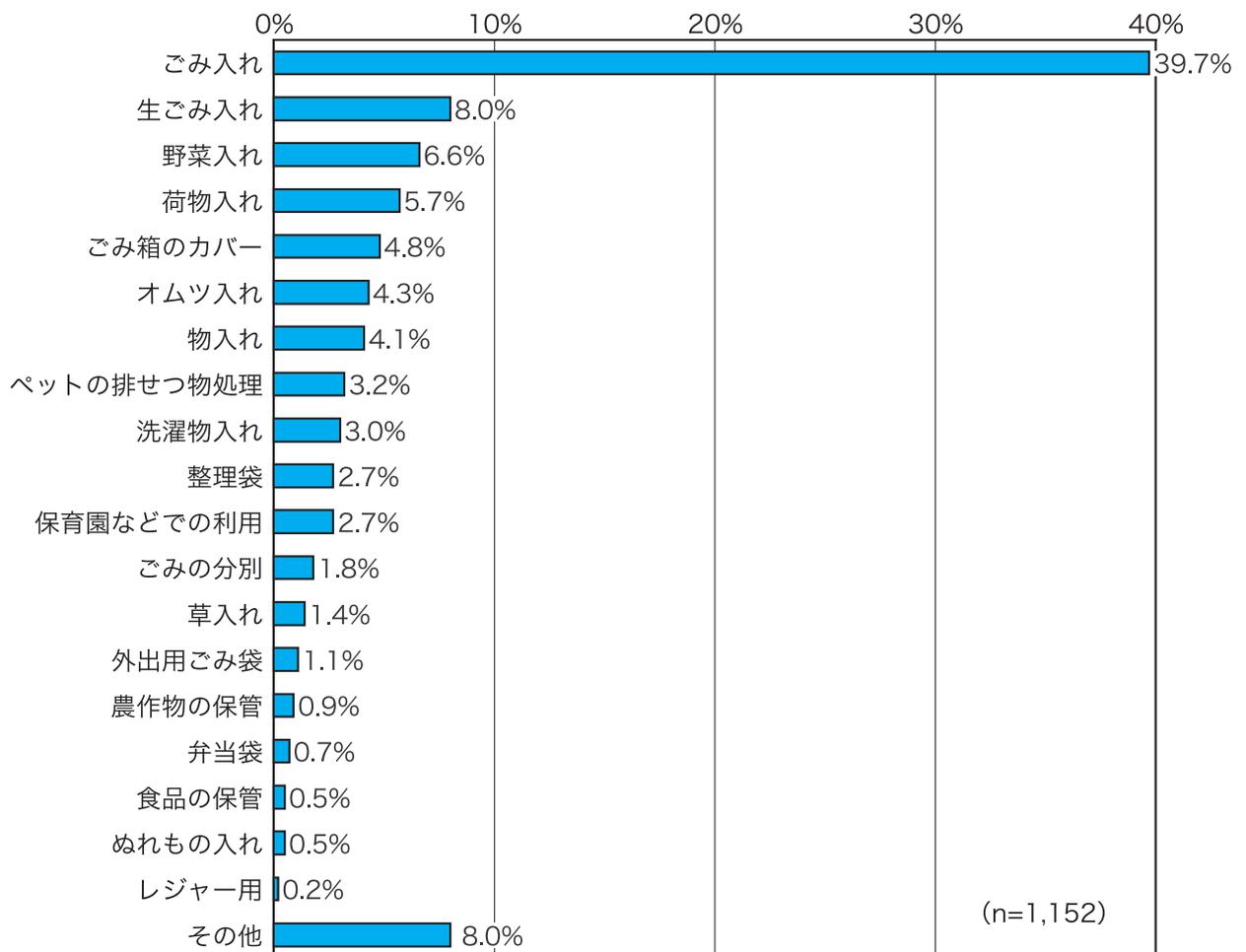
地域別では、「中山間地域」では「忘れてしまうから (44.6%)」が最も多く、その他の地域では「レジ袋を再利用したいから」が最も多い回答となった。



「レジ袋を再利用したいから」と回答した人に、主な用途を記載してもらった結果、次のグラフのとおりとなった。

最も多い用途は「ごみ入れ」としての利用であり、およそ4割となった。

「生ごみ入れ」としての利用がこれに続き、他にも「ごみ箱のカバー」や「オムツ入れ」といった回答が上位に入っている。主にゴミを入れておくために、レジ袋が再利用されていることが分かった。



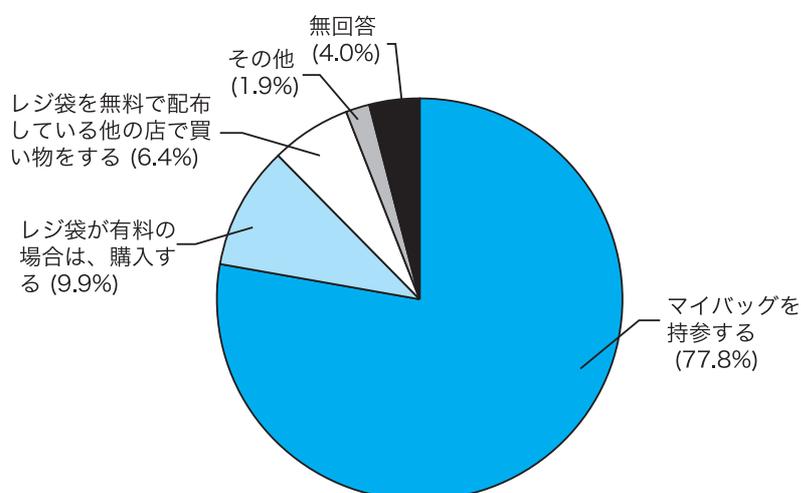
レジ袋がもらえない場合 ～「マイバッグを持参」8割～

問3 全員の方にお伺いします。買い物の際、レジ袋をもらえないとすれば、あなたはどうしますか。次の中から1つだけ○をしてください。

		マイバッグを持参する	レジ袋が有料の場合は、購入する	レジ袋を無料で配布している他の店で買い物をする	その他	無回答	合計
全体		度数 2,595	331	213	63	133	3,335
		割合 77.8%	9.9%	6.4%	1.9%	4.0%	100.0%
性別	男性	度数 994	205	126	28	64	1,417
		割合 70.1%	14.5%	8.9%	2.0%	4.5%	100.0%
	女性	度数 1,587	126	84	35	62	1,894
		割合 83.8%	6.7%	4.4%	1.8%	3.3%	100.0%
年代	20歳代	度数 212	27	19	5	19	282
		割合 75.2%	9.6%	6.7%	1.8%	6.7%	100.0%
	30歳代	度数 386	48	52	10	18	514
		割合 75.1%	9.3%	10.1%	1.9%	3.5%	100.0%
	40歳代	度数 456	50	43	17	19	585
		割合 77.9%	8.5%	7.4%	2.9%	3.2%	100.0%
	50歳代	度数 476	59	39	9	21	604
		割合 78.8%	9.8%	6.5%	1.5%	3.5%	100.0%
	60歳代	度数 600	83	38	16	24	761
		割合 78.8%	10.9%	5.0%	2.1%	3.2%	100.0%
	70歳以上	度数 459	63	22	6	28	578
		割合 79.4%	10.9%	3.8%	1.0%	4.8%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数 916	109	99	14	49	1,187
		割合 77.2%	9.2%	8.3%	1.2%	4.1%	100.0%
	市街地周辺地域	度数 613	73	41	19	27	773
		割合 79.3%	9.4%	5.3%	2.5%	3.5%	100.0%
	犀南地域	度数 687	81	44	22	35	869
		割合 79.1%	9.3%	5.1%	2.5%	4.0%	100.0%
	松代・若穂	度数 209	43	17	2	11	282
		割合 74.1%	15.2%	6.0%	0.7%	3.9%	100.0%
	中山間地域	度数 151	23	12	5	6	197
		割合 76.6%	11.7%	6.1%	2.5%	3.0%	100.0%

買い物の際、レジ袋をもらえない場合の行動としては、「マイバッグを持参する（77.8%）」が最も多く、およそ8割を占めた。

一方「レジ袋が有料の場合は、購入する」が9.9%、「レジ袋を無料で配布している他の店で買い物をする」が6.4%となり、レジ袋を求める人も1割を超えることが分かった。



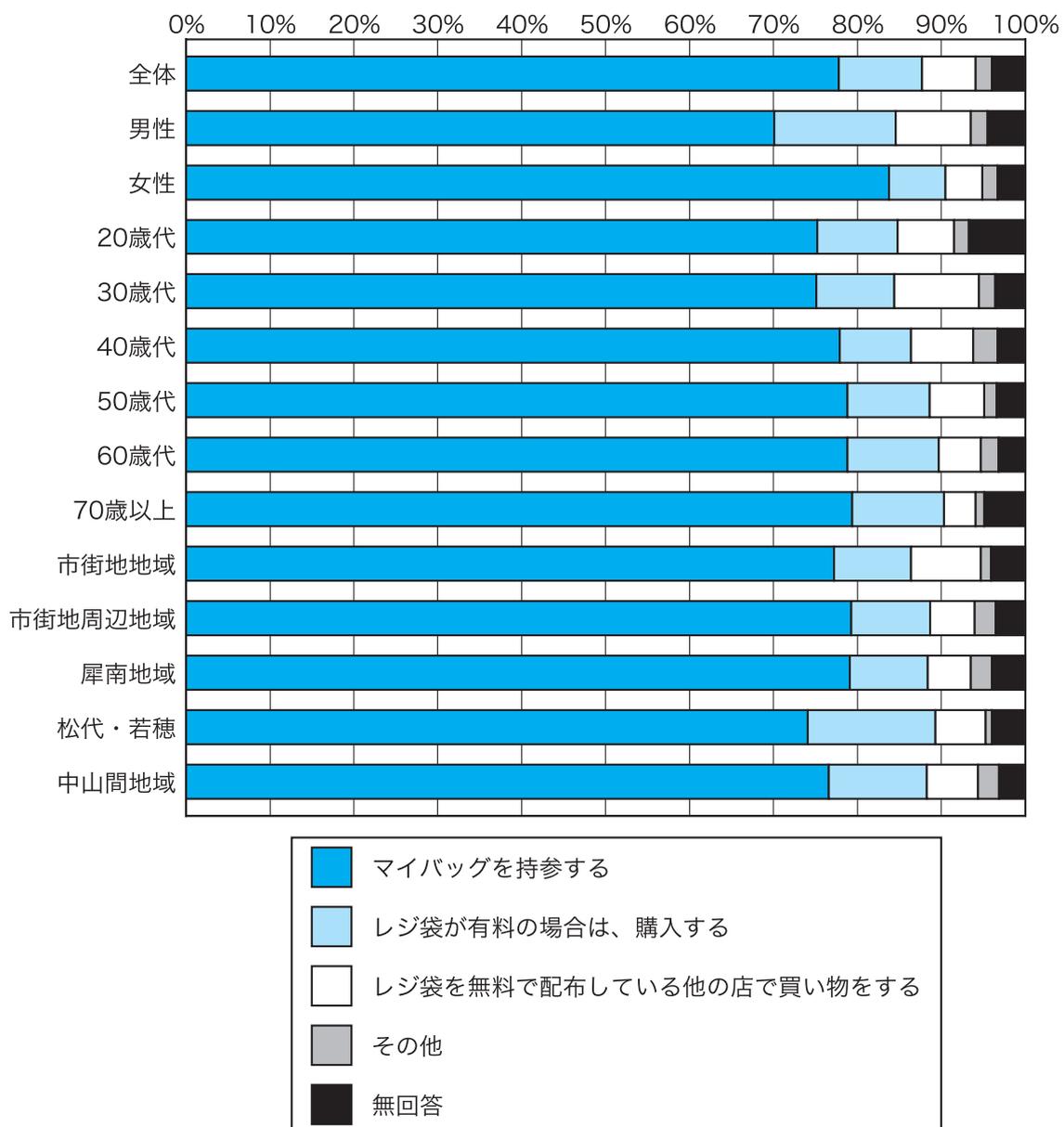
男女別で見ると、「マイバッグを持参する」という回答は「男性（70.1%）」よりも「女性（83.8%）」の方が多く、10ポイント以上の開きがある。一方で、「レジ袋が有料の場合は、購入する」という回答は「女性（6.7%）」よりも「男性（14.5%）」の方が多かった。

年代別では、「マイバッグを持参する」という回答は、年代が高くなるにしたがって高くなる傾向にあり、「70歳以上（79.4%）」ではおよそ8割となった。

「レジ袋が有料の場合は、購入する」という回答では、「60歳代」と「70歳以上」で1割を超えた。

また、「レジ袋を無料で配布している他の店で買い物をする」という回答は、「70歳以上」が3.8%であるのに対し、「30歳代」では10.1%と、考え方に違いが見られる。

地域別では、傾向に大きな違いは見られないが、「レジ袋が有料の場合は、購入する」という回答は、「松代・若穂（15.2%）」と「中山間地域（11.7%）」で1割を超えている。



問1（マイバッグの持参状況）の回答別に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		マイバッグを 持参する	レジ袋が有料 の場合は、購 入する	レジ袋を無料 で配布してい る他の店で買 い物をする	その他	無回答	合計	
全体	度数	2,595	331	213	63	133	3,335	
	割合	77.8%	9.9%	6.4%	1.9%	4.0%	100.0%	
問1 回答結果	いつも持参している	度数	1,000	33	14	7	21	1,075
		割合	93.0%	3.1%	1.3%	0.7%	2.0%	100.0%
	どちらかという持参し ている時の方が多い	度数	924	88	40	21	19	1,092
		割合	84.6%	8.1%	3.7%	1.9%	1.7%	100.0%
	どちらかという持参し ていない時の方が多い	度数	450	109	59	21	51	690
		割合	65.2%	15.8%	8.6%	3.0%	7.4%	100.0%
	まったく持参していない	度数	212	100	99	14	37	462
		割合	45.9%	21.6%	21.4%	3.0%	8.0%	100.0%
	無回答	度数	9	1	1	0	5	16
		割合	56.3%	6.3%	6.3%	0.0%	31.3%	100.0%

問1でマイバッグを「まったく持参していない」と回答した人で見ると、本設問で「マイバッグを持参する」という回答は45.9%となり、半数に満たなかった。一方、「レジ袋が有料の場合は、購入する」が21.6%、「レジ袋を無料で配布している他の店で買い物をする」が21.4%となり、共に2割を超えた。

健康について

がん検診 ～子宮がんの受診が最多～

問4 昨年度(平成22年4月から平成23年3月までの期間)にあなたが受けたがん検診(勤務先などの検診や人間ドックを含む)について、当てはまる欄すべてに○をしてください。

		胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん (女性のみ)※1	子宮がん (女性のみ)※1	前立腺がん (男性のみ)※1	無回答 ※2	対象	女性	男性	
全体		度数	967	763	935	569	627	180	1,575	3,335	1,894	1,417
		割合	29.0%	22.9%	28.0%	30.0%	33.1%	12.7%	47.2%	-	-	-
性別	男性	度数	490	391	439	-	-	180	735	1,417	-	1,417
		割合	34.6%	27.6%	31.0%	-	-	12.7%	51.9%	-	-	-
	女性	度数	472	369	492	569	627	-	823	1,894	1,894	-
		割合	24.9%	19.5%	26.0%	30.0%	33.1%	-	43.5%	-	-	-
年代	20歳代	度数	3	5	3	12	42	0	225	282	184	97
		割合	1.1%	1.8%	1.1%	6.5%	22.8%	0.0%	79.8%	-	-	-
	30歳代	度数	65	47	52	84	141	4	304	514	307	207
		割合	12.6%	9.1%	10.1%	27.4%	45.9%	1.9%	59.1%	-	-	-
	40歳代	度数	179	145	160	142	151	11	246	585	335	248
		割合	30.6%	24.8%	27.4%	42.4%	45.1%	4.4%	42.1%	-	-	-
	50歳代	度数	240	189	210	148	140	45	239	604	341	262
		割合	39.7%	31.3%	34.8%	43.4%	41.1%	17.2%	39.6%	-	-	-
	60歳代	度数	294	228	271	127	105	75	317	761	412	345
		割合	38.6%	30.0%	35.6%	30.8%	25.5%	21.7%	41.7%	-	-	-
	70歳以上	度数	184	147	235	55	48	45	238	578	314	253
		割合	31.8%	25.4%	40.7%	17.5%	15.3%	17.8%	41.2%	-	-	-
地域区分	市街地地域	度数	322	252	316	185	219	48	590	1,187	668	513
		割合	27.1%	21.2%	26.6%	27.7%	32.8%	9.4%	49.7%	-	-	-
	市街地周辺地域	度数	226	168	210	137	150	42	370	773	458	311
		割合	29.2%	21.7%	27.2%	29.9%	32.8%	13.5%	47.9%	-	-	-
	犀南地域	度数	266	218	267	167	185	51	369	869	493	371
		割合	30.6%	25.1%	30.7%	33.9%	37.5%	13.7%	42.5%	-	-	-
	松代・若穂	度数	84	73	79	44	43	20	134	282	155	124
		割合	29.8%	25.9%	28.0%	28.4%	27.7%	16.1%	47.5%	-	-	-
	中山間地域	度数	67	51	62	36	28	19	90	197	105	92
		割合	34.0%	25.9%	31.5%	34.3%	26.7%	20.7%	45.7%	-	-	-

※1 女性もしくは男性のみを母数として回答割合を求めている。

※2 無回答は、全てのがん検診を受診していない、または意思表示なし。

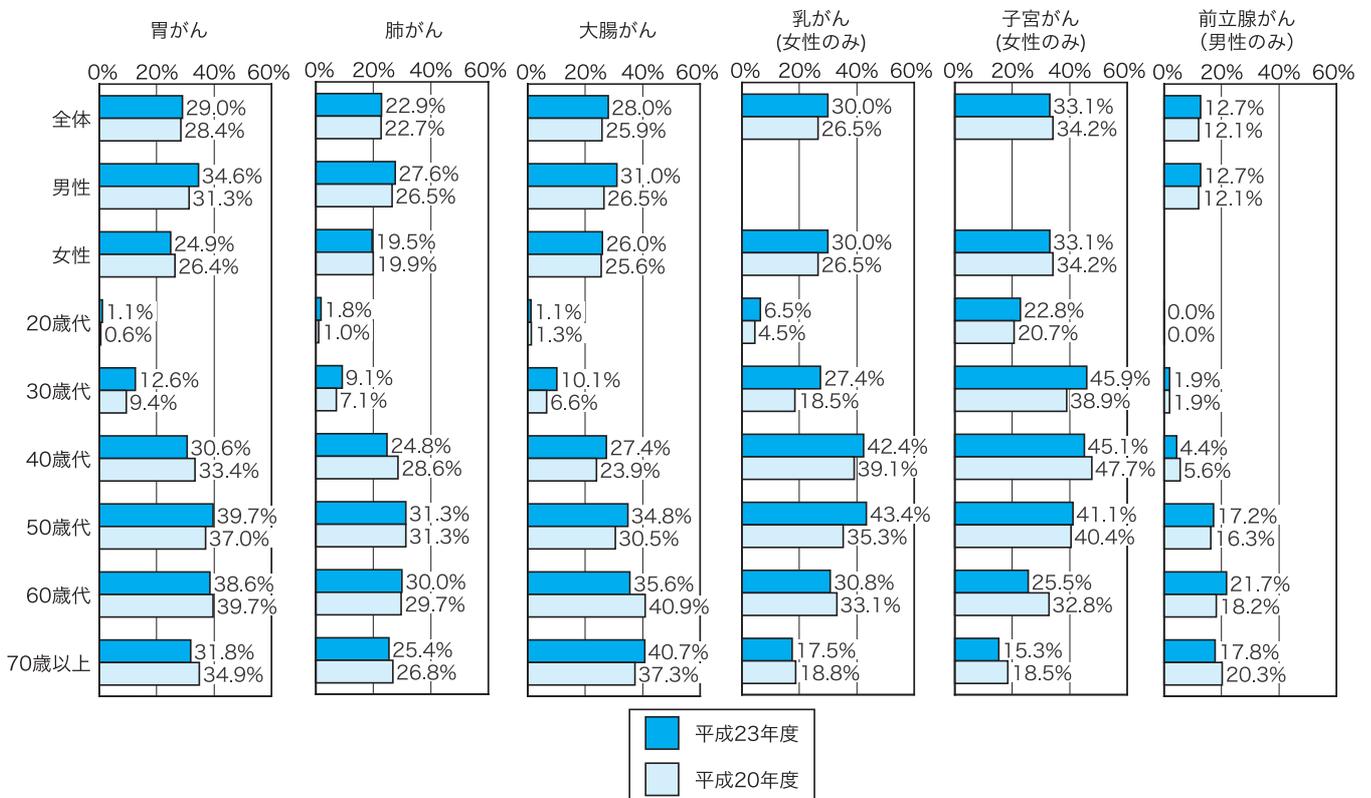
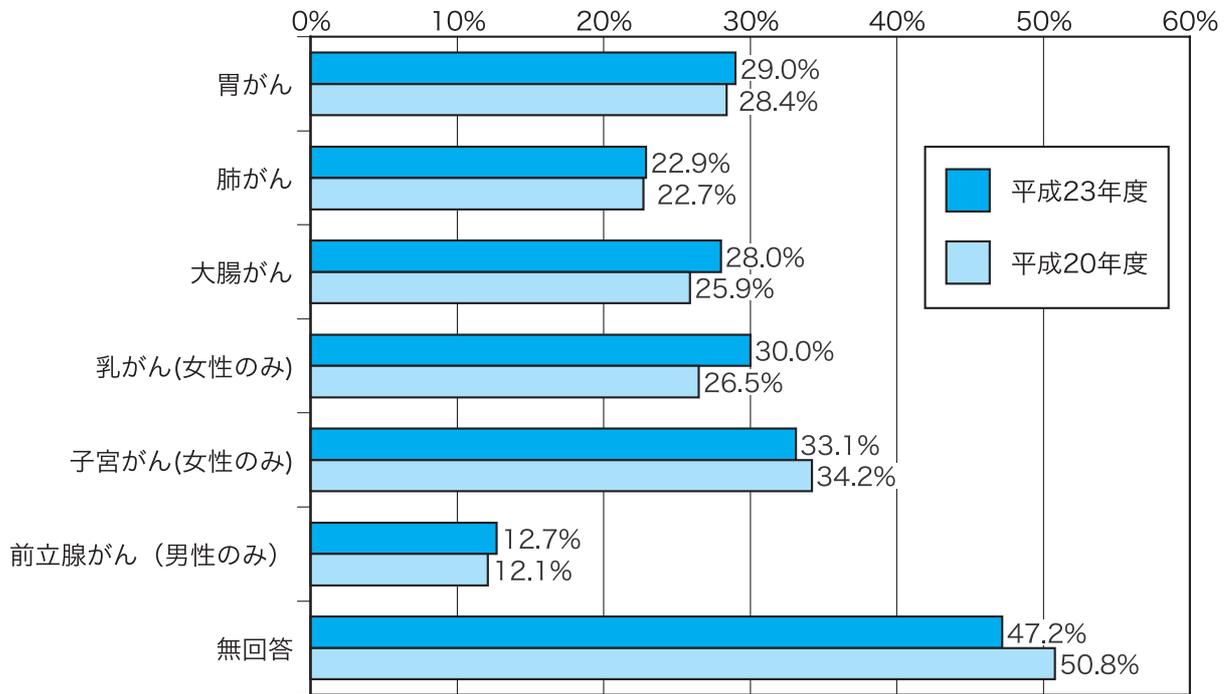
がん検診の受診状況としては、「子宮がん(33.1%)」の受診率が最も高い。次に、「乳がん(30.0%)」、「胃がん(29.0%)」と続いている。「子宮がん」および「乳がん」は女性のみ対象の検診

男女別で見ると、男女ともに受診対象となるがん検診(胃がん、肺がん、大腸がん)の受診率は、いずれも「男性」が「女性」を上回っている。中でも「胃がん」の受診率は、「男性(34.6%)」が「女性(24.9%)」をおよそ10ポイント上回っている。

年代別では、「胃がん」、「肺がん」および「乳がん」の受診率は「50歳代」が最も高い。「大腸がん」は「70歳以上」が、「前立腺がん(男性のみ対象)」は「60歳代」が最も高くなっている。一方、「子宮がん」については、「30歳代」の受診率が最も高くなっている。

「20歳代」は、「無回答(全ての検診を受診していない、または意思表示なし)」の割合が最も高く、およそ8割となった。

平成20年度に実施した調査結果と比較すると、子宮がんを除いて、平成23年度の受診率が平成20年度の受診率を上回っている。



職業別に回答結果を集計すると、下表のとおりとなる。

			胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん (女性のみ)	子宮がん (女性のみ)	前立腺がん (男性のみ)	無回答	対象		
										女性	男性	
全体	度数	967	763	935	569	627	180	1,575	3,335	1,894	1,417	
	割合	29.0%	22.9%	28.0%	30.0%	33.1%	12.7%	47.2%	-	-	-	
職業	農業・林業・漁業	度数	69	54	71	22	17	22	67	172	72	98
		割合	40.1%	31.4%	41.3%	30.6%	23.6%	22.4%	39.0%	-	-	-
	工業	度数	4	5	7	1	2	3	19	30	6	24
		割合	13.3%	16.7%	23.3%	16.7%	33.3%	12.5%	63.3%	-	-	-
	商業・自由業	度数	71	60	65	31	30	17	125	246	103	142
		割合	28.9%	24.4%	26.4%	30.1%	29.1%	12.0%	50.8%	-	-	-
	会社員(事務系)	度数	127	94	106	70	75	21	180	386	187	199
		割合	32.9%	24.4%	27.5%	37.4%	40.1%	10.6%	46.6%	-	-	-
	会社員(技術系)	度数	136	110	108	28	41	29	235	446	101	343
		割合	30.5%	24.7%	24.2%	27.7%	40.6%	8.5%	52.7%	-	-	-
	公務員・教員	度数	90	68	80	36	37	19	52	178	68	110
		割合	50.6%	38.2%	44.9%	52.9%	54.4%	17.3%	29.2%	-	-	-
	主婦	度数	197	142	209	186	207	-	308	708	700	0
		割合	27.8%	20.1%	29.5%	26.6%	29.6%	-	43.5%	-	-	-
	パート・アルバイト	度数	88	94	102	137	148	5	209	460	396	64
		割合	19.1%	20.4%	22.2%	34.6%	37.4%	7.8%	45.4%	-	-	-
	無職(学生含む)	度数	108	83	117	15	17	44	231	421	104	312
		割合	25.7%	19.7%	27.8%	14.4%	16.3%	14.1%	54.9%	-	-	-
その他	度数	55	40	46	25	34	18	102	200	105	94	
	割合	27.5%	20.0%	23.0%	23.8%	32.4%	19.1%	51.0%	-	-	-	

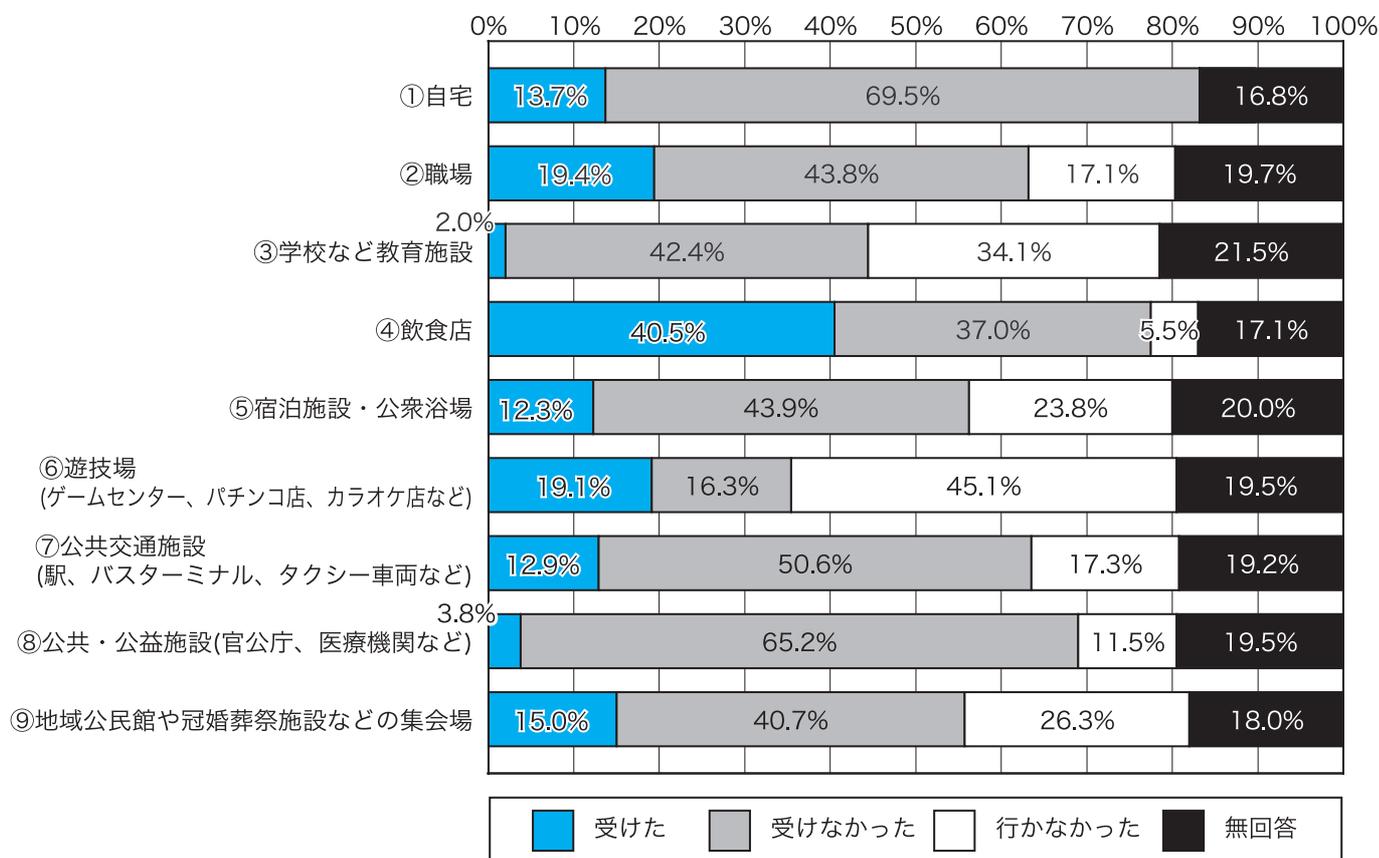
「前立腺がん」を除き、がん検診の受診率は、いずれも「公務員・教員」が最も高く、「胃がん」、「乳がん」および「子宮がん」の受診率は5割を超えている。

「前立腺がん」は、「農業・林業・漁業」の受診率が最も高かった。

一方、「無回答(全ての検診を受診していない、または意思表示なし)」の割合が最も高かったのは「工業」(63.3%)で、6割を超えている。

受動喫煙 ～「飲食店」が最多～

問5 平成23年9月から10月までの期間に、あなたは、屋内において受動喫煙の害を受けたことがありますか。①から⑨の場所ごとに、当てはまるものを回答欄から1つだけ選んで番号に○をしてください。



屋内において、受動喫煙（※）を受けた場所として最も多かったのは「飲食店（40.5%）」で、4割以上の方が「受けた」と回答している。次に「職場（19.4%）」、「遊技場（19.1%）」の順となっており、これらの施設において、受動喫煙を防ぐ環境づくりが今後の課題として挙げられる。

一方、「学校など教育施設」では、「受けた」と回答した割合は2.0%で最も少なく、次に「公共・公益施設（3.8%）」が続いた。

（※）自分以外の人が吸うたばこの煙が混じった空気を吸い込むこと

【①自宅】

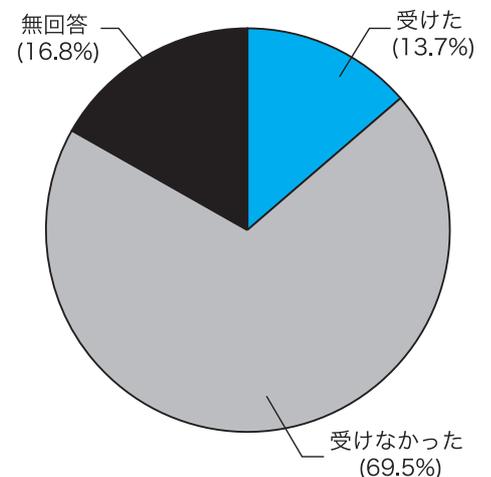
			受けた	受けなかった	無回答	合計
全体		度数	457	2,318	560	3,335
		割合	13.7%	69.5%	16.8%	100.0%
性別	男性	度数	117	1,055	245	1,417
		割合	8.3%	74.5%	17.3%	100.0%
	女性	度数	338	1,253	303	1,894
		割合	17.8%	66.2%	16.0%	100.0%
年代	20歳代	度数	59	198	25	282
		割合	20.9%	70.2%	8.9%	100.0%
	30歳代	度数	81	395	38	514
		割合	15.8%	76.8%	7.4%	100.0%
	40歳代	度数	81	457	47	585
		割合	13.8%	78.1%	8.0%	100.0%
	50歳代	度数	90	438	76	604
		割合	14.9%	72.5%	12.6%	100.0%
	60歳代	度数	107	495	159	761
		割合	14.1%	65.0%	20.9%	100.0%
	70歳以上	度数	37	330	211	578
		割合	6.4%	57.1%	36.5%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	139	859	189	1,187
		割合	11.7%	72.4%	15.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	128	526	119	773
		割合	16.6%	68.0%	15.4%	100.0%
	犀南地域	度数	115	623	131	869
		割合	13.2%	71.7%	15.1%	100.0%
	松代・若穂	度数	42	174	66	282
		割合	14.9%	61.7%	23.4%	100.0%
	中山間地域	度数	32	120	45	197
		割合	16.2%	60.9%	22.8%	100.0%
職業	農業・林業・漁業	度数	24	102	46	172
		割合	14.0%	59.3%	26.7%	100.0%
	工業	度数	3	24	3	30
		割合	10.0%	80.0%	10.0%	100.0%
	商業・自由業	度数	34	160	52	246
		割合	13.8%	65.0%	21.1%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	46	303	37	386
		割合	11.9%	78.5%	9.6%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	56	348	42	446
		割合	12.6%	78.0%	9.4%	100.0%
	公務員・教員	度数	18	151	9	178
		割合	10.1%	84.8%	5.1%	100.0%
	主婦	度数	102	470	136	708
割合		14.4%	66.4%	19.2%	100.0%	
パート・アルバイト	度数	95	306	59	460	
	割合	20.7%	66.5%	12.8%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	41	266	114	421	
	割合	9.7%	63.2%	27.1%	100.0%	
その他	度数	27	133	40	200	
	割合	13.5%	66.5%	20.0%	100.0%	

自宅で受動喫煙を「受けた」という回答は、全体の13.7%に、「受けなかった」という回答は69.5%になった。「受けなかった」割合は、他の施設と比較すると最も高い。

男女別では、受動喫煙を「受けた」割合は「男性(8.3%)」より「女性(17.8%)」の方が高く、およそ10ポイントの開きがある。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合が最も高かったのは「20歳代(20.9%)」で、最も低い「70歳以上(6.4%)」と比較すると14.5ポイントの開きがある。

地域別では、受動喫煙を「受けた」割合に大きな違いは見られないが、「市街地地域(11.7%)」が最も低かった。



【②職場】

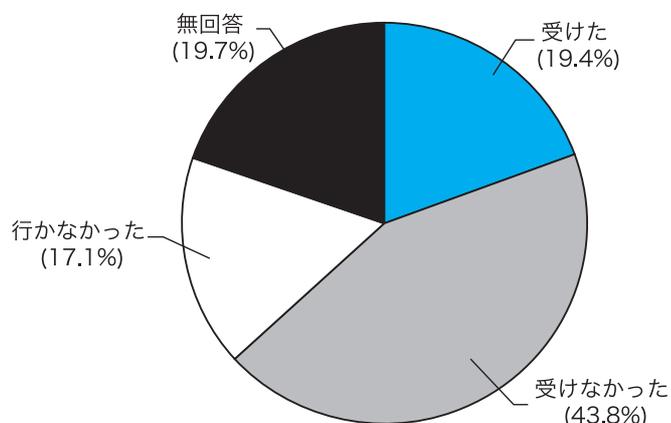
			受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計
全体		度数	648	1,460	569	658	3,335
		割合	19.4%	43.8%	17.1%	19.7%	100.0%
性別	男性	度数	373	625	173	246	1,417
		割合	26.3%	44.1%	12.2%	17.4%	100.0%
	女性	度数	273	832	395	394	1,894
		割合	14.4%	43.9%	20.9%	20.8%	100.0%
年代	20歳代	度数	83	125	43	31	282
		割合	29.4%	44.3%	15.2%	11.0%	100.0%
	30歳代	度数	167	253	65	29	514
		割合	32.5%	49.2%	12.6%	5.6%	100.0%
	40歳代	度数	153	348	47	37	585
		割合	26.2%	59.5%	8.0%	6.3%	100.0%
	50歳代	度数	136	327	63	78	604
		割合	22.5%	54.1%	10.4%	12.9%	100.0%
	60歳代	度数	97	285	190	189	761
		割合	12.7%	37.5%	25.0%	24.8%	100.0%
	70歳以上	度数	12	118	161	287	578
		割合	2.1%	20.4%	27.9%	49.7%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	218	548	210	211	1,187
		割合	18.4%	46.2%	17.7%	17.8%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	152	328	138	155	773
		割合	19.7%	42.4%	17.9%	20.1%	100.0%
	犀南地域	度数	173	390	159	147	869
		割合	19.9%	44.9%	18.3%	16.9%	100.0%
	松代・若穂	度数	68	108	36	70	282
		割合	24.1%	38.3%	12.8%	24.8%	100.0%
	中山間地域	度数	34	74	24	65	197
		割合	17.3%	37.6%	12.2%	33.0%	100.0%
職業	農業・林業・漁業	度数	8	50	45	69	172
		割合	4.7%	29.1%	26.2%	40.1%	100.0%
	工業	度数	11	17	0	2	30
		割合	36.7%	56.7%	0.0%	6.7%	100.0%
	商業・自由業	度数	65	125	10	46	246
		割合	26.4%	50.8%	4.1%	18.7%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	137	227	0	22	386
		割合	35.5%	58.8%	0.0%	5.7%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	187	223	2	34	446
		割合	41.9%	50.0%	0.4%	7.6%	100.0%
	公務員・教員	度数	34	139	1	4	178
		割合	19.1%	78.1%	0.6%	2.2%	100.0%
主婦	度数	19	158	319	212	708	
	割合	2.7%	22.3%	45.1%	29.9%	100.0%	
パート・アルバイト	度数	109	291	9	51	460	
	割合	23.7%	63.3%	2.0%	11.1%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	14	102	157	148	421	
	割合	3.3%	24.2%	37.3%	35.2%	100.0%	
その他	度数	42	97	17	44	200	
	割合	21.0%	48.5%	8.5%	22.0%	100.0%	

職場で受動喫煙を「受けた」という回答は、全体の19.4%に、「受けなかった」という回答は43.8%になった。

男女別では、受動喫煙を「受けなかった」割合はほぼ同率であるが、「受けた」割合は「男性(26.3%)」が「女性(14.4%)」を10ポイント以上上回った。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合が最も高かったのは「30歳代(32.5%)」で、以降年代が高くなるにしたがってこの割合は低くなっている。

職業別では、受動喫煙を「受けた」割合が最も高かったのは「会社員(技術系、41.9%)」で4割を超えた。

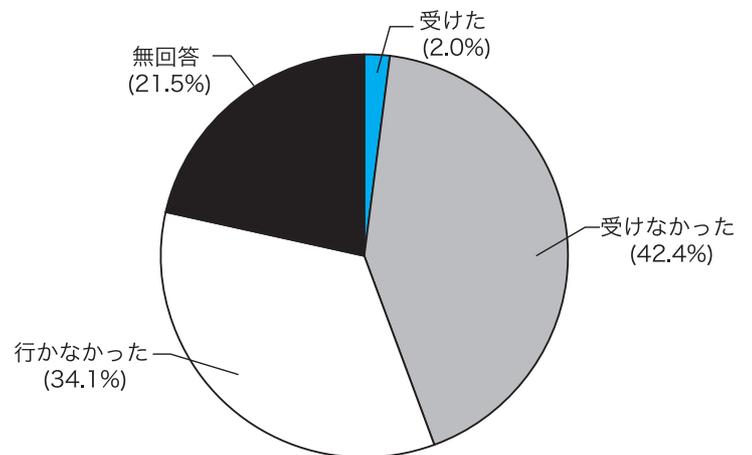


【③学校など教育施設】

		受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計	
全体	度数	66	1,414	1,138	717	3,335	
	割合	2.0%	42.4%	34.1%	21.5%	100.0%	
性別	男性	度数	35	584	508	290	1,417
		割合	2.5%	41.2%	35.9%	20.5%	100.0%
	女性	度数	29	825	629	411	1,894
		割合	1.5%	43.6%	33.2%	21.7%	100.0%
年代	20歳代	度数	15	119	115	33	282
		割合	5.3%	42.2%	40.8%	11.7%	100.0%
	30歳代	度数	10	294	174	36	514
		割合	1.9%	57.2%	33.9%	7.0%	100.0%
	40歳代	度数	16	362	158	49	585
		割合	2.7%	61.9%	27.0%	8.4%	100.0%
	50歳代	度数	12	262	231	99	604
		割合	2.0%	43.4%	38.2%	16.4%	100.0%
	60歳代	度数	10	246	292	213	761
		割合	1.3%	32.3%	38.4%	28.0%	100.0%
	70歳以上	度数	2	130	166	280	578
		割合	0.3%	22.5%	28.7%	48.4%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	20	524	413	230	1,187
		割合	1.7%	44.1%	34.8%	19.4%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	16	319	272	166	773
		割合	2.1%	41.3%	35.2%	21.5%	100.0%
	犀南地域	度数	17	393	302	157	869
		割合	2.0%	45.2%	34.8%	18.1%	100.0%
松代・若穂	度数	10	102	85	85	282	
	割合	3.5%	36.2%	30.1%	30.1%	100.0%	
中山間地域	度数	1	68	59	69	197	
	割合	0.5%	34.5%	29.9%	35.0%	100.0%	
職業	農業・林業・漁業	度数	2	51	54	65	172
		割合	1.2%	29.7%	31.4%	37.8%	100.0%
	工業	度数	0	16	9	5	30
		割合	0.0%	53.3%	30.0%	16.7%	100.0%
	商業・自由業	度数	10	99	78	59	246
		割合	4.1%	40.2%	31.7%	24.0%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	7	183	153	43	386
		割合	1.8%	47.4%	39.6%	11.1%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	12	206	174	54	446
		割合	2.7%	46.2%	39.0%	12.1%	100.0%
	公務員・教員	度数	5	133	35	5	178
		割合	2.8%	74.7%	19.7%	2.8%	100.0%
	主婦	度数	7	265	237	199	708
割合		1.0%	37.4%	33.5%	28.1%	100.0%	
パート・アルバイト	度数	0	242	146	72	460	
	割合	0.0%	52.6%	31.7%	15.7%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	13	118	155	135	421	
	割合	3.1%	28.0%	36.8%	32.1%	100.0%	
その他	度数	6	72	71	51	200	
	割合	3.0%	36.0%	35.5%	25.5%	100.0%	

学校など教育施設で受動喫煙を「受けた」という回答は、全体の2.0%にとどまった。これは、他の施設と比較すると、最も低い割合である。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合が最も高かったのは「20歳代(5.3%)」で、最も低かったのは「70歳以上(0.3%)」となった。



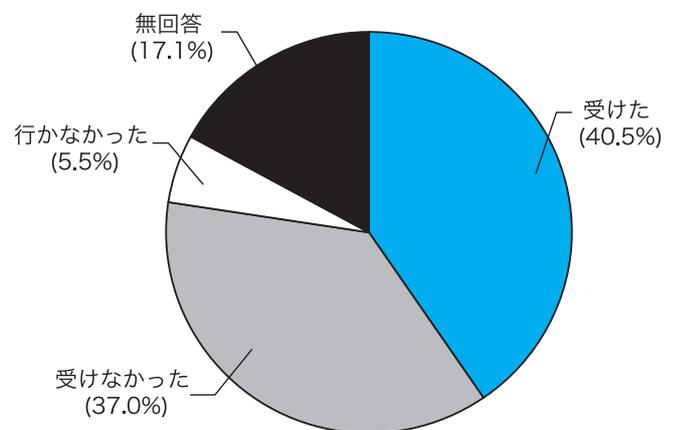
【④飲食店】

		受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計	
全体	度数	1,350	1,233	182	570	3,335	
	割合	40.5%	37.0%	5.5%	17.1%	100.0%	
性別	男性	度数	609	505	84	219	1,417
		割合	43.0%	35.6%	5.9%	15.5%	100.0%
	女性	度数	738	722	98	336	1,894
		割合	39.0%	38.1%	5.2%	17.7%	100.0%
年代	20歳代	度数	177	73	9	23	282
		割合	62.8%	25.9%	3.2%	8.2%	100.0%
	30歳代	度数	300	167	18	29	514
		割合	58.4%	32.5%	3.5%	5.6%	100.0%
	40歳代	度数	315	215	18	37	585
		割合	53.8%	36.8%	3.1%	6.3%	100.0%
	50歳代	度数	253	245	33	73	604
		割合	41.9%	40.6%	5.5%	12.1%	100.0%
	60歳代	度数	221	313	63	164	761
		割合	29.0%	41.1%	8.3%	21.6%	100.0%
	70歳以上	度数	82	217	41	238	578
		割合	14.2%	37.5%	7.1%	41.2%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	519	425	62	181	1,187
		割合	43.7%	35.8%	5.2%	15.2%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	319	281	46	127	773
		割合	41.3%	36.4%	6.0%	16.4%	100.0%
	犀南地域	度数	346	350	47	126	869
		割合	39.8%	40.3%	5.4%	14.5%	100.0%
松代・若穂	度数	100	102	16	64	282	
	割合	35.5%	36.2%	5.7%	22.7%	100.0%	
中山間地域	度数	58	67	10	62	197	
	割合	29.4%	34.0%	5.1%	31.5%	100.0%	
職業	農業・林業・漁業	度数	29	68	12	63	172
		割合	16.9%	39.5%	7.0%	36.6%	100.0%
	工業	度数	14	11	2	3	30
		割合	46.7%	36.7%	6.7%	10.0%	100.0%
	商業・自由業	度数	106	86	12	42	246
		割合	43.1%	35.0%	4.9%	17.1%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	226	126	6	28	386
		割合	58.5%	32.6%	1.6%	7.3%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	228	153	22	43	446
		割合	51.1%	34.3%	4.9%	9.6%	100.0%
	公務員・教員	度数	110	57	6	5	178
		割合	61.8%	32.0%	3.4%	2.8%	100.0%
	主婦	度数	206	305	44	153	708
割合		29.1%	43.1%	6.2%	21.6%	100.0%	
パート・アルバイト	度数	188	182	28	62	460	
	割合	40.9%	39.6%	6.1%	13.5%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	132	160	27	102	421	
	割合	31.4%	38.0%	6.4%	24.2%	100.0%	
その他	度数	78	61	18	43	200	
	割合	39.0%	30.5%	9.0%	21.5%	100.0%	

飲食店で受動喫煙を「受けた」という回答は、全体の40.5%に、「受けなかった」という回答は37.0%になった。

男女別で見ると、受動喫煙を「受けた」割合は「男性(43.0%)」が「女性(39.0%)」を上回っている。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合は「20歳代(62.8%)」が最も高く、年代が高くなるにしたがってこの割合は低くなっている。



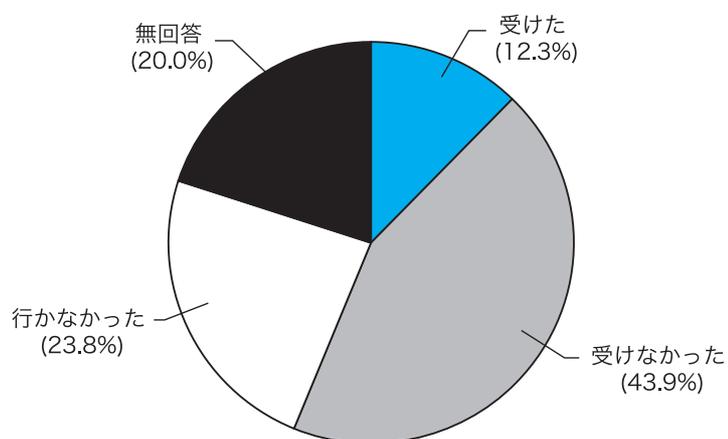
【⑤宿泊施設・公衆浴場】

		受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計	
全体	度数	411	1,464	793	667	3,335	
	割合	12.3%	43.9%	23.8%	20.0%	100.0%	
性別	男性	度数	222	611	320	264	1,417
		割合	15.7%	43.1%	22.6%	18.6%	100.0%
	女性	度数	187	847	472	388	1,894
		割合	9.9%	44.7%	24.9%	20.5%	100.0%
年代	20歳代	度数	50	118	85	29	282
		割合	17.7%	41.8%	30.1%	10.3%	100.0%
	30歳代	度数	90	244	142	38	514
		割合	17.5%	47.5%	27.6%	7.4%	100.0%
	40歳代	度数	91	281	164	49	585
		割合	15.6%	48.0%	28.0%	8.4%	100.0%
	50歳代	度数	75	283	151	95	604
		割合	12.4%	46.9%	25.0%	15.7%	100.0%
	60歳代	度数	77	320	170	194	761
		割合	10.1%	42.0%	22.3%	25.5%	100.0%
	70歳以上	度数	28	216	79	255	578
		割合	4.8%	37.4%	13.7%	44.1%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	162	538	269	218	1,187
		割合	13.6%	45.3%	22.7%	18.4%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	96	328	206	143	773
		割合	12.4%	42.4%	26.6%	18.5%	100.0%
	犀南地域	度数	98	408	207	156	869
		割合	11.3%	47.0%	23.8%	18.0%	100.0%
松代・若穂	度数	37	113	58	74	282	
	割合	13.1%	40.1%	20.6%	26.2%	100.0%	
中山間地域	度数	15	67	49	66	197	
	割合	7.6%	34.0%	24.9%	33.5%	100.0%	
職業	農業・林業・漁業	度数	11	67	27	67	172
		割合	6.4%	39.0%	15.7%	39.0%	100.0%
	工業	度数	5	12	8	5	30
		割合	16.7%	40.0%	26.7%	16.7%	100.0%
	商業・自由業	度数	30	106	53	57	246
		割合	12.2%	43.1%	21.5%	23.2%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	81	186	80	39	386
		割合	21.0%	48.2%	20.7%	10.1%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	74	199	121	52	446
		割合	16.6%	44.6%	27.1%	11.7%	100.0%
	公務員・教員	度数	24	98	50	6	178
		割合	13.5%	55.1%	28.1%	3.4%	100.0%
	主婦	度数	57	298	178	175	708
割合		8.1%	42.1%	25.1%	24.7%	100.0%	
パート・アルバイト	度数	51	208	132	69	460	
	割合	11.1%	45.2%	28.7%	15.0%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	45	173	82	121	421	
	割合	10.7%	41.1%	19.5%	28.7%	100.0%	
その他	度数	25	82	47	46	200	
	割合	12.5%	41.0%	23.5%	23.0%	100.0%	

宿泊施設・公衆浴場で受動喫煙を「受けた」という回答は、全体の12.3%に、「受けなかった」という回答は43.9%になった。

男女別で見ると、受動喫煙を「受けた」割合は「男性(15.7%)」が「女性(9.9%)」を上回っている。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合は「20歳代(17.7%)」が最も高く、年代が高くなるにしたがってこの割合は低くなっている。



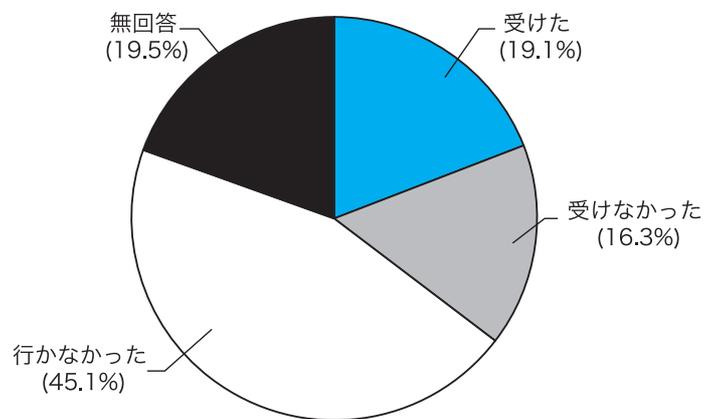
【⑥遊技場(ゲームセンター、パチンコ店、カラオケ店など)】

		受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計	
全体	度数	637	545	1,503	650	3,335	
	割合	19.1%	16.3%	45.1%	19.5%	100.0%	
性別	男性	度数	363	223	575	256	1,417
		割合	25.6%	15.7%	40.6%	18.1%	100.0%
	女性	度数	271	319	924	380	1,894
		割合	14.3%	16.8%	48.8%	20.1%	100.0%
年代	20歳代	度数	117	51	86	28	282
		割合	41.5%	18.1%	30.5%	9.9%	100.0%
	30歳代	度数	169	97	214	34	514
		割合	32.9%	18.9%	41.6%	6.6%	100.0%
	40歳代	度数	154	107	284	40	585
		割合	26.3%	18.3%	48.5%	6.8%	100.0%
	50歳代	度数	85	92	341	86	604
		割合	14.1%	15.2%	56.5%	14.2%	100.0%
	60歳代	度数	86	114	368	193	761
		割合	11.3%	15.0%	48.4%	25.4%	100.0%
	70歳以上	度数	24	83	209	262	578
		割合	4.2%	14.4%	36.2%	45.3%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	251	195	534	207	1,187
		割合	21.1%	16.4%	45.0%	17.4%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	157	132	342	142	773
		割合	20.3%	17.1%	44.2%	18.4%	100.0%
	犀南地域	度数	155	144	424	146	869
		割合	17.8%	16.6%	48.8%	16.8%	100.0%
	松代・若穂	度数	44	42	118	78	282
		割合	15.6%	14.9%	41.8%	27.7%	100.0%
	中山間地域	度数	25	30	75	67	197
		割合	12.7%	15.2%	38.1%	34.0%	100.0%
職業	農業・林業・漁業	度数	14	26	66	66	172
		割合	8.1%	15.1%	38.4%	38.4%	100.0%
	工業	度数	5	8	13	4	30
		割合	16.7%	26.7%	43.3%	13.3%	100.0%
	商業・自由業	度数	48	28	115	55	246
		割合	19.5%	11.4%	46.7%	22.4%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	114	61	178	33	386
		割合	29.5%	15.8%	46.1%	8.5%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	146	68	184	48	446
		割合	32.7%	15.2%	41.3%	10.8%	100.0%
	公務員・教員	度数	51	37	87	3	178
		割合	28.7%	20.8%	48.9%	1.7%	100.0%
	主婦	度数	72	120	339	177	708
		割合	10.2%	16.9%	47.9%	25.0%	100.0%
パート・アルバイト	度数	78	86	229	67	460	
	割合	17.0%	18.7%	49.8%	14.6%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	64	64	169	124	421	
	割合	15.2%	15.2%	40.1%	29.5%	100.0%	
その他	度数	32	35	89	44	200	
	割合	16.0%	17.5%	44.5%	22.0%	100.0%	

遊技場で受動喫煙を「受けた」という回答は全体の19.1%に、「受けなかった」という回答は16.3%になった。なお、施設自体に「行かなかった」という回答は45.1%となり、他の施設と比較すると最も高い割合となった。

男女別で見ると、受動喫煙を「受けた」割合は「男性(25.6%)」が「女性(14.3%)」を上回っている。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合は「20歳代(41.5%)」が最も高く、年代が高くなるにしたがってこの割合は低くなっている。



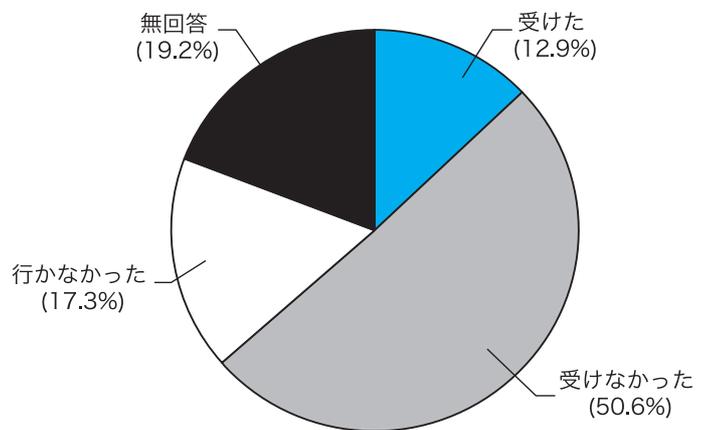
【⑦公共交通施設(駅、バスターミナル、タクシー車両など)】

		受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計	
全体	度数	429	1,689	578	639	3,335	
	割合	12.9%	50.6%	17.3%	19.2%	100.0%	
性別	男性	度数	195	750	225	247	1,417
		割合	13.8%	52.9%	15.9%	17.4%	100.0%
	女性	度数	231	933	353	377	1,894
		割合	12.2%	49.3%	18.6%	19.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	62	144	48	28	282
		割合	22.0%	51.1%	17.0%	9.9%	100.0%
	30歳代	度数	82	285	111	36	514
		割合	16.0%	55.4%	21.6%	7.0%	100.0%
	40歳代	度数	104	322	117	42	585
		割合	17.8%	55.0%	20.0%	7.2%	100.0%
	50歳代	度数	71	342	100	91	604
		割合	11.8%	56.6%	16.6%	15.1%	100.0%
	60歳代	度数	74	359	139	189	761
		割合	9.7%	47.2%	18.3%	24.8%	100.0%
	70歳以上	度数	35	234	62	247	578
		割合	6.1%	40.5%	10.7%	42.7%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	172	648	164	203	1,187
		割合	14.5%	54.6%	13.8%	17.1%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	109	382	140	142	773
		割合	14.1%	49.4%	18.1%	18.4%	100.0%
	犀南地域	度数	95	460	167	147	869
		割合	10.9%	52.9%	19.2%	16.9%	100.0%
松代・若穂	度数	33	119	59	71	282	
	割合	11.7%	42.2%	20.9%	25.2%	100.0%	
中山間地域	度数	14	71	46	66	197	
	割合	7.1%	36.0%	23.4%	33.5%	100.0%	
職業	農業・林業・漁業	度数	5	72	30	65	172
		割合	2.9%	41.9%	17.4%	37.8%	100.0%
	工業	度数	2	14	10	4	30
		割合	6.7%	46.7%	33.3%	13.3%	100.0%
	商業・自由業	度数	26	107	57	56	246
		割合	10.6%	43.5%	23.2%	22.8%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	68	235	48	35	386
		割合	17.6%	60.9%	12.4%	9.1%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	74	249	81	42	446
		割合	16.6%	55.8%	18.2%	9.4%	100.0%
	公務員・教員	度数	41	113	19	5	178
		割合	23.0%	63.5%	10.7%	2.8%	100.0%
	主婦	度数	80	343	114	171	708
		割合	11.3%	48.4%	16.1%	24.2%	100.0%
パート・アルバイト	度数	49	233	108	70	460	
	割合	10.7%	50.7%	23.5%	15.2%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	57	190	59	115	421	
	割合	13.5%	45.1%	14.0%	27.3%	100.0%	
その他	度数	18	96	40	46	200	
	割合	9.0%	48.0%	20.0%	23.0%	100.0%	

公共交通施設で受動喫煙を「受けた」という回答は全体の12.9%に、「受けなかった」という回答は50.6%になった。

男女別で見ると、受動喫煙を「受けた」割合は「男性(13.8%)」が「女性(12.2%)」をわずかに上回っている。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合は「20歳代(22.0%)」が最も高くなっている。



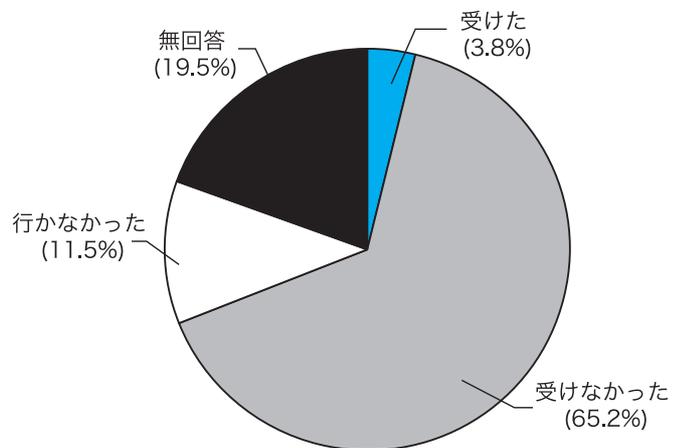
【⑧公共・公益施設(官公庁、医療機関など)】

		受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計	
全体	度数	126	2,176	383	650	3,335	
	割合	3.8%	65.2%	11.5%	19.5%	100.0%	
性別	男性	度数	63	926	169	259	1,417
		割合	4.4%	65.3%	11.9%	18.3%	100.0%
	女性	度数	62	1,242	214	376	1,894
		割合	3.3%	65.6%	11.3%	19.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	11	166	75	30	282
		割合	3.9%	58.9%	26.6%	10.6%	100.0%
	30歳代	度数	19	388	74	33	514
		割合	3.7%	75.5%	14.4%	6.4%	100.0%
	40歳代	度数	40	432	68	45	585
		割合	6.8%	73.8%	11.6%	7.7%	100.0%
	50歳代	度数	14	435	62	93	604
		割合	2.3%	72.0%	10.3%	15.4%	100.0%
	60歳代	度数	28	472	72	189	761
		割合	3.7%	62.0%	9.5%	24.8%	100.0%
	70歳以上	度数	14	279	31	254	578
		割合	2.4%	48.3%	5.4%	43.9%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	49	804	125	209	1,187
		割合	4.1%	67.7%	10.5%	17.6%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	33	495	102	143	773
		割合	4.3%	64.0%	13.2%	18.5%	100.0%
	犀南地域	度数	16	602	102	149	869
		割合	1.8%	69.3%	11.7%	17.1%	100.0%
	松代・若穂	度数	17	165	26	74	282
		割合	6.0%	58.5%	9.2%	26.2%	100.0%
	中山間地域	度数	10	97	25	65	197
		割合	5.1%	49.2%	12.7%	33.0%	100.0%
職業	農業・林業・漁業	度数	5	93	10	64	172
		割合	2.9%	54.1%	5.8%	37.2%	100.0%
	工業	度数	0	20	5	5	30
		割合	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	100.0%
	商業・自由業	度数	7	148	35	56	246
		割合	2.8%	60.2%	14.2%	22.8%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	23	287	42	34	386
		割合	6.0%	74.4%	10.9%	8.8%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	16	306	79	45	446
		割合	3.6%	68.6%	17.7%	10.1%	100.0%
	公務員・教員	度数	12	152	7	7	178
		割合	6.7%	85.4%	3.9%	3.9%	100.0%
	主婦	度数	25	454	58	171	708
		割合	3.5%	64.1%	8.2%	24.2%	100.0%
パート・アルバイト	度数	6	313	71	70	460	
	割合	1.3%	68.0%	15.4%	15.2%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	20	232	43	126	421	
	割合	4.8%	55.1%	10.2%	29.9%	100.0%	
その他	度数	5	124	26	45	200	
	割合	2.5%	62.0%	13.0%	22.5%	100.0%	

公共・公益施設で受動喫煙を「受けた」という回答は全体の3.8%に、「受けなかった」という回答は65.2%になった。

男女別で見ると、受動喫煙を「受けた」割合は「男性(4.4%)」が「女性(3.3%)」をわずかに上回っている。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合は「40歳代(6.8%)」が最も高かった。



【⑨地域公民館や冠婚葬祭施設などの集会場】

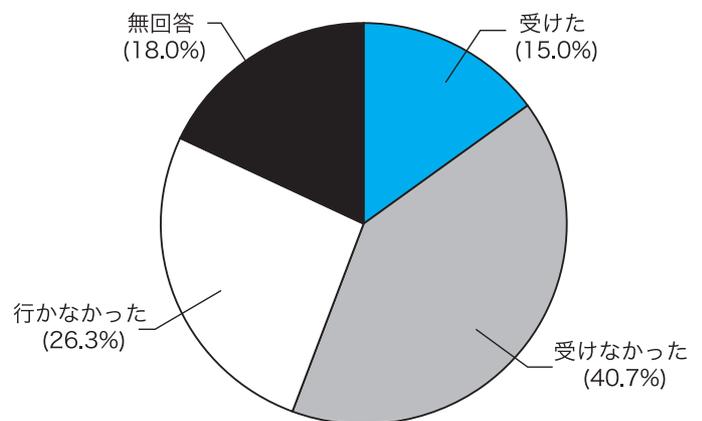
		受けた	受けなかった	行かなかった	無回答	合計	
全体	度数	500	1,356	878	601	3,335	
	割合	15.0%	40.7%	26.3%	18.0%	100.0%	
性別	男性	度数	279	571	337	230	1,417
		割合	19.7%	40.3%	23.8%	16.2%	100.0%
	女性	度数	219	778	539	358	1,894
		割合	11.6%	41.1%	28.5%	18.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	40	91	123	28	282
		割合	14.2%	32.3%	43.6%	9.9%	100.0%
	30歳代	度数	67	219	194	34	514
		割合	13.0%	42.6%	37.7%	6.6%	100.0%
	40歳代	度数	117	227	196	45	585
		割合	20.0%	38.8%	33.5%	7.7%	100.0%
	50歳代	度数	99	264	152	89	604
		割合	16.4%	43.7%	25.2%	14.7%	100.0%
	60歳代	度数	123	325	143	170	761
		割合	16.2%	42.7%	18.8%	22.3%	100.0%
	70歳以上	度数	54	227	68	229	578
		割合	9.3%	39.3%	11.8%	39.6%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	137	506	343	201	1,187
		割合	11.5%	42.6%	28.9%	16.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	122	321	196	134	773
		割合	15.8%	41.5%	25.4%	17.3%	100.0%
	犀南地域	度数	129	349	255	136	869
		割合	14.8%	40.2%	29.3%	15.7%	100.0%
松代・若穂	度数	74	104	44	60	282	
	割合	26.2%	36.9%	15.6%	21.3%	100.0%	
中山間地域	度数	35	66	35	61	197	
	割合	17.8%	33.5%	17.8%	31.0%	100.0%	
職業	農業・林業・漁業	度数	27	72	14	59	172
		割合	15.7%	41.9%	8.1%	34.3%	100.0%
	工業	度数	5	11	11	3	30
		割合	16.7%	36.7%	36.7%	10.0%	100.0%
	商業・自由業	度数	40	101	55	50	246
		割合	16.3%	41.1%	22.4%	20.3%	100.0%
	会社員(事務系)	度数	65	160	127	34	386
		割合	16.8%	41.5%	32.9%	8.8%	100.0%
	会社員(技術系)	度数	83	178	140	45	446
		割合	18.6%	39.9%	31.4%	10.1%	100.0%
	公務員・教員	度数	39	80	55	4	178
		割合	21.9%	44.9%	30.9%	2.2%	100.0%
	主婦	度数	69	305	171	163	708
		割合	9.7%	43.1%	24.2%	23.0%	100.0%
パート・アルバイト	度数	64	189	142	65	460	
	割合	13.9%	41.1%	30.9%	14.1%	100.0%	
無職(学生含む)	度数	70	154	89	108	421	
	割合	16.6%	36.6%	21.1%	25.7%	100.0%	
その他	度数	30	70	57	43	200	
	割合	15.0%	35.0%	28.5%	21.5%	100.0%	

地域公民館や冠婚葬祭施設などの集会場で受動喫煙を「受けた」という回答は全体の15.0%に、「受けなかった」という回答は40.7%になった。

男女別で見ると、受動喫煙を「受けた」割合は「男性(19.7%)」が「女性(11.6%)」を上回っている。

年代別では、受動喫煙を「受けた」割合は「40歳代(20.0%)」が最も高い。

地域別では、受動喫煙を「受けた」割合は「松代・若穂(26.2%)」が最も高い。



屋外でのたばこ被害 ～「特になし」6割超～

問6 平成23年9月から10月までの期間に、あなたは、道路や公園など屋外の公共の場所で、自分以外の人が吸っているたばこによって、迷惑や被害を受けたことがありますか。次の中から当てはまるものすべてに○をしてください。

		たばこの煙を吸わされた(受動喫煙の害を受けた)	やけどを負わされた、または負わされそうになった	衣服や手荷物などを焦がされた、または焦がされそうになった	その他	特に迷惑や被害を受けたことはなかった	無回答	対象		
全体	度数	806	18	25	104	2,208	252	3,335		
	割合	24.2%	0.5%	0.7%	3.1%	66.2%	7.6%	-		
性別	男性	度数	349	10	14	37	940	101	1,417	
		割合	24.6%	0.7%	1.0%	2.6%	66.3%	7.1%	-	
	女性	度数	455	8	11	66	1,255	143	1,894	
		割合	24.0%	0.4%	0.6%	3.5%	66.3%	7.6%	-	
年代	20歳代	度数	96	7	3	5	169	12	282	
		割合	34.0%	2.5%	1.1%	1.8%	59.9%	4.3%	-	
	30歳代	度数	185	2	6	15	308	14	514	
		割合	36.0%	0.4%	1.2%	2.9%	59.9%	2.7%	-	
	40歳代	度数	178	7	10	19	360	34	585	
		割合	30.4%	1.2%	1.7%	3.2%	61.5%	5.8%	-	
	50歳代	度数	141	0	2	22	393	53	604	
		割合	23.3%	0.0%	0.3%	3.6%	65.1%	8.8%	-	
	60歳代	度数	127	1	3	27	551	64	761	
		割合	16.7%	0.1%	0.4%	3.5%	72.4%	8.4%	-	
	70歳以上	度数	78	1	1	16	421	71	578	
		割合	13.5%	0.2%	0.2%	2.8%	72.8%	12.3%	-	
	地域区分	市街地地域	度数	310	7	11	40	784	71	1,187
			割合	26.1%	0.6%	0.9%	3.4%	66.0%	6.0%	-
市街地周辺地域		度数	175	5	3	20	515	66	773	
		割合	22.6%	0.6%	0.4%	2.6%	66.6%	8.5%	-	
犀南地域		度数	218	5	7	29	573	55	869	
		割合	25.1%	0.6%	0.8%	3.3%	65.9%	6.3%	-	
松代・若穂		度数	52	0	1	8	193	32	282	
		割合	18.4%	0.0%	0.4%	2.8%	68.4%	11.3%	-	
中山間地域		度数	41	1	3	6	134	20	197	
		割合	20.8%	0.5%	1.5%	3.0%	68.0%	10.2%	-	

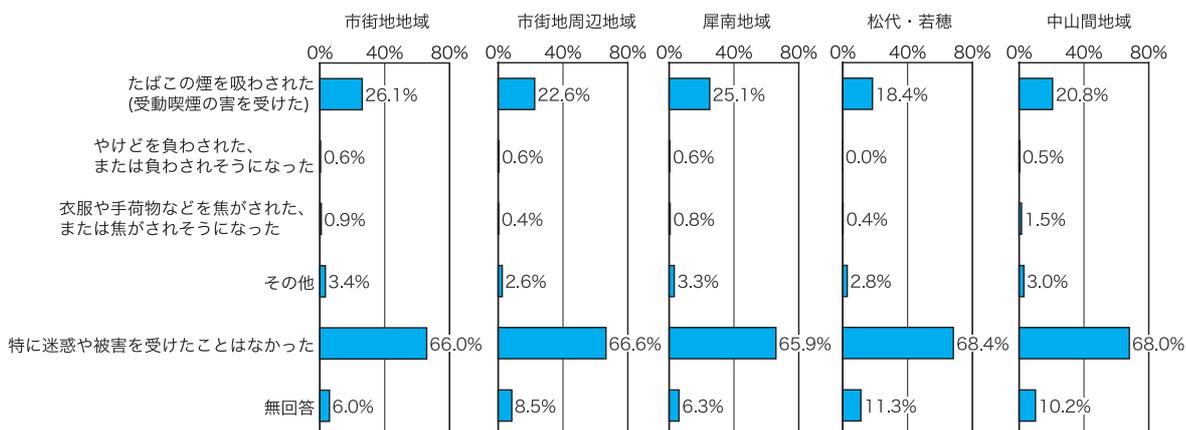
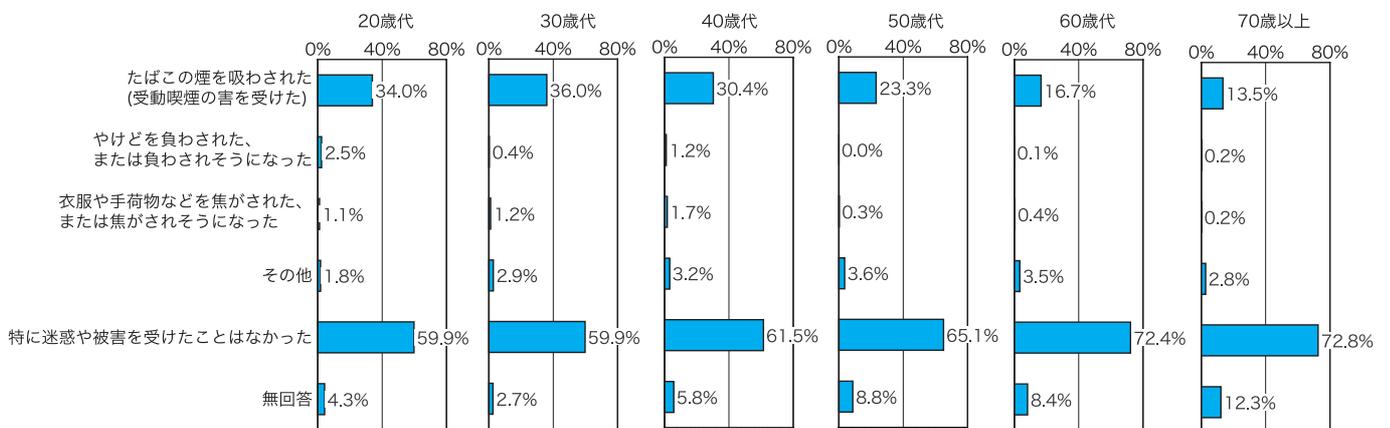
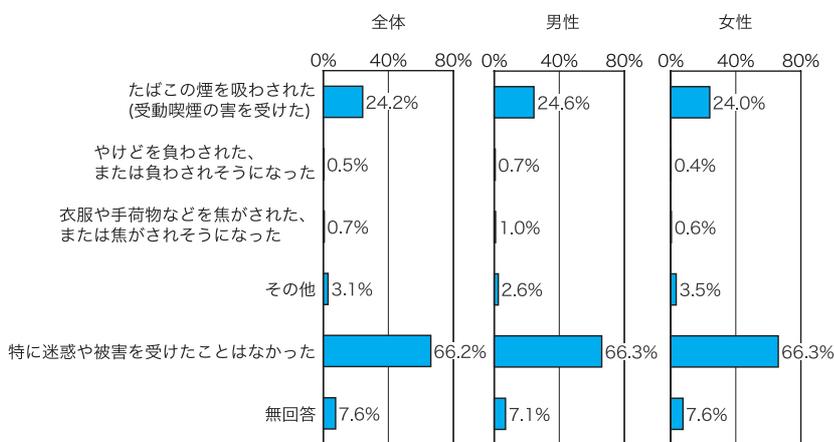
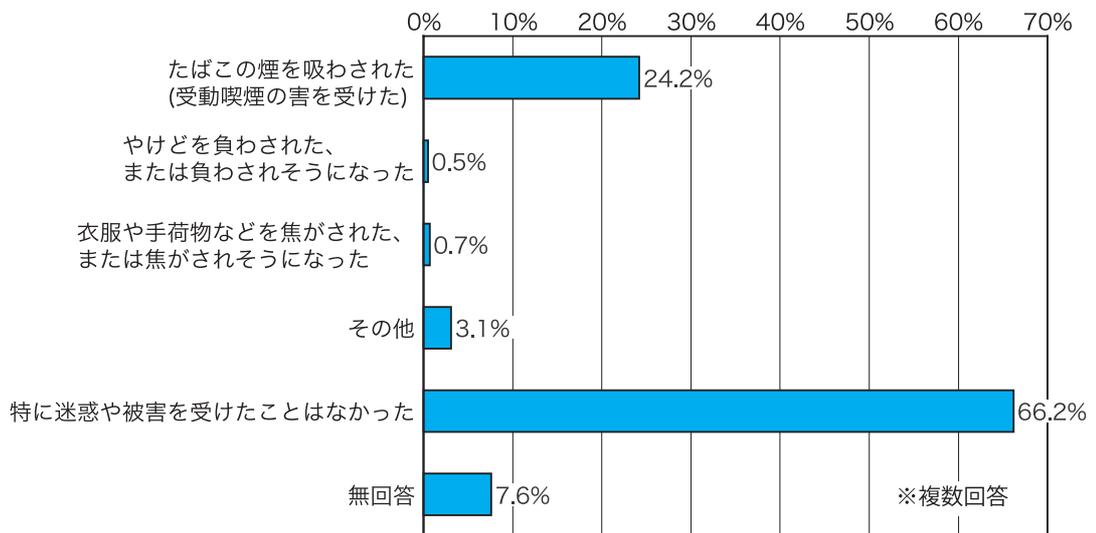
屋外の公共の場所でのたばこ被害については、「特に受けたことはなかった」が66.2%となり、およそ3分の2の人が被害を受けていないことが分かった。

一方、被害を「受けた」と回答した人は、「たばこの煙を吸わされた」がおよそ4分の1（24.2%）であり、やけど被害や、衣服などを焦がされる被害などを加えると28.5%となっている。周囲に人がいる場所で喫煙をしないなど、喫煙マナーの徹底が課題としてあげられる。

男女別では、回答の傾向に大きな違いは見られない。

年代別では、「特に迷惑や被害を受けたことはなかった」という回答は「60歳代」と「70歳以上」でともに7割を超えている。一方で、「たばこの煙を吸わされた」という回答は、「20歳代」から「40歳代」までで3割を超えている。

地域別では、回答の傾向に大きな違いは見られないが、「たばこの煙を吸わされた」という回答は、「松代・若穂（18.4%）」以外の全ての地域で2割を超えている。



地区別に回答結果を集計すると、下表のとおりとなる。

		たばこの煙を吸 わされた(受動 喫煙の害を受け た)	やけどを負わさ れた、または負 わされそうにな った	衣服や手荷物な どを焦がされ た、または焦が されそうになっ た	その他	特に迷惑や被害 を受けたことは なかった	無回答	対象
第一	度数	16	1	2	5	40	3	61
	割合	26.2%	1.6%	3.3%	8.2%	65.6%	4.9%	-
第二	度数	25	1	0	4	64	8	100
	割合	25.0%	1.0%	0.0%	4.0%	64.0%	8.0%	-
第三	度数	11	0	2	1	37	5	55
	割合	20.0%	0.0%	3.6%	1.8%	67.3%	9.1%	-
第四	度数	11	0	0	1	13	1	26
	割合	42.3%	0.0%	0.0%	3.8%	50.0%	3.8%	-
第五	度数	8	1	0	1	25	2	36
	割合	22.2%	2.8%	0.0%	2.8%	69.4%	5.6%	-
芹田	度数	56	0	3	4	123	10	190
	割合	29.5%	0.0%	1.6%	2.1%	64.7%	5.3%	-
古牧	度数	66	0	1	8	150	11	229
	割合	28.8%	0.0%	0.4%	3.5%	65.5%	4.8%	-
三輪	度数	37	2	1	7	97	8	146
	割合	25.3%	1.4%	0.7%	4.8%	66.4%	5.5%	-
吉田	度数	35	0	0	7	101	12	153
	割合	22.9%	0.0%	0.0%	4.6%	66.0%	7.8%	-
古里	度数	28	2	1	5	74	10	115
	割合	24.3%	1.7%	0.9%	4.3%	64.3%	8.7%	-
柳原	度数	13	0	1	1	37	9	61
	割合	21.3%	0.0%	1.6%	1.6%	60.7%	14.8%	-
浅川	度数	15	0	0	2	47	7	70
	割合	21.4%	0.0%	0.0%	2.9%	67.1%	10.0%	-
大豆島	度数	28	0	1	3	71	11	112
	割合	25.0%	0.0%	0.9%	2.7%	63.4%	9.8%	-
朝陽	度数	34	1	0	4	83	8	128
	割合	26.6%	0.8%	0.0%	3.1%	64.8%	6.3%	-
若槻	度数	37	1	0	1	124	13	175
	割合	21.1%	0.6%	0.0%	0.6%	70.9%	7.4%	-
長沼	度数	4	0	0	2	15	2	23
	割合	17.4%	0.0%	0.0%	8.7%	65.2%	8.7%	-
安茂里	度数	45	2	2	2	134	11	191
	割合	23.6%	1.0%	1.0%	1.0%	70.2%	5.8%	-
小田切	度数	4	0	0	1	8	3	15
	割合	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%	53.3%	20.0%	-
芋井	度数	6	0	0	2	10	3	20
	割合	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	15.0%	-
篠ノ井	度数	87	1	3	13	238	24	358
	割合	24.3%	0.3%	0.8%	3.6%	66.5%	6.7%	-
松代	度数	32	0	1	5	107	19	161
	割合	19.9%	0.0%	0.6%	3.1%	66.5%	11.8%	-
若穂	度数	20	0	0	3	86	13	121
	割合	16.5%	0.0%	0.0%	2.5%	71.1%	10.7%	-
川中島	度数	68	3	4	3	164	12	246
	割合	27.6%	1.2%	1.6%	1.2%	66.7%	4.9%	-
更北	度数	63	1	0	13	171	19	265
	割合	23.8%	0.4%	0.0%	4.9%	64.5%	7.2%	-
七二会	度数	4	0	0	0	10	0	14
	割合	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	-
信更	度数	4	1	1	1	16	3	24
	割合	16.7%	4.2%	4.2%	4.2%	66.7%	12.5%	-
豊野	度数	16	1	0	2	64	6	89
	割合	18.0%	1.1%	0.0%	2.2%	71.9%	6.7%	-
戸隠	度数	6	0	1	0	28	3	37
	割合	16.2%	0.0%	2.7%	0.0%	75.7%	8.1%	-
鬼無里	度数	5	0	1	0	11	0	16
	割合	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%	68.8%	0.0%	-
大岡	度数	2	0	0	0	8	0	10
	割合	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	-
信州新町	度数	8	0	0	2	30	4	42
	割合	19.0%	0.0%	0.0%	4.8%	71.4%	9.5%	-
中条	度数	2	0	0	0	13	4	19
	割合	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	68.4%	21.1%	-

公園での犬の散歩について

公園での犬の散歩 ～「マナーが良ければ気にならない」6割～

問7 あなたは、公園で犬を散歩させることについてどう思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。

			公園利用の一つとして認めるべきである	犬と楽しく触れ合えるので、望ましい	マナーが良ければ、気にならない	放置されたふんが気になる	犬を散歩させるべきでない	その他	無回答	合計
全体		度数	157	67	2,063	516	397	45	90	3,335
		割合	4.7%	2.0%	61.9%	15.5%	11.9%	1.3%	2.7%	100.0%
性別	男性	度数	95	32	805	228	201	15	41	1,417
		割合	6.7%	2.3%	56.8%	16.1%	14.2%	1.1%	2.9%	100.0%
	女性	度数	61	35	1,248	285	193	30	42	1,894
		割合	3.2%	1.8%	65.9%	15.0%	10.2%	1.6%	2.2%	100.0%
年代	20歳代	度数	20	7	213	26	10	3	3	282
		割合	7.1%	2.5%	75.5%	9.2%	3.5%	1.1%	1.1%	100.0%
	30歳代	度数	33	17	373	51	25	7	8	514
		割合	6.4%	3.3%	72.6%	9.9%	4.9%	1.4%	1.6%	100.0%
	40歳代	度数	24	6	417	72	50	8	8	585
		割合	4.1%	1.0%	71.3%	12.3%	8.5%	1.4%	1.4%	100.0%
50歳代	度数	35	12	378	87	66	11	15	604	
	割合	5.8%	2.0%	62.6%	14.4%	10.9%	1.8%	2.5%	100.0%	
60歳代	度数	30	17	387	165	132	8	22	761	
	割合	3.9%	2.2%	50.9%	21.7%	17.3%	1.1%	2.9%	100.0%	
70歳以上	度数	14	8	290	115	114	8	29	578	
	割合	2.4%	1.4%	50.2%	19.9%	19.7%	1.4%	5.0%	100.0%	
地域区分	市街地地域	度数	57	22	754	172	125	23	34	1,187
		割合	4.8%	1.9%	63.5%	14.5%	10.5%	1.9%	2.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	42	17	465	124	97	5	23	773
		割合	5.4%	2.2%	60.2%	16.0%	12.5%	0.6%	3.0%	100.0%
	犀南地域	度数	39	19	526	145	110	16	14	869
割合		4.5%	2.2%	60.5%	16.7%	12.7%	1.8%	1.6%	100.0%	
松代・若穂	度数	9	5	168	46	45	0	9	282	
	割合	3.2%	1.8%	59.6%	16.3%	16.0%	0.0%	3.2%	100.0%	
中山間地域	度数	8	4	132	28	19	1	5	197	
	割合	4.1%	2.0%	67.0%	14.2%	9.6%	0.5%	2.5%	100.0%	

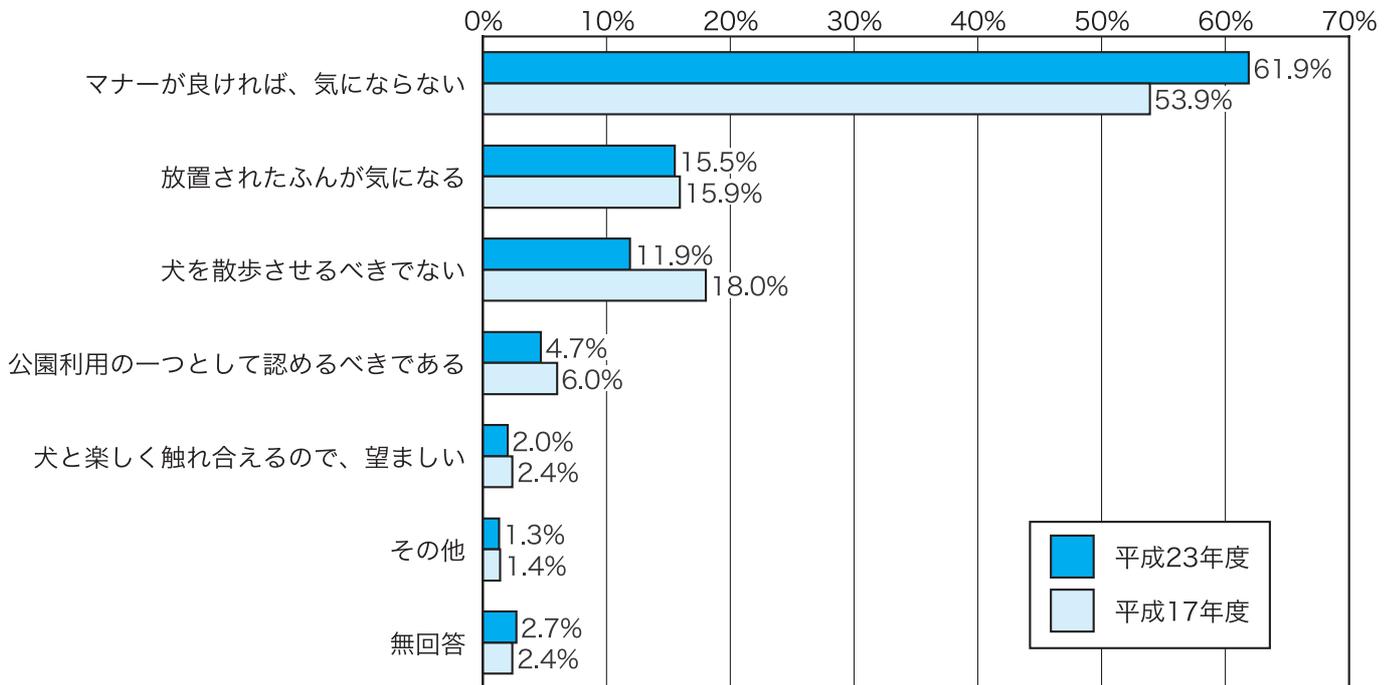
公園で犬を散歩させることについては、「マナーが良ければ、気にならない」が61.9%で最多となった。「公園利用の一つとして認めるべきである（4.7）」、「犬と楽しく触れ合えるので、望ましい（2.0）」という回答と合わせると、散歩に対して肯定的な意見がおよそ7割（68.6%）を占めた。

一方で、「放置されたふんが気になる（15.5%）」、「犬を散歩させるべきでない（11.9%）」という回答を合わせた、散歩に対して否定的な意見はおよそ3割（27.4%）となった。

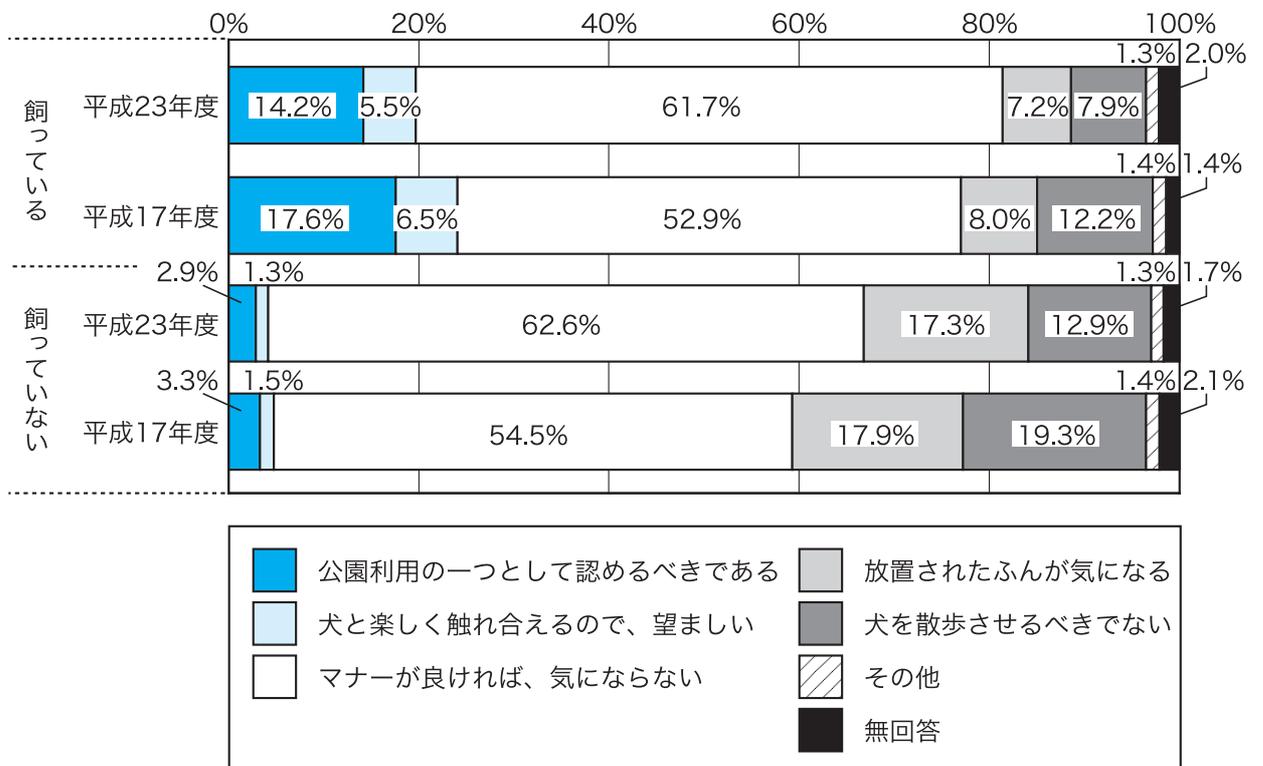
男女別で見ると、「マナーが良ければ、気にならない」は「男性（56.8%）」より「女性（65.9%）」の方が多。一方、「犬を散歩させるべきでない」は、「男性（14.2%）」が「女性（10.2%）」を上回っている。

年代別では、「マナーが良ければ、気にならない」は「20歳代（75.5%）」が最も多く、年代が高くなるにしたがって回答割合は少なくなっている。一方で、「犬を散歩させるべきでない」は「20歳代」が最も少なく、年代が高くなるにしたがって、回答割合は多くなっている。

平成17年度に実施した調査結果と比較すると、「マナーが良ければ、気にならない」という回答は、前回より8.0ポイント増加した。一方で、「犬を散歩させるべきでない」という回答は、前回より6.1ポイント減少した。



犬を飼っている人と飼っていない人で調査結果を分析すると、次のグラフのとおりとなる。



今後どうするか ～「現状のまま」ほぼ半数～

問8 今後、公園での犬の散歩について、どのようにしていくのが良いと思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。また、そのように思う理由を枠内にご記入ください。

		散歩できる公園を増やすべきである	現状のままでよい	現在の4公園を含め、公園での犬の散歩は禁止すべきである	その他	無回答	合計	
全体	度数	864	1,522	567	218	164	3,335	
	割合	25.9%	45.6%	17.0%	6.5%	4.9%	100.0%	
性別	男性	度数	394	608	280	76	59	1,417
		割合	27.8%	42.9%	19.8%	5.4%	4.2%	100.0%
	女性	度数	467	905	284	141	97	1,894
		割合	24.7%	47.8%	15.0%	7.4%	5.1%	100.0%
年代	20歳代	度数	91	141	22	17	11	282
		割合	32.3%	50.0%	7.8%	6.0%	3.9%	100.0%
	30歳代	度数	165	258	38	44	9	514
		割合	32.1%	50.2%	7.4%	8.6%	1.8%	100.0%
	40歳代	度数	161	303	58	47	16	585
		割合	27.5%	51.8%	9.9%	8.0%	2.7%	100.0%
	50歳代	度数	187	261	89	46	21	604
		割合	31.0%	43.2%	14.7%	7.6%	3.5%	100.0%
	60歳代	度数	170	325	183	42	41	761
		割合	22.3%	42.7%	24.0%	5.5%	5.4%	100.0%
	70歳以上	度数	87	232	177	21	61	578
		割合	15.1%	40.1%	30.6%	3.6%	10.6%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	308	554	191	85	49	1,187
		割合	25.9%	46.7%	16.1%	7.2%	4.1%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	205	350	138	44	36	773
		割合	26.5%	45.3%	17.9%	5.7%	4.7%	100.0%
	犀南地域	度数	221	401	147	53	47	869
		割合	25.4%	46.1%	16.9%	6.1%	5.4%	100.0%
	松代・若穂	度数	75	115	57	22	13	282
		割合	26.6%	40.8%	20.2%	7.8%	4.6%	100.0%
	中山間地域	度数	48	93	31	13	12	197
		割合	24.4%	47.2%	15.7%	6.6%	6.1%	100.0%

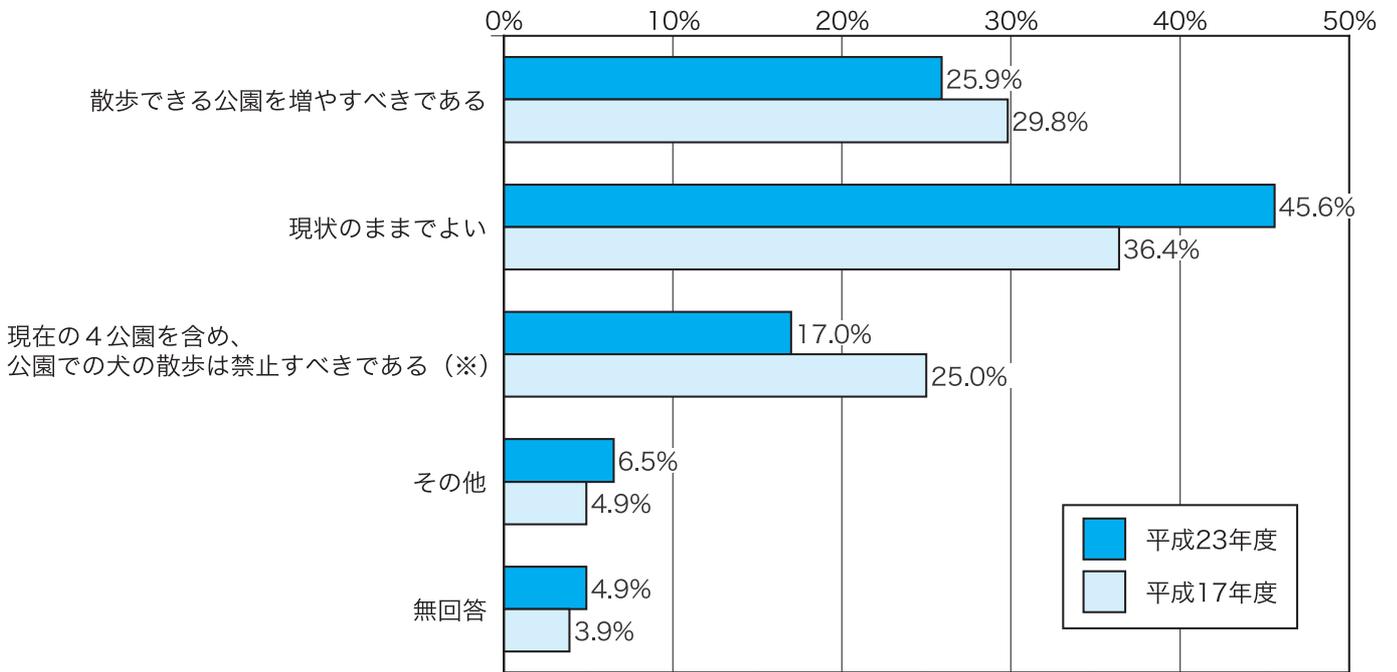
公園での犬の散歩を今後どのようにしていくかについては、「現状のままでよい」が45.6%と、ほぼ半数に達した。「散歩できる公園を増やすべきである」は25.9%、「公園での犬の散歩は禁止すべきである」は17.0%となった。

男女別で見ると、「現状のままでよい」は、「男性（42.9%）」より「女性（47.8%）」の方が多く、「散歩できる公園を増やすべきである」、「公園での犬の散歩は禁止すべきである」は共に、「男性」が「女性」を上回った。

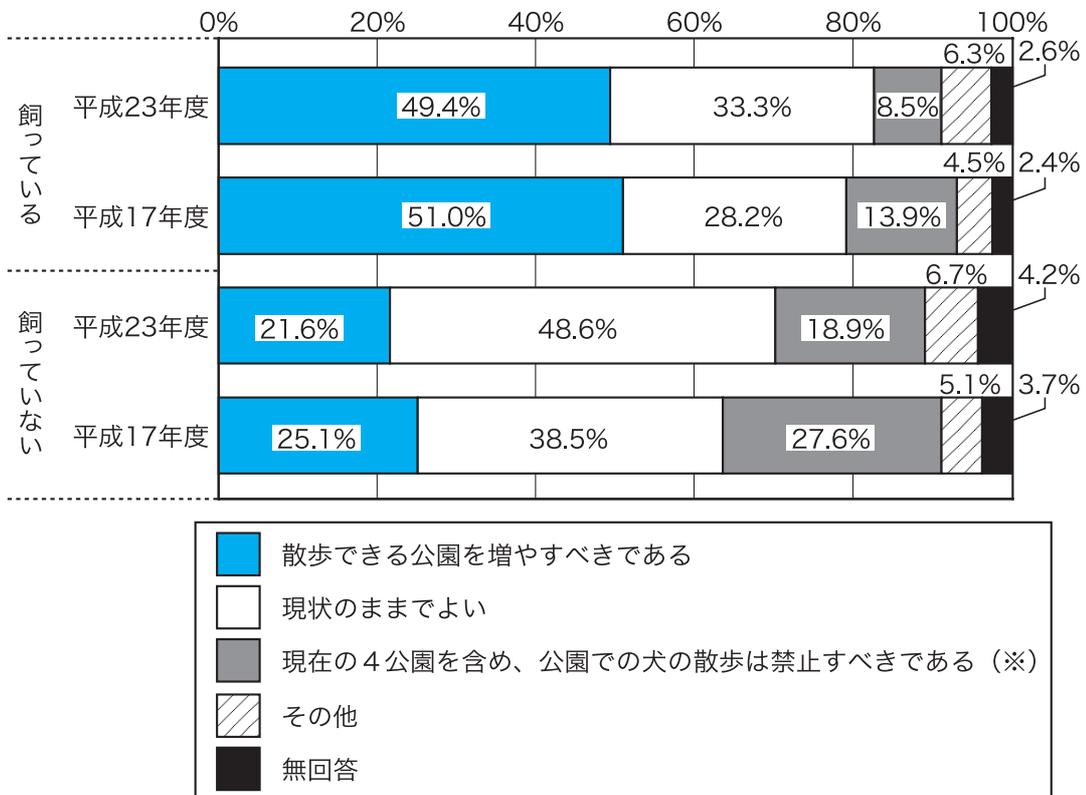
年代別で見ると、「散歩できる公園を増やすべきである」は、「20歳代」や「30歳代」ではおよそ3分の1の回答を得る一方、「70歳以上」は15.1%であり、他の年代に比べると少ない。また、「公園での犬の散歩は禁止すべきである」は、「30歳代」が7.4%と最も少なく、以降、年代が高くなるにしたがって、割合も大きくなっている。

地域別では、「公園での犬の散歩は禁止すべきである」は、「松代・若穂」が20.2%となり、唯一2割を超えている。

平成17年度の調査結果と比較すると、「現状のままでよい」という回答は、前回より9.2ポイント増加した。一方で、「散歩できる公園を増やすべきである」という回答は、前回より3.9ポイント減少、同様に、「公園での犬の散歩は禁止すべきである」という回答も、前回より8.0ポイント減少した。

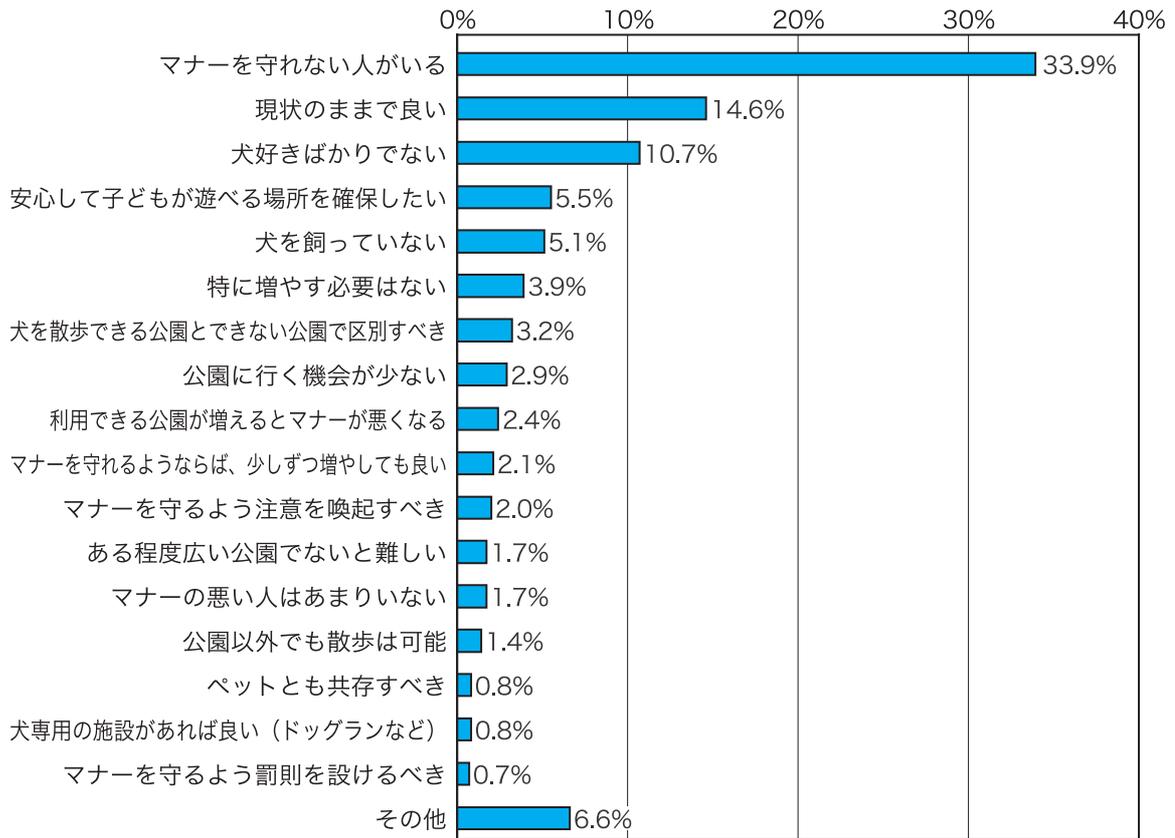


犬を飼っている人と飼っていない人で調査結果を分析すると、次のグラフのとおりとなる。

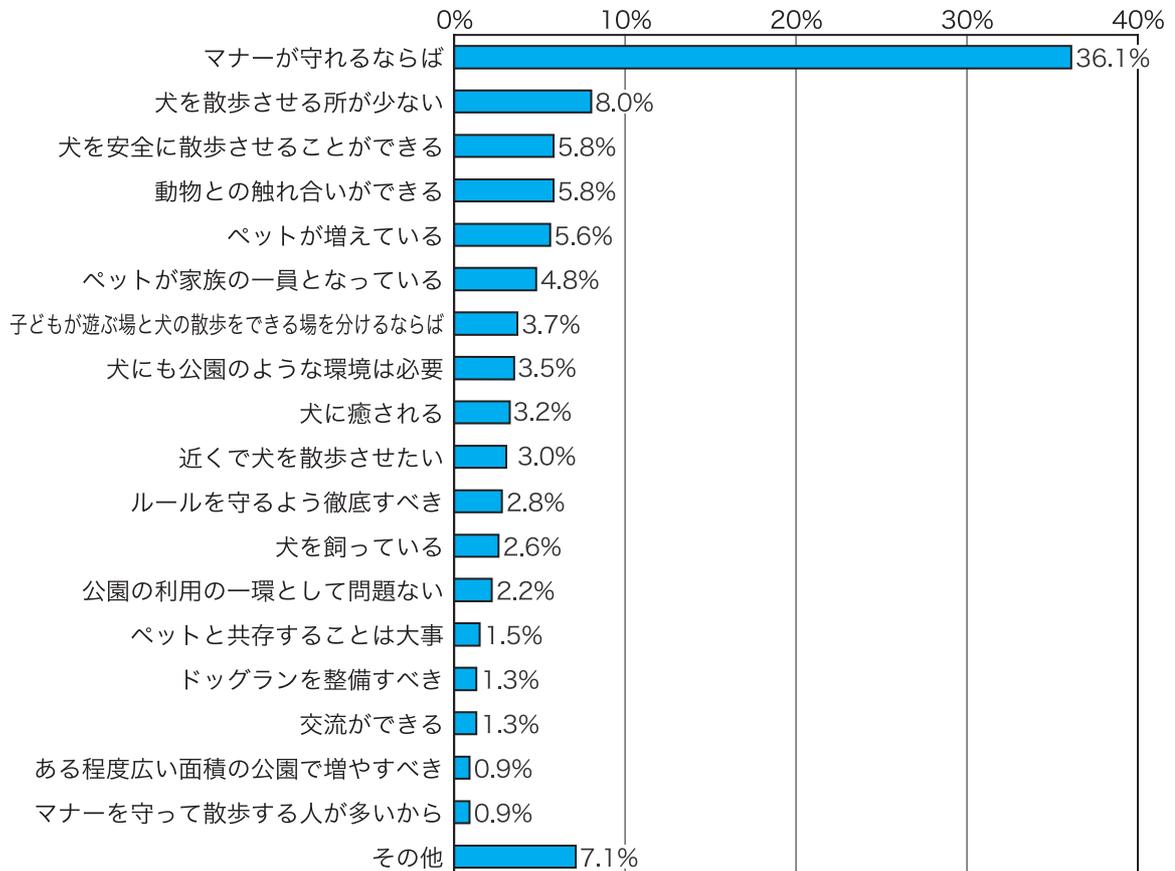


(※) 平成17年度の選択肢は、「現在の3公園を含め、公園での犬の散歩は禁止するべきである」であった(平成17年当時、犬の散歩ができるのは、長野運動公園、八幡原史跡公園および真田公園の3公園であった)。

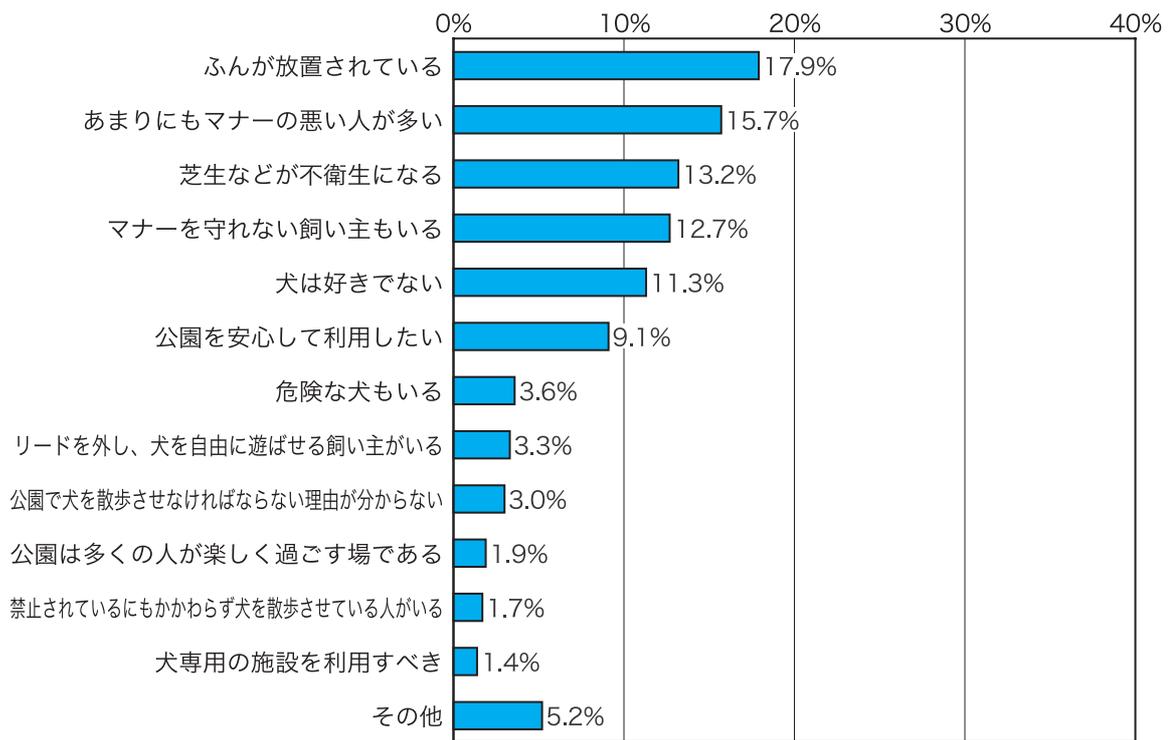
「現状のままでよい」と思う理由



「散歩できる公園を増やすべきである」と思う理由



「現在の4公園を含め、公園での犬の散歩は禁止すべきである」と思う理由



飼い主のマナー ～「悪い」が半数～

問9 犬を散歩させる際の飼い主のマナーについてどう思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。

			良い	悪い	分からない	無回答	合計
全体		度数	500	1,700	1,067	68	3,335
		割合	15.0%	51.0%	32.0%	2.0%	100.0%
性別	男性	度数	209	762	421	25	1,417
		割合	14.7%	53.8%	29.7%	1.8%	100.0%
	女性	度数	290	926	642	36	1,894
		割合	15.3%	48.9%	33.9%	1.9%	100.0%
年代	20歳代	度数	44	92	143	3	282
		割合	15.6%	32.6%	50.7%	1.1%	100.0%
	30歳代	度数	89	191	230	4	514
		割合	17.3%	37.2%	44.7%	0.8%	100.0%
	40歳代	度数	96	272	210	7	585
		割合	16.4%	46.5%	35.9%	1.2%	100.0%
	50歳代	度数	84	331	175	14	604
		割合	13.9%	54.8%	29.0%	2.3%	100.0%
	60歳代	度数	101	468	178	14	761
		割合	13.3%	61.5%	23.4%	1.8%	100.0%
	70歳以上	度数	83	342	130	23	578
		割合	14.4%	59.2%	22.5%	4.0%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	166	603	396	22	1,187
		割合	14.0%	50.8%	33.4%	1.9%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	114	399	245	15	773
		割合	14.7%	51.6%	31.7%	1.9%	100.0%
	犀南地域	度数	136	467	251	15	869
		割合	15.7%	53.7%	28.9%	1.7%	100.0%
	松代・若穂	度数	44	144	88	6	282
		割合	15.6%	51.1%	31.2%	2.1%	100.0%
	中山間地域	度数	36	77	79	5	197
		割合	18.3%	39.1%	40.1%	2.5%	100.0%

犬の飼い主のマナーについては、「悪い (51.0%)」という回答が半数を超え、「良い」は 15.0%にとどまった。

男女別で見ると、マナーが「良い」という回答は「女性 (15.3%)」が「男性 (14.7%)」をわずかに上回り、「悪い」という回答は「男性 (53.8%)」が「女性 (48.9%)」を上回った。

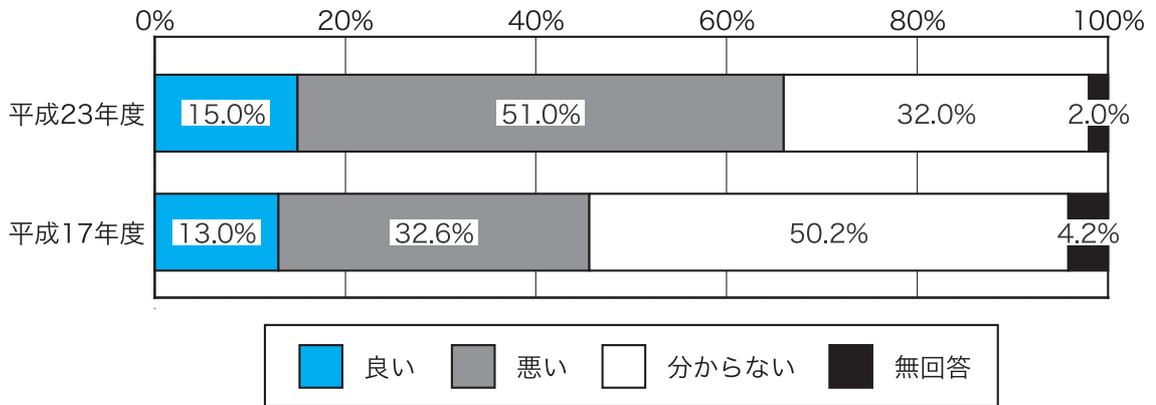
年代別では、「良い」という回答は「30歳代 (17.3%)」が最も多く、「悪い」という回答は「60歳代 (61.5%)」が最多となった。

「良い」という回答は、年代ごとの回答割合にそれほど大きな開きは見られないものの、「悪い」という回答は、最も多かった「60歳代 (61.5%)」と最も少なかった「20歳代 (32.6%)」を比較すると、28.9ポイントもの大きな開きが見られる。

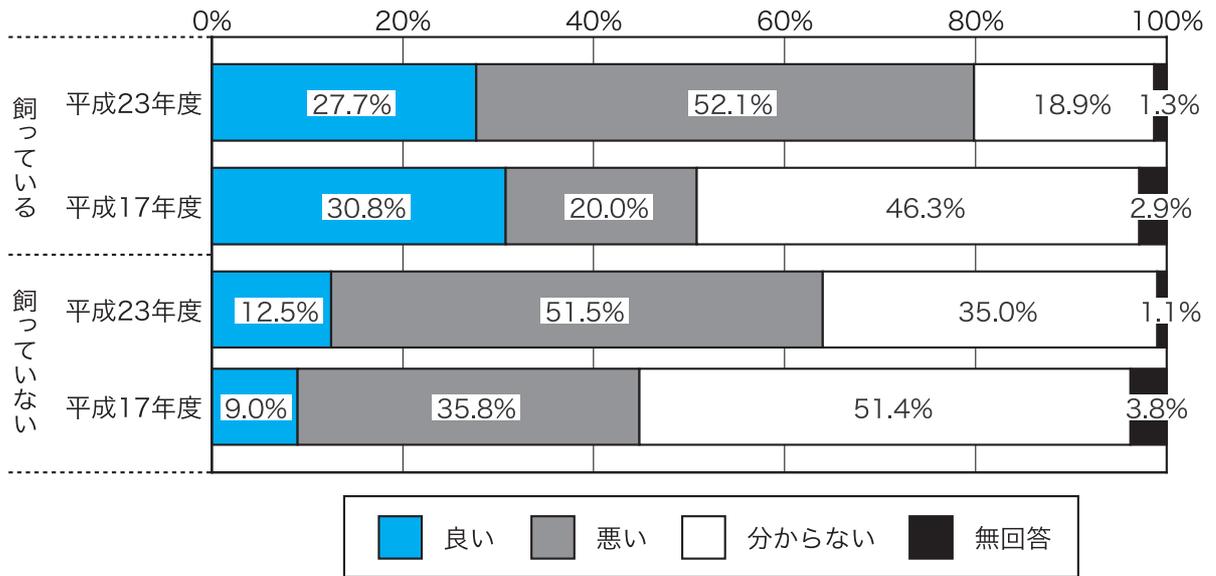
地域別では、「良い」という回答は「中山間地域 (18.3%)」が最も多く、「悪い」という回答は「犀南地域 (53.7%)」が最多となった。

平成 17 年度の調査結果と比較すると、マナーが「悪い」という回答は、前回より 18.4 ポイント増加した。同様に、「良い」という回答も、前回より 2.0 ポイント増加した。

「分からない」という回答は今回 32.0%となり、前回より 18.2 ポイント減少した。



犬を飼っている人と飼っていない人で調査結果を分析すると、次のグラフのとおりとなる。



マナーの悪さ ～「ふんの放置」が圧倒的～

問 10 問9で「2 悪い」を選んだ方にお伺いします。どんな点についてマナーが悪いと感じますか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

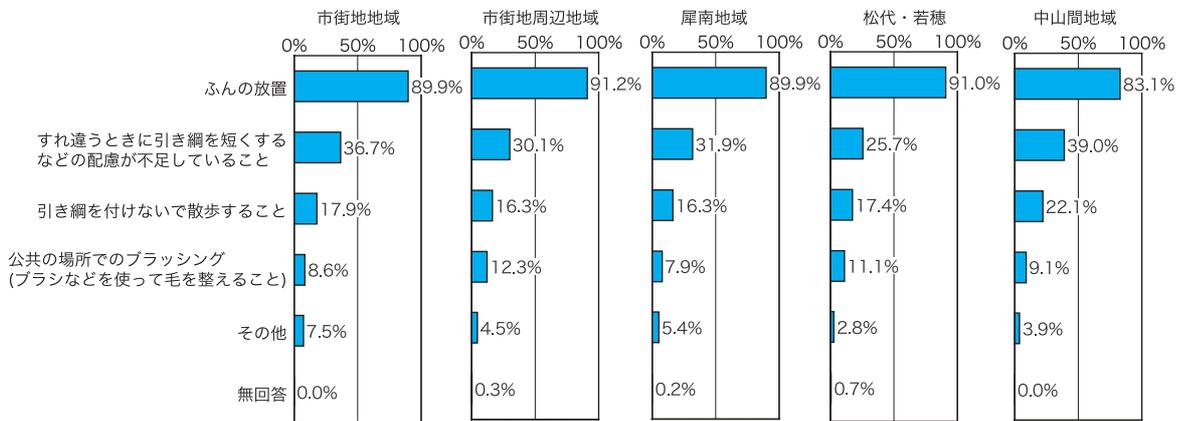
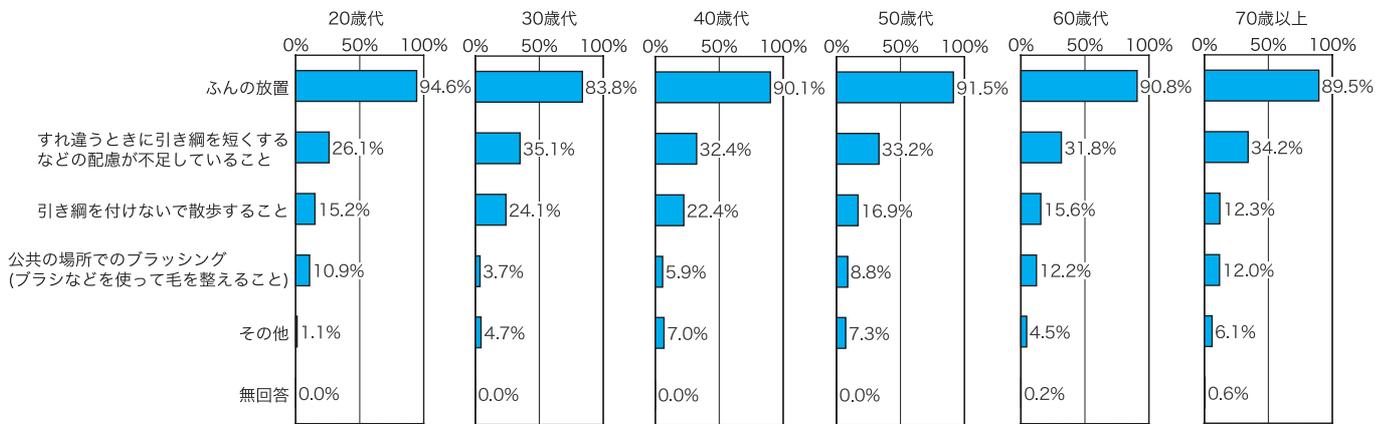
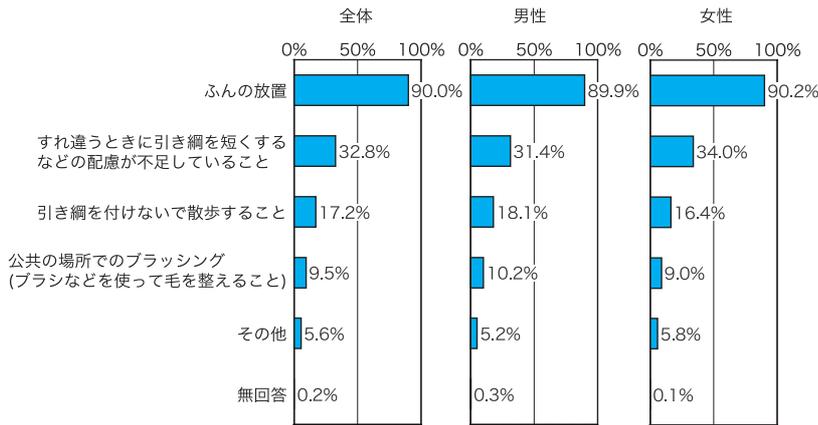
			ふんの放置	引き綱を付けないで散歩すること	すれ違うときに引き綱を短くするなどの配慮が不足していること	公共の場所でのブラッシング(ブラシなどを使って毛を整えること)	その他	無回答	対象
全体		度数	1,530	293	557	161	95	3	1,700
		割合	90.0%	17.2%	32.8%	9.5%	5.6%	0.2%	-
性別	男性	度数	685	138	239	78	40	2	762
	割合	89.9%	18.1%	31.4%	10.2%	5.2%	0.3%	-	
	女性	度数	835	152	315	83	54	1	926
	割合	90.2%	16.4%	34.0%	9.0%	5.8%	0.1%	-	
年代	20 歳代	度数	87	14	24	10	1	0	92
		割合	94.6%	15.2%	26.1%	10.9%	1.1%	0.0%	-
	30 歳代	度数	160	46	67	7	9	0	191
		割合	83.8%	24.1%	35.1%	3.7%	4.7%	0.0%	-
	40 歳代	度数	245	61	88	16	19	0	272
		割合	90.1%	22.4%	32.4%	5.9%	7.0%	0.0%	-
	50 歳代	度数	303	56	110	29	24	0	331
		割合	91.5%	16.9%	33.2%	8.8%	7.3%	0.0%	-
	60 歳代	度数	425	73	149	57	21	1	468
		割合	90.8%	15.6%	31.8%	12.2%	4.5%	0.2%	-
	70 歳以上	度数	306	42	117	41	21	2	342
		割合	89.5%	12.3%	34.2%	12.0%	6.1%	0.6%	-
地域区分	市街地地域	度数	542	108	221	52	45	0	603
		割合	89.9%	17.9%	36.7%	8.6%	7.5%	0.0%	-
	市街地周辺地域	度数	364	65	120	49	18	1	399
		割合	91.2%	16.3%	30.1%	12.3%	4.5%	0.3%	-
	犀南地域	度数	420	76	149	37	25	1	467
		割合	89.9%	16.3%	31.9%	7.9%	5.4%	0.2%	-
	松代・若穂	度数	131	25	37	16	4	1	144
		割合	91.0%	17.4%	25.7%	11.1%	2.8%	0.7%	-
	中山間地域	度数	64	17	30	7	3	0	77
		割合	83.1%	22.1%	39.0%	9.1%	3.9%	0.0%	-

マナーの悪い具体的な点については、「ふんの放置」が90.0%と、圧倒的に多かった。次いで「すれ違うときの配慮不足（32.8%）」、「引き綱を付けないで散歩すること（17.2%）」が続いている。

男女別では、回答の傾向に大きな違いはない。

年代別では、「ふんの放置」については、どの年代もおおむね9割前後の回答である中、「30 歳代」は83.8%であり、他の年代に比べると少ない回答であった。一方、「すれ違うときの配慮不足」、「引き綱を付けないで散歩すること」については、「30 歳代」の回答が最も多かった。

地域別では、「ふんの放置」については「中山間地域」が83.1%と、他の地域に比べると最も低かった。一方、「すれ違うときの配慮不足」、「引き綱を付けないで散歩すること」については、「中山間地域」の回答が最も多かった。



問 11 全員の方にお伺いします。あなたの家庭では犬を飼っていますか。次の中から1つだけ○をしてください。

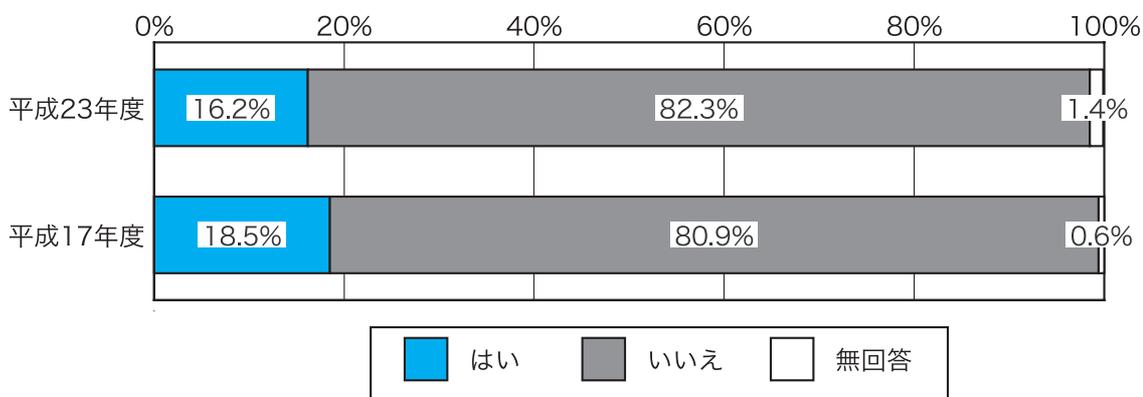
			はい	いいえ	無回答	合計
全体	度数		541	2,746	48	3,335
	割合		16.2%	82.3%	1.4%	100.0%
性別	男 性	度数	226	1,169	22	1,417
		割合	15.9%	82.5%	1.6%	100.0%
	女 性	度数	314	1,561	19	1,894
		割合	16.6%	82.4%	1.0%	100.0%
年代	20 歳代	度数	63	215	4	282
		割合	22.3%	76.2%	1.4%	100.0%
	30 歳代	度数	56	455	3	514
		割合	10.9%	88.5%	0.6%	100.0%
	40 歳代	度数	87	489	9	585
		割合	14.9%	83.6%	1.5%	100.0%
	50 歳代	度数	138	456	10	604
		割合	22.8%	75.5%	1.7%	100.0%
	60 歳代	度数	127	628	6	761
		割合	16.7%	82.5%	0.8%	100.0%
	70 歳以上	度数	68	498	12	578
		割合	11.8%	86.2%	2.1%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	135	1,032	20	1,187
		割合	11.4%	86.9%	1.7%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	133	633	7	773
		割合	17.2%	81.9%	0.9%	100.0%
	犀南地域	度数	165	693	11	869
		割合	19.0%	79.7%	1.3%	100.0%
	松代・若穂	度数	62	216	4	282
		割合	22.0%	76.6%	1.4%	100.0%
	中山間地域	度数	40	156	1	197
		割合	20.3%	79.2%	0.5%	100.0%

犬を飼っているかという設問に対して、「はい（飼っている）」という回答は 16.2%、「いいえ（飼っていない）」という回答は 82.3%となった。

地域別で見ると、「はい（飼っている）」という割合は「松代・若穂（22.0%）」が最も高く、「中山間地域（20.3%）」が続いた。これ以外の地域では、犬を飼っている割合は 2 割を下回っている。

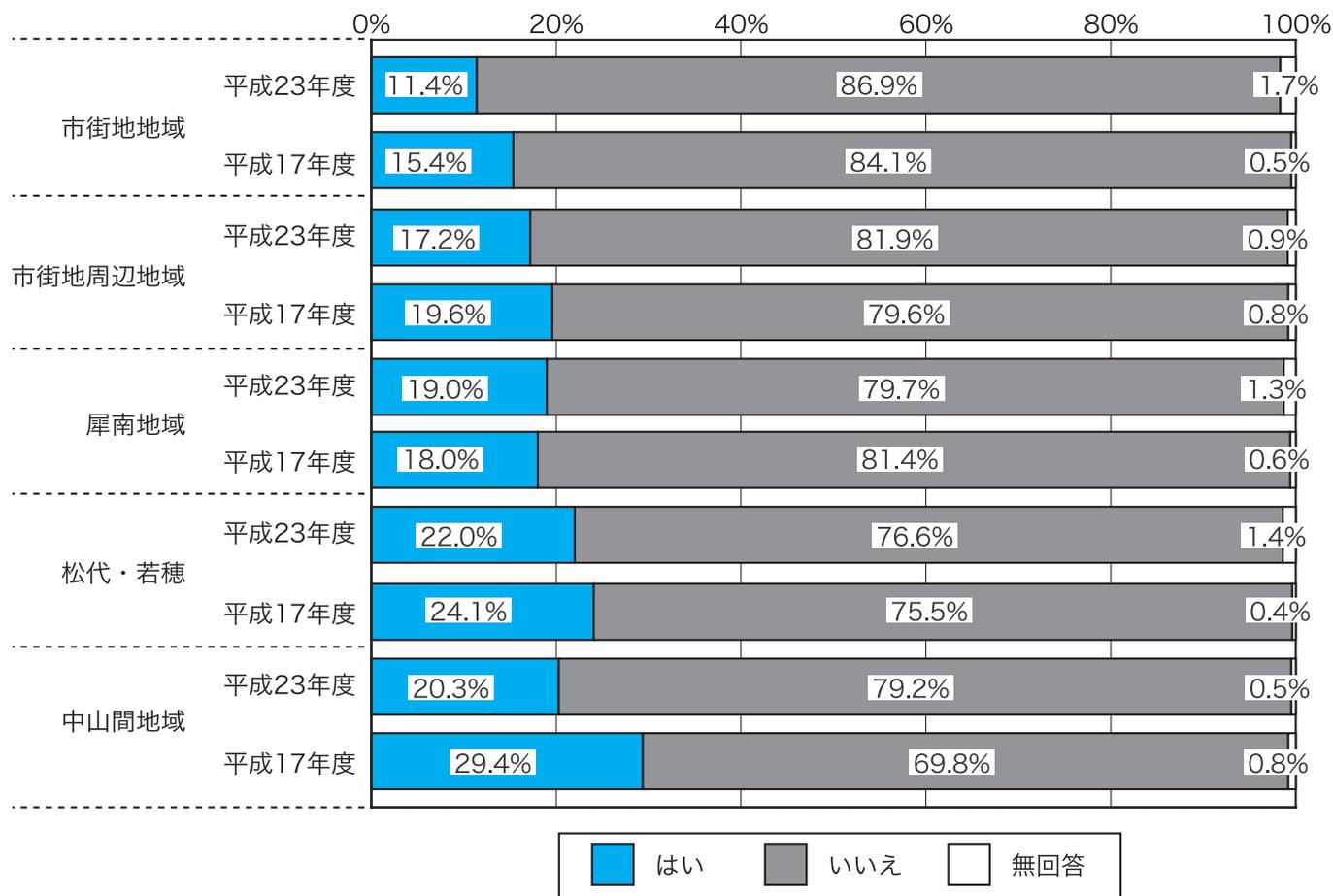
一方、「いいえ（飼っていない）」という割合が最も低かった地域は「市街地地域（86.9%）」で、「市街地周辺地域（81.9%）」が続いた。これ以外の地域では、犬を飼っていない割合は 8 割を下回っている。

平成 17 年度の調査結果と比較すると、「はい（飼っている）」という回答は、前回より 2.3 ポイント減少した。一方「いいえ（飼っていない）」という回答は、前回より 1.4 ポイント増加している。



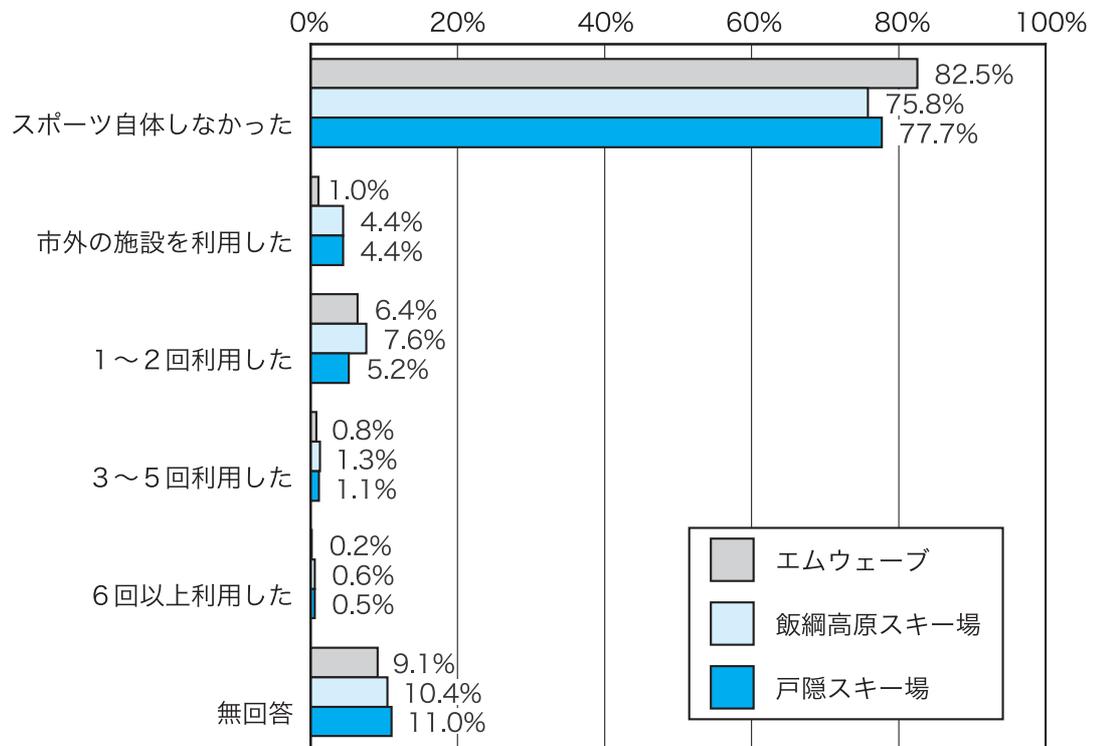
地域別で調査結果を分析すると、次のグラフのとおりとなる。

「はい（犬を飼っている）」という回答割合は、「犀南地域」において前回調査時より増加した。その他の地域では、この割合は減少している。中でも、「中山間地域」では、前回 3 割近かった割合が今回 20.3%と、前回より 9.1 ポイント減少した。



ウィンタースポーツについて

問 12 昨年度（平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの期間）、あなたは次の施設を何回利用しましたか。①から③の施設ごとに、利用した回数を回答欄から 1 つだけ選んで番号に○をしてください。（①エムウェーブのスケートリンク ②飯綱高原スキー場 ③戸隠スキー場）



エムウェーブのスケートリンク、飯綱高原スキー場、戸隠スキー場の3施設について、昨年度の利用状況についてたずねたところ、上記グラフのとおりとなった。

「スポーツ自体しなかった」ことを含め、施設を利用しなかったという回答がいずれも多数を占めた。

3施設のうち、利用が最も多かったのは「飯綱高原スキー場」であった。飯綱高原スキー場を「1～2回利用した」という回答は7.6%、「3～5回利用した」という回答は1.3%、「6回以上利用した」という回答は0.6%であり、合計すると回答者の約1割（9.5%）が、飯綱高原スキー場を利用したことが分かる。

一方、利用が最も少なかったのは「戸隠スキー場」で、「1～2回利用した」、「3～5回利用した」、「6回以上利用した」という回答の合計は6.8%であった。

【①エムウェーブのスケートリンク】

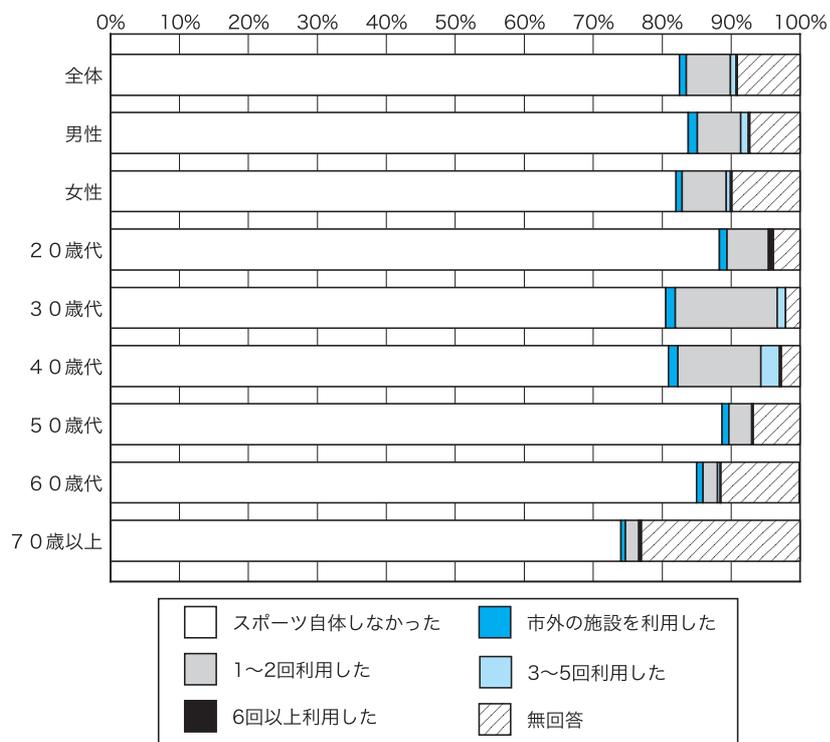
		スポーツ自体 しなかった	市外の施設 を利用した	1～2回利 用した	3～5回利 用した	6回以上利 用した	無回答	合計
全体		度数 2,752	35	212	27	6	303	3,335
		割合 82.5%	1.0%	6.4%	0.8%	0.2%	9.1%	100.0%
性別	男 性	度数 1,187	18	89	15	3	105	1,417
		割合 83.8%	1.3%	6.3%	1.1%	0.2%	7.4%	100.0%
	女 性	度数 1,554	17	121	12	3	187	1,894
		割合 82.0%	0.9%	6.4%	0.6%	0.2%	9.9%	100.0%
年代	20 歳代	度数 249	3	17	0	2	11	282
		割合 88.3%	1.1%	6.0%	0.0%	0.7%	3.9%	100.0%
	30 歳代	度数 414	7	76	6	0	11	514
		割合 80.5%	1.4%	14.8%	1.2%	0.0%	2.1%	100.0%
	40 歳代	度数 473	8	70	16	2	16	585
		割合 80.9%	1.4%	12.0%	2.7%	0.3%	2.7%	100.0%
	50 歳代	度数 536	6	20	1	0	41	604
		割合 88.7%	1.0%	3.3%	0.2%	0.0%	6.8%	100.0%
	60 歳代	度数 647	7	16	3	1	87	761
		割合 85.0%	0.9%	2.1%	0.4%	0.1%	11.4%	100.0%
	70 歳以上	度数 428	4	11	1	1	133	578
		割合 74.0%	0.7%	1.9%	0.2%	0.2%	23.0%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数 1,001	11	71	9	3	92	1,187
		割合 84.3%	0.9%	6.0%	0.8%	0.3%	7.8%	100.0%
	市街地周辺地域	度数 639	7	54	5	0	68	773
		割合 82.7%	0.9%	7.0%	0.6%	0.0%	8.8%	100.0%
	犀南地域	度数 726	11	56	8	3	65	869
		割合 83.5%	1.3%	6.4%	0.9%	0.3%	7.5%	100.0%
	松代・若穂	度数 221	3	21	3	0	34	282
		割合 78.4%	1.1%	7.4%	1.1%	0.0%	12.1%	100.0%
	中山間地域	度数 149	3	6	2	0	37	197
		割合 75.6%	1.5%	3.0%	1.0%	0.0%	18.8%	100.0%

エムウェーブのスケートリンクを「1～2回利用した」、「3～5回利用した」、「6回以上利用した」という回答を合計した「利用した」割合は、7.4%となった。

男女別で見ると、「利用した」割合は「男性」が7.6%、「女性」が7.2%となった。

年代別では、「利用した」割合が最も高かったのは「30歳代(16.0%)」で、「40歳代(15.0%)」がこれに続いた。

地域別では、「利用した」割合が最も高かったのは「松代・若穂(8.5%)」で、最も低かったのは「中山間地域(4.0%)」となった。



【②飯綱高原スキー場】

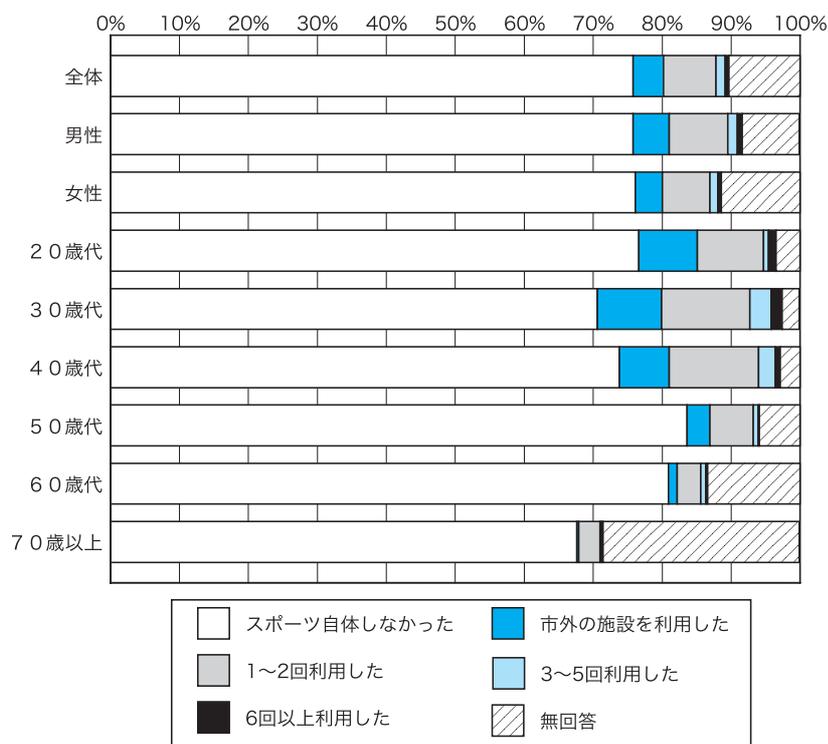
		スポーツ自体 しなかった	市外の施設 を利用した	1～2回利 用した	3～5回利 用した	6回以上利 用した	無回答	合計
全体		度数 2,527	147	252	42	19	348	3,335
		割合 75.8%	4.4%	7.6%	1.3%	0.6%	10.4%	100.0%
性別	男性	度数 1,074	74	121	20	10	118	1,417
		割合 75.8%	5.2%	8.5%	1.4%	0.7%	8.3%	100.0%
	女性	度数 1,442	73	130	22	9	218	1,894
		割合 76.1%	3.9%	6.9%	1.2%	0.5%	11.5%	100.0%
年代	20歳代	度数 216	24	27	2	3	10	282
		割合 76.6%	8.5%	9.6%	0.7%	1.1%	3.5%	100.0%
	30歳代	度数 363	48	66	16	8	13	514
		割合 70.6%	9.3%	12.8%	3.1%	1.6%	2.5%	100.0%
	40歳代	度数 432	42	76	14	4	17	585
		割合 73.8%	7.2%	13.0%	2.4%	0.7%	2.9%	100.0%
	50歳代	度数 505	20	38	4	1	36	604
		割合 83.6%	3.3%	6.3%	0.7%	0.2%	6.0%	100.0%
	60歳代	度数 616	10	26	5	2	102	761
		割合 80.9%	1.3%	3.4%	0.7%	0.3%	13.4%	100.0%
	70歳以上	度数 391	2	18	1	1	165	578
		割合 67.6%	0.3%	3.1%	0.2%	0.2%	28.5%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数 910	63	91	17	5	101	1,187
		割合 76.7%	5.3%	7.7%	1.4%	0.4%	8.5%	100.0%
	市街地周辺地域	度数 586	30	61	11	6	79	773
		割合 75.8%	3.9%	7.9%	1.4%	0.8%	10.2%	100.0%
	犀南地域	度数 679	35	63	12	2	78	869
		割合 78.1%	4.0%	7.2%	1.4%	0.2%	9.0%	100.0%
	松代・若穂	度数 205	9	22	2	3	41	282
		割合 72.7%	3.2%	7.8%	0.7%	1.1%	14.5%	100.0%
	中山間地域	度数 133	8	12	0	3	41	197
		割合 67.5%	4.1%	6.1%	0.0%	1.5%	20.8%	100.0%

飯綱高原スキー場を「1～2回利用した」、「3～5回利用した」、「6回以上利用した」という回答を合計した「利用した」割合は、9.5%となった。

男女別で見ると、「利用した」割合は「男性」が10.6%、「女性」が8.6%となった。

年代別では、「利用した」割合が最も高かったのは「30歳代(17.5%)」で、「40歳代(16.1%)」がこれに続いた。

地域別では、「市街地周辺地域(10.1%)」の利用が最も多く、最も少なかったのは「中山間地域(7.6%)」となった。



【③戸隠スキー場】

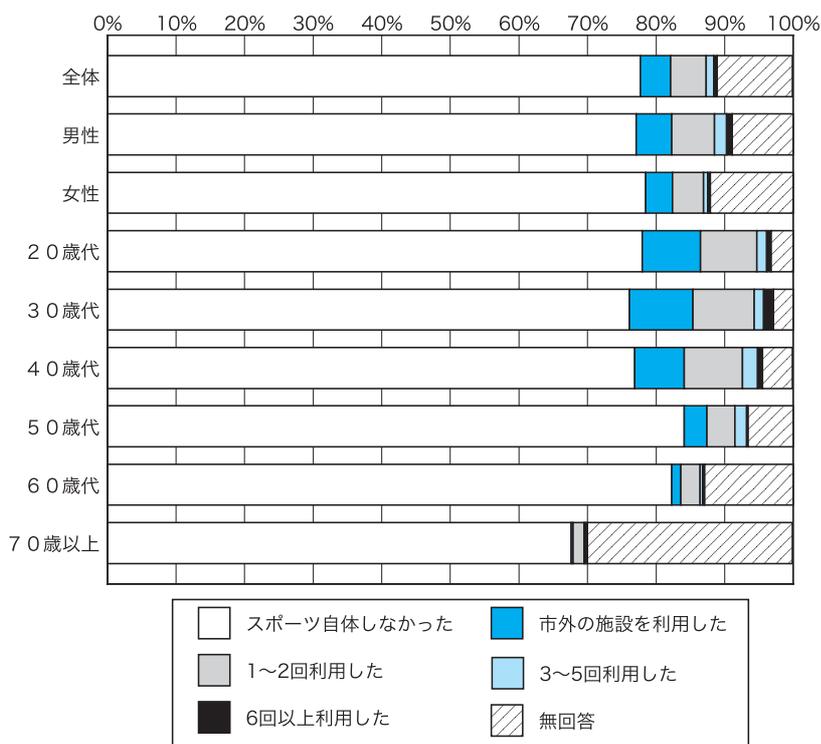
		スポーツ自体 しなかった	市外の施設 を利用した	1～2回利 用した	3～5回利 用した	6回以上利 用した	無回答	合計
全体		度数 2,591	147	174	38	18	367	3,335
		割合 77.7%	4.4%	5.2%	1.1%	0.5%	11.0%	100.0%
性別	男 性	度数 1,092	74	88	26	11	126	1,417
		割合 77.1%	5.2%	6.2%	1.8%	0.8%	8.9%	100.0%
	女 性	度数 1,487	73	86	12	7	229	1,894
		割合 78.5%	3.9%	4.5%	0.6%	0.4%	12.1%	100.0%
年代	20 歳代	度数 220	24	23	4	2	9	282
		割合 78.0%	8.5%	8.2%	1.4%	0.7%	3.2%	100.0%
	30 歳代	度数 391	48	46	7	7	15	514
		割合 76.1%	9.3%	8.9%	1.4%	1.4%	2.9%	100.0%
	40 歳代	度数 450	42	50	13	4	26	585
		割合 76.9%	7.2%	8.5%	2.2%	0.7%	4.4%	100.0%
	50 歳代	度数 508	20	25	10	1	40	604
		割合 84.1%	3.3%	4.1%	1.7%	0.2%	6.6%	100.0%
	60 歳代	度数 626	10	21	3	2	99	761
		割合 82.3%	1.3%	2.8%	0.4%	0.3%	13.0%	100.0%
	70 歳以上	度数 391	2	9	1	2	173	578
		割合 67.6%	0.3%	1.6%	0.2%	0.3%	29.9%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数 941	63	52	11	6	114	1,187
		割合 79.3%	5.3%	4.4%	0.9%	0.5%	9.6%	100.0%
	市街地周辺地域	度数 605	30	40	9	4	85	773
		割合 78.3%	3.9%	5.2%	1.2%	0.5%	11.0%	100.0%
	犀南地域	度数 696	35	51	9	3	75	869
		割合 80.1%	4.0%	5.9%	1.0%	0.3%	8.6%	100.0%
	松代・若穂	度数 208	9	19	3	0	43	282
		割合 73.8%	3.2%	6.7%	1.1%	0.0%	15.2%	100.0%
	中山間地域	度数 127	8	10	6	5	41	197
		割合 64.5%	4.1%	5.1%	3.0%	2.5%	20.8%	100.0%

戸隠スキー場を「1～2回利用した」、「3～5回利用した」、「6回以上利用した」という回答を合計した「利用した」割合は、6.8%となった。

男女別で見ると、「利用した」割合は「男性」が8.8%、「女性」が5.5%となった。

年代別では、「利用した」割合が最も高かったのは「30歳代（11.7%）」で、「40歳代（11.4%）」がこれに続いた。

地域別では、「中山間地域（10.6%）」の利用が最も多く、最も少なかったのは「市街地地域（5.8%）」となった。



充実すべきサービス ～市民向け格安チケットの販売など～

問 13 問 12 の3施設をさらに利用しやすくするために、どんなことを実施または充実させるべきと思いますか。①から③の施設ごとに、次の2つの観点からそれぞれ3つ選んで、回答欄に番号を記入してください。(①エムウェーブのスケートリンク ②飯綱高原スキー場 ③戸隠スキー場)

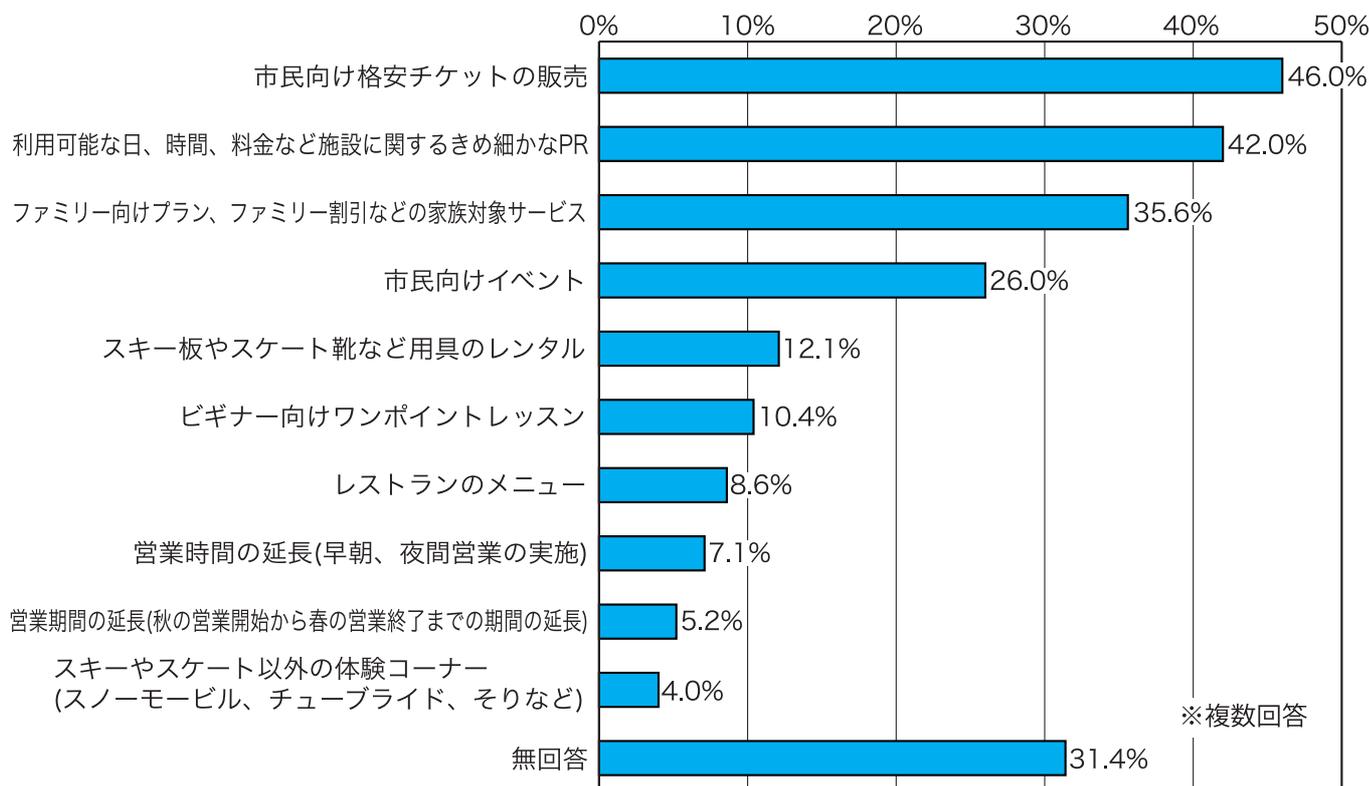
■ サービス提供の観点から

①エムウェーブのスケートリンク

			施設に関するきめ細かなPR	家族対象サービス	市民向け格安チケットの販売	営業時間の延長	営業期間の延長	市民向けイベント	ビギナー向けワンポイントレッスン	スキーやスケート以外の体験コーナー	レストランのメニュー	用具のレンタル	無回答	対象
全体		度数	1,402	1,186	1,535	238	175	866	348	135	287	404	1,047	3,335
		割合	42.0%	35.6%	46.0%	7.1%	5.2%	26.0%	10.4%	4.0%	8.6%	12.1%	31.4%	-
性別	男性	度数	615	499	660	116	86	402	146	62	136	157	414	1,417
		割合	43.4%	35.2%	46.6%	8.2%	6.1%	28.4%	10.3%	4.4%	9.6%	11.1%	29.2%	-
	女性	度数	786	684	870	121	89	459	201	72	150	247	615	1,894
		割合	41.5%	36.1%	45.9%	6.4%	4.7%	24.2%	10.6%	3.8%	7.9%	13.0%	32.5%	-
年代	20歳代	度数	176	99	175	50	24	70	48	20	32	56	27	282
		割合	62.4%	35.1%	62.1%	17.7%	8.5%	24.8%	17.0%	7.1%	11.3%	19.9%	9.6%	-
	30歳代	度数	288	282	335	40	31	170	72	27	77	82	36	514
		割合	56.0%	54.9%	65.2%	7.8%	6.0%	33.1%	14.0%	5.3%	15.0%	16.0%	7.0%	-
	40歳代	度数	300	285	383	48	45	175	71	28	63	86	73	585
		割合	51.3%	48.7%	65.5%	8.2%	7.7%	29.9%	12.1%	4.8%	10.8%	14.7%	12.5%	-
	50歳代	度数	271	222	317	60	32	188	86	30	47	69	146	604
		割合	44.9%	36.8%	52.5%	9.9%	5.3%	31.1%	14.2%	5.0%	7.8%	11.4%	24.2%	-
	60歳代	度数	259	203	229	23	32	189	52	22	53	82	351	761
		割合	34.0%	26.7%	30.1%	3.0%	4.2%	24.8%	6.8%	2.9%	7.0%	10.8%	46.1%	-
	70歳以上	度数	107	94	93	16	10	73	19	8	15	28	406	578
		割合	18.5%	16.3%	16.1%	2.8%	1.7%	12.6%	3.3%	1.4%	2.6%	4.8%	70.2%	-
地域区分	市街地地域	度数	500	421	557	83	66	300	115	47	131	162	363	1,187
		割合	42.1%	35.5%	46.9%	7.0%	5.6%	25.3%	9.7%	4.0%	11.0%	13.6%	30.6%	-
	市街地周辺地域	度数	332	283	357	53	36	215	79	29	54	99	238	773
		割合	42.9%	36.6%	46.2%	6.9%	4.7%	27.8%	10.2%	3.8%	7.0%	12.8%	30.8%	-
	犀南地域	度数	374	322	411	73	48	234	104	46	68	93	255	869
		割合	43.0%	37.1%	47.3%	8.4%	5.5%	26.9%	12.0%	5.3%	7.8%	10.7%	29.3%	-
	松代・若穂	度数	122	98	117	14	14	76	33	7	22	30	91	282
		割合	43.3%	34.8%	41.5%	5.0%	5.0%	27.0%	11.7%	2.5%	7.8%	10.6%	32.3%	-
	中山間地域	度数	63	54	78	11	10	37	16	6	8	19	91	197
		割合	32.0%	27.4%	39.6%	5.6%	5.1%	18.8%	8.1%	3.0%	4.1%	9.6%	46.2%	-

エムウェーブのスケートリンクについて充実すべきサービスとしては、「市民向け格安チケットの販売(46.0%)」が最も多く、次いで「施設に関するきめ細かなPR(42.0%)」が続いた。

地域別で見ると、「松代・若穂」では「施設に関するきめ細かなPR(43.3%)」が最も多く、それ以外の地域では「市民向け格安チケットの販売」が最多となった。



【性別・年代別順位】上位5項目

順位	全体 (n=3,335)	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	市民向け格安チケットの販売 (46.0%)	市民向け格安チケットの販売 (46.6%)	市民向け格安チケットの販売 (45.9%)	施設に関するきめ細かなPR (62.4%)	市民向け格安チケットの販売 (65.2%)	市民向け格安チケットの販売 (65.5%)	市民向け格安チケットの販売 (52.5%)	施設に関するきめ細かなPR (34.0%)	施設に関するきめ細かなPR (18.5%)
2	施設に関するきめ細かなPR (42.0%)	施設に関するきめ細かなPR (43.4%)	施設に関するきめ細かなPR (41.5%)	市民向け格安チケットの販売 (62.1%)	施設に関するきめ細かなPR (56.0%)	施設に関するきめ細かなPR (51.3%)	施設に関するきめ細かなPR (44.9%)	市民向け格安チケットの販売 (30.1%)	家族対象サービス (16.3%)
3	家族対象サービス (35.6%)	家族対象サービス (35.2%)	家族対象サービス (36.1%)	家族対象サービス (35.1%)	家族対象サービス (54.9%)	家族対象サービス (48.7%)	家族対象サービス (36.8%)	家族対象サービス (26.7%)	市民向け格安チケットの販売 (16.1%)
4	市民向けイベント (26.0%)	市民向けイベント (28.4%)	市民向けイベント (24.2%)	市民向けイベント (24.8%)	市民向けイベント (33.1%)	市民向けイベント (29.9%)	市民向けイベント (31.1%)	市民向けイベント (24.8%)	市民向けイベント (12.6%)
5	用具のレンタル (12.1%)	用具のレンタル (11.1%)	用具のレンタル (13.0%)	用具のレンタル (19.9%)	用具のレンタル (16.0%)	用具のレンタル (14.7%)	ビギナー向けワンポイントレッスン (14.2%)	用具のレンタル (10.8%)	用具のレンタル (4.8%)

男女別で見ると、男女共に「市民向け格安チケットの販売」がトップとなり、以下、全て同じ項目が上位に入っている。

年代別では、「30歳代」から「50歳代」までは「市民向け格安チケットの販売」が、「20歳代」、「60歳代」および「70歳以上」では「施設に関するきめ細かなPR」がトップになった。

「家族対象サービス」は、「70歳以上」では2位に、その他の年代では3位となった。また、「50歳代」では「ビギナー向けワンポイントレッスン」が5位に入っている。

問 12 の回答結果別（施設の利用頻度）に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

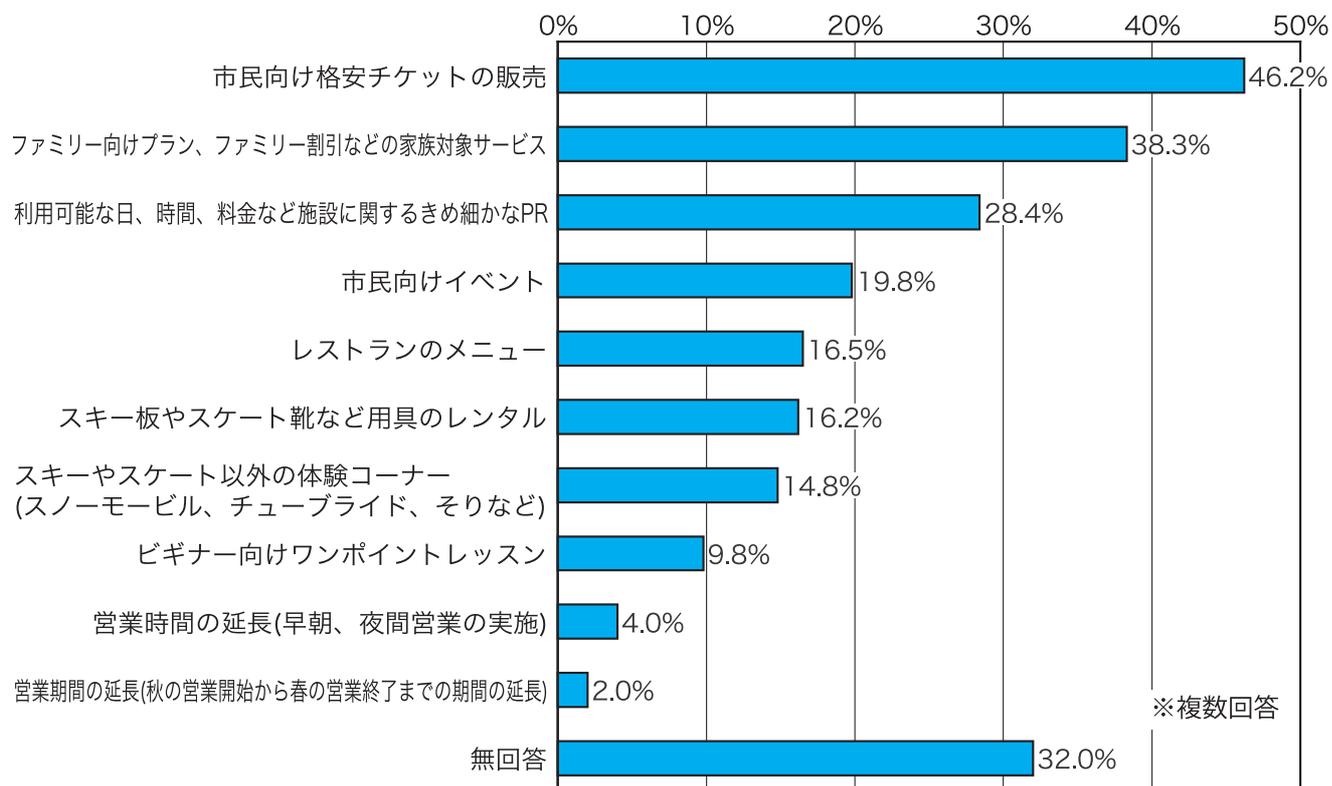
		施設に関する きめ細かなPR	家族対象サービス	市民向け格安チケットの販売	営業時間の延長	営業期間の延長	市民向けイベント	ビギナー向けワンポイントレッスン	スキーやスケート以外の体験コーナー	レストランのメニュー	用具のレンタル	無回答	対象	
全体		度数 割合	1,402 42.0%	1,186 35.6%	1,535 46.0%	238 7.1%	175 5.2%	866 26.0%	348 10.4%	135 4.0%	287 8.6%	404 12.1%	1,047 31.4%	3,335 -
問 12 回 答 結 果	スポーツ自体しなかった	度数	1,247	981	1,308	214	139	753	297	116	238	359	785	2,752
		割合	45.3%	35.6%	47.5%	7.8%	5.1%	27.4%	10.8%	4.2%	8.6%	13.0%	28.5%	-
	市外の施設を利用した	度数	11	10	18	1	3	11	2	5	3	6	11	35
		割合	31.4%	28.6%	51.4%	2.9%	8.6%	31.4%	5.7%	14.3%	8.6%	17.1%	31.4%	-
	1～2 回利用した	度数	101	136	153	14	22	69	29	7	31	24	10	212
		割合	47.6%	64.2%	72.2%	6.6%	10.4%	32.5%	13.7%	3.3%	14.6%	11.3%	4.7%	-
3～5 回利用した	度数	8	16	20	0	3	10	7	2	7	5	0	27	
	割合	29.6%	59.3%	74.1%	0.0%	11.1%	37.0%	25.9%	7.4%	25.9%	18.5%	0.0%	-	
6 回以上利用した	度数	2	2	4	2	3	2	1	1	0	1	0	6	
	割合	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	-	

②飯綱高原スキー場

		施設に関する 細かいPR	家族対 象サー ビス	市民向 け格安 チケットの 販売	営業時 間の延 長	営業期 間の延 長	市民向 けイベ ント	ビギナ ー向け ワンポ イント レッス ン	スキー やスケ ートの 体験コー ナー	レスト ランの メニュ ー	用具の レンタ ル	無回答	対象	
全体	度数	946	1,276	1,540	133	67	660	327	495	549	541	1,067	3,335	
	割合	28.4%	38.3%	46.2%	4.0%	2.0%	19.8%	9.8%	14.8%	16.5%	16.2%	32.0%	-	
性別	男性	度数	412	544	678	91	48	320	133	225	230	203	412	1,417
	割合	29.1%	38.4%	47.8%	6.4%	3.4%	22.6%	9.4%	15.9%	16.2%	14.3%	29.1%	-	
	女性	度数	533	730	857	42	19	338	191	270	318	337	636	1,894
	割合	28.1%	38.5%	45.2%	2.2%	1.0%	17.8%	10.1%	14.3%	16.8%	17.8%	33.6%	-	
年代	20歳代	度数	125	98	181	35	9	59	48	60	83	56	27	282
		割合	44.3%	34.8%	64.2%	12.4%	3.2%	20.9%	17.0%	21.3%	29.4%	19.9%	9.6%	-
	30歳代	度数	185	308	336	31	15	138	59	103	126	86	38	514
		割合	36.0%	59.9%	65.4%	6.0%	2.9%	26.8%	11.5%	20.0%	24.5%	16.7%	7.4%	-
	40歳代	度数	203	299	376	28	8	138	71	109	132	118	77	585
		割合	34.7%	51.1%	64.3%	4.8%	1.4%	23.6%	12.1%	18.6%	22.6%	20.2%	13.2%	-
	50歳代	度数	184	244	314	24	18	140	83	99	101	111	146	604
		割合	30.5%	40.4%	52.0%	4.0%	3.0%	23.2%	13.7%	16.4%	16.7%	18.4%	24.2%	-
	60歳代	度数	173	223	237	11	14	129	52	93	77	122	358	761
		割合	22.7%	29.3%	31.1%	1.4%	1.8%	17.0%	6.8%	12.2%	10.1%	16.0%	47.0%	-
	70歳以上	度数	76	102	94	2	3	55	13	31	29	48	413	578
		割合	13.1%	17.6%	16.3%	0.3%	0.5%	9.5%	2.2%	5.4%	5.0%	8.3%	71.5%	-
地域区分	市街地地域	度数	350	449	547	48	29	230	120	171	227	213	363	1,187
		割合	29.5%	37.8%	46.1%	4.0%	2.4%	19.4%	10.1%	14.4%	19.1%	17.9%	30.6%	-
	市街地周辺地域	度数	228	301	369	24	15	159	64	111	123	133	241	773
		割合	29.5%	38.9%	47.7%	3.1%	1.9%	20.6%	8.3%	14.4%	15.9%	17.2%	31.2%	-
	犀南地域	度数	239	343	421	42	18	179	94	146	134	130	264	869
		割合	27.5%	39.5%	48.4%	4.8%	2.1%	20.6%	10.8%	16.8%	15.4%	15.0%	30.4%	-
	松代・若穂	度数	78	111	121	8	2	53	36	39	36	37	98	282
		割合	27.7%	39.4%	42.9%	2.8%	0.7%	18.8%	12.8%	13.8%	12.8%	13.1%	34.8%	-
	中山間地域	度数	46	62	66	10	2	34	13	26	22	26	91	197
		割合	23.4%	31.5%	33.5%	5.1%	1.0%	17.3%	6.6%	13.2%	11.2%	13.2%	46.2%	-

飯綱高原スキー場について充実すべきサービスとしては、「市民向け格安チケットの販売（46.2%）」が最も多く、次いで「家族対象サービス（38.3%）」が続いた。

地域別で見ても、全ての地域で「市民向け格安チケットの販売」が最も多く、「家族対象サービス」がこれに続いた。



【性別・年代別順位】上位5項目

順位	全体 (n=3,335)	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	市民向け格安チケットの販売 (46.2%)	市民向け格安チケットの販売 (47.8%)	市民向け格安チケットの販売 (45.2%)	市民向け格安チケットの販売 (64.2%)	市民向け格安チケットの販売 (65.4%)	市民向け格安チケットの販売 (64.3%)	市民向け格安チケットの販売 (52.0%)	市民向け格安チケットの販売 (31.1%)	家族対象サービス (17.6%)
2	家族対象サービス (38.3%)	家族対象サービス (38.4%)	家族対象サービス (38.5%)	施設に関するきめ細かなPR (44.3%)	家族対象サービス (59.9%)	家族対象サービス (51.1%)	家族対象サービス (40.4%)	家族対象サービス (29.3%)	市民向け格安チケットの販売 (16.3%)
3	施設に関するきめ細かなPR (28.4%)	施設に関するきめ細かなPR (29.1%)	施設に関するきめ細かなPR (28.1%)	家族対象サービス (34.8%)	施設に関するきめ細かなPR (36.0%)	施設に関するきめ細かなPR (34.7%)	施設に関するきめ細かなPR (30.5%)	施設に関するきめ細かなPR (22.7%)	施設に関するきめ細かなPR (13.1%)
4	市民向けイベント (19.8%)	市民向けイベント (22.6%)	市民向けイベント (17.8%)	レストランのメニュー (29.4%)	市民向けイベント (26.8%)	市民向けイベント (23.6%)	市民向けイベント (23.2%)	市民向けイベント (17.0%)	市民向けイベント (9.5%)
5	レストランのメニュー (16.5%)	レストランのメニュー (16.2%)	用具のレンタル (17.8%)	スキーやスケート以外の体験コーナー (21.3%)	レストランのメニュー (24.5%)	レストランのメニュー (22.6%)	用具のレンタル (18.4%)	用具のレンタル (16.0%)	用具のレンタル (8.3%)

男女別で見ると、男女共に「市民向け格安チケットの販売」がトップとなった。2位から4位までは同じ項目となり、「男性」は、「レストランのメニュー」が、「女性」は「用具のレンタル」が5位に入っている。

年代別では、「20歳代」から「60歳代」までは「市民向け格安チケットの販売」が、「70歳以上」では「家族対象サービス」がトップになった。

「施設に関するきめ細かなPR」は、「20歳代」では2位に、その他の年代では3位となった。また、「20歳代」では「レストランのメニュー」が4位に、「スキーやスケート以外の体験コーナー」が5位に入っている。

「50歳代」以降では、「用具のレンタル」が5位に入っている。

問 12 の回答結果別（施設の利用頻度）に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

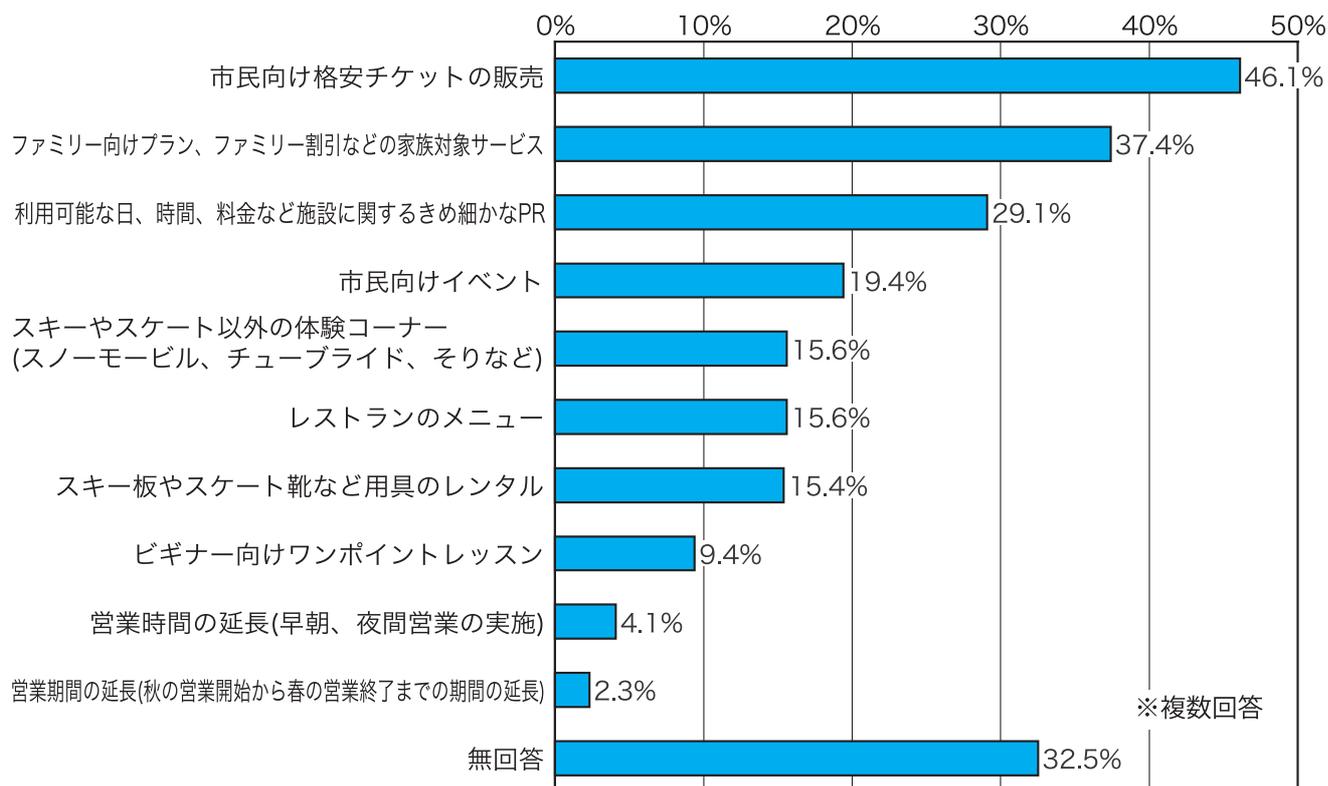
		施設に関する きめ細かなPR	家族対 象サー ビス	市民向 け格安 チケットの 販売	営業時 間の延 長	営業期 間の延 長	市民向 けイベ ント	ビギナ ー向け ワンポ イント レッス ン	スキー やスケ ート以 外の体 験コー ナー	レスト ランの メニュ ー	用具の レンタ ル	無回答	対象
全体		度数 946	1,276	1,540	133	67	660	327	495	549	541	1,067	3,335
		割合 28.4%	38.3%	46.2%	4.0%	2.0%	19.8%	9.8%	14.8%	16.5%	16.2%	32.0%	-
問 12 回 答 結 果	スポーツ自体し なかつた	度数 768	984	1,159	95	48	522	276	398	421	469	751	2,527
		割合 30.4%	38.9%	45.9%	3.8%	1.9%	20.7%	10.9%	15.7%	16.7%	18.6%	29.7%	-
	市外の施設を利用 した	度数 53	72	103	10	7	35	19	32	40	18	13	147
		割合 36.1%	49.0%	70.1%	6.8%	4.8%	23.8%	12.9%	21.8%	27.2%	12.2%	8.8%	-
	1～2 回利用し た	度数 80	148	187	18	10	70	16	40	64	37	16	252
		割合 31.7%	58.7%	74.2%	7.1%	4.0%	27.8%	6.3%	15.9%	25.4%	14.7%	6.3%	-
3～5 回利用し た	度数 11	28	34	4	2	16	3	9	8	2	1	42	
	割合 26.2%	66.7%	81.0%	9.5%	4.8%	38.1%	7.1%	21.4%	19.0%	4.8%	2.4%	-	
6 回以上利用し た	度数 5	10	17	3	0	5	2	5	6	2	0	19	
	割合 26.3%	52.6%	89.5%	15.8%	0.0%	26.3%	10.5%	26.3%	31.6%	10.5%	0.0%	-	

③戸隠スキー場

		施設に関する 細かいPR	家族対 象サー ビス	市民向 け格安 チケットの 販売	営業時 間の延 長	営業期 間の延 長	市民向 けイベ ント	ビギナ ー向け ワンポ イント レッス ン	スキー やスケ ートの 体験コー ナー	レスト ランの メニュ ー	用具の レンタ ル	無回答	対象	
全体		度数 割合	969 29.1%	1,246 37.4%	1,539 46.1%	138 4.1%	77 2.3%	648 19.4%	314 9.4%	520 15.6%	519 15.6%	512 15.4%	1,083 32.5%	3,335 -
性別	男性	度数 割合	418 29.5%	529 37.3%	673 47.5%	94 6.6%	53 3.7%	305 21.5%	127 9.0%	241 17.0%	225 15.9%	187 13.2%	423 29.9%	1,417 -
	女性	度数 割合	549 29.0%	715 37.8%	861 45.5%	44 2.3%	24 1.3%	341 18.0%	184 9.7%	279 14.7%	293 15.5%	324 17.1%	642 33.9%	1,894 -
年代	20歳代	度数 割合	122 43.3%	102 36.2%	184 65.2%	36 12.8%	12 4.3%	59 20.9%	40 14.2%	56 19.9%	78 27.7%	61 21.6%	28 9.9%	282 -
	30歳代	度数 割合	193 37.5%	315 61.3%	335 65.2%	34 6.6%	12 2.3%	138 26.8%	57 11.1%	114 22.2%	118 23.0%	81 15.8%	35 6.8%	514 -
	40歳代	度数 割合	211 36.1%	289 49.4%	381 65.1%	24 4.1%	15 2.6%	126 21.5%	73 12.5%	113 19.3%	125 21.4%	106 18.1%	83 14.2%	585 -
	50歳代	度数 割合	194 32.1%	233 38.6%	311 51.5%	27 4.5%	17 2.8%	138 22.8%	77 12.7%	105 17.4%	97 16.1%	108 17.9%	149 24.7%	604 -
	60歳代	度数 割合	179 23.5%	209 27.5%	236 31.0%	14 1.8%	18 2.4%	135 17.7%	49 6.4%	97 12.7%	74 9.7%	113 14.8%	361 47.4%	761 -
	70歳以上	度数 割合	70 12.1%	96 16.6%	90 15.6%	1 0.2%	3 0.5%	51 8.8%	17 2.9%	35 6.1%	26 4.5%	43 7.4%	419 72.5%	578 -
地域区分	市街地地域	度数 割合	349 29.4%	435 36.6%	551 46.4%	54 4.5%	30 2.5%	224 18.9%	113 9.5%	179 15.1%	218 18.4%	204 17.2%	372 31.3%	1,187 -
	市街地周辺地域	度数 割合	236 30.5%	298 38.6%	370 47.9%	20 2.6%	17 2.2%	150 19.4%	61 7.9%	124 16.0%	118 15.3%	119 15.4%	245 31.7%	773 -
	犀南地域	度数 割合	247 28.4%	334 38.4%	419 48.2%	40 4.6%	23 2.6%	178 20.5%	96 11.0%	152 17.5%	124 14.3%	129 14.8%	265 30.5%	869 -
	松代・若穂	度数 割合	83 29.4%	108 38.3%	115 40.8%	8 2.8%	3 1.1%	51 18.1%	31 11.0%	37 13.1%	34 12.1%	37 13.1%	104 36.9%	282 -
	中山間地域	度数 割合	48 24.4%	63 32.0%	69 35.0%	13 6.6%	3 1.5%	39 19.8%	13 6.6%	27 13.7%	20 10.2%	22 11.2%	86 43.7%	197 -

戸隠スキー場について充実すべきサービスとしては、「市民向け格安チケットの販売（46.1%）」が最も多く、次いで「家族対象サービス（37.4%）」が続いた。

地域別で見ても、全ての地域で「市民向け格安チケットの販売」が最も多く、「家族対象サービス」がこれに続いた。



【性別・年代別順位】上位5項目

順位	全体 (n=3,335)	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	市民向け格安チケットの販売 (46.1%)	市民向け格安チケットの販売 (47.5%)	市民向け格安チケットの販売 (45.5%)	市民向け格安チケットの販売 (65.2%)	市民向け格安チケットの販売 (65.2%)	市民向け格安チケットの販売 (65.1%)	市民向け格安チケットの販売 (51.5%)	市民向け格安チケットの販売 (31.0%)	家族対象サービス (16.6%)
2	家族対象サービス (37.4%)	家族対象サービス (37.3%)	家族対象サービス (37.8%)	施設に関するきめ細かなPR (43.3%)	家族対象サービス (61.3%)	家族対象サービス (49.4%)	家族対象サービス (38.6%)	家族対象サービス (27.5%)	市民向け格安チケットの販売 (15.6%)
3	施設に関するきめ細かなPR (29.1%)	施設に関するきめ細かなPR (29.5%)	施設に関するきめ細かなPR (29.0%)	家族対象サービス (36.2%)	施設に関するきめ細かなPR (37.5%)	施設に関するきめ細かなPR (36.1%)	施設に関するきめ細かなPR (32.1%)	施設に関するきめ細かなPR (23.5%)	施設に関するきめ細かなPR (12.1%)
4	市民向けイベント (19.4%)	市民向けイベント (21.5%)	市民向けイベント (18.0%)	レストランのメニュー (27.7%)	市民向けイベント (26.8%)	市民向けイベント (21.5%)	市民向けイベント (22.8%)	市民向けイベント (17.7%)	市民向けイベント (8.8%)
5	スキーやスケート以外の体験コーナー (15.6%)	スキーやスケート以外の体験コーナー (17.0%)	用具のレンタル (17.1%)	用具のレンタル (21.6%)	レストランのメニュー (23.0%)	レストランのメニュー (21.4%)	用具のレンタル (17.9%)	用具のレンタル (14.8%)	用具のレンタル (7.4%)

男女別で見ると、男女共に「市民向け格安チケットの販売」がトップとなった。2位から4位も同じ項目が入り、「男性」は、「スキーやスケート以外の体験コーナー」が、「女性」は「用具のレンタル」が5位に入っている。

年代別では、「20歳代」から「60歳代」までは「市民向け格安チケットの販売」が、「70歳以上」では「家族対象サービス」がトップになった。「施設に関するきめ細かなPR」は、「20歳代」では2位に、その他の年代では3位となった。また、「20歳代」では「レストランのメニュー」が、それ以外の年代では「市民向けイベント」が4位に入っている。

問 12 の回答結果別（施設の利用頻度）に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		施設に関する きめ細かなPR	家族対 象サー ビス	市民向 け格安 チケットの 販売	営業時 間の延 長	営業期 間の延 長	市民向 けイベ ント	ビギナ ー向け ワンポ イント レッス ン	スキー やスケ ート以 外の体 験コー ナー	レスト ランの メニュ ー	用具の レンタ ル	無回答	対象
全体		度数 969	1,246	1,539	138	77	648	314	520	519	512	1,083	3,335
		割合 29.1%	37.4%	46.1%	4.1%	2.3%	19.4%	9.4%	15.6%	15.6%	15.4%	32.5%	-
問 12 回 答 結 果	スポーツ自体し なかつた	度数 816	1,008	1,218	98	56	537	270	431	405	460	760	2,591
		割合 31.5%	38.9%	47.0%	3.8%	2.2%	20.7%	10.4%	16.6%	15.6%	17.8%	29.3%	-
	市外の施設を利用 した	度数 54	71	105	11	9	33	13	33	42	17	14	147
		割合 36.7%	48.3%	71.4%	7.5%	6.1%	22.4%	8.8%	22.4%	28.6%	11.6%	9.5%	-
	1～2 回利用し た	度数 50	96	125	20	4	43	19	30	47	22	11	174
		割合 28.7%	55.2%	71.8%	11.5%	2.3%	24.7%	10.9%	17.2%	27.0%	12.6%	6.3%	-
3～5 回利用し た	度数 9	18	31	4	3	17	3	5	12	2	0	38	
	割合 23.7%	47.4%	81.6%	10.5%	7.9%	44.7%	7.9%	13.2%	31.6%	5.3%	0.0%	-	
6 回以上利用し た	度数 3	13	16	4	1	5	2	1	6	2	0	18	
	割合 16.7%	72.2%	88.9%	22.2%	5.6%	27.8%	11.1%	5.6%	33.3%	11.1%	0.0%	-	

望まれる施設整備 ～除雪や、初心者が安心して滑走できるエリアの確保など～

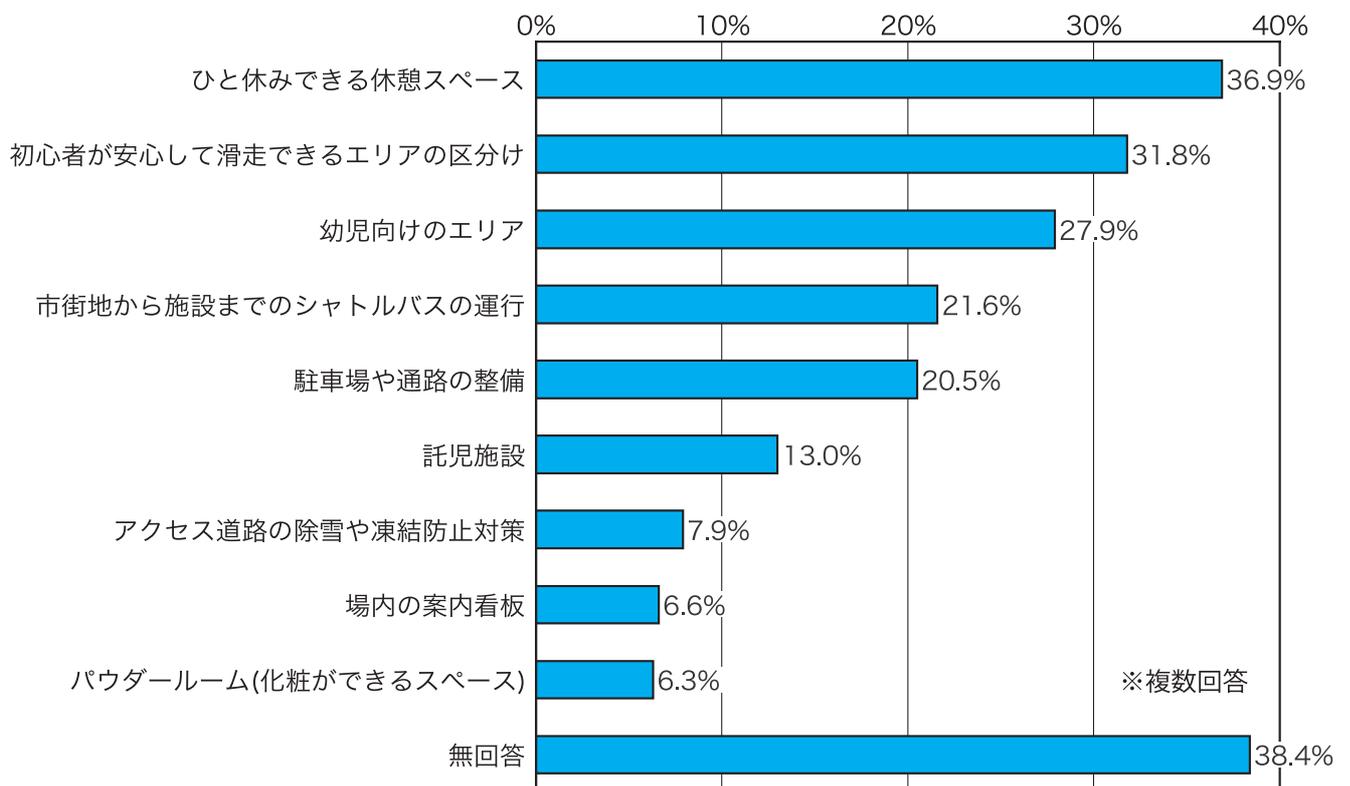
■ 施設整備の観点から

① エムウェーブのスケートリンク

		駐車場 や通路 の整備	アクセ ス道 の除 雪結 凍防 止策	市街地 から施 設まで のシャ トルバ スの運 行	ひと休 みでき る休憩 スペース	幼児向 けのエ リア	託児施 設	パウダ ールー ム	場内の 案内看 板	初心者 が安心 して滑 走でき るエリ アの区 分け	無回答	対象	
全体		度数 割合	683 20.5%	264 7.9%	722 21.6%	1,230 36.9%	930 27.9%	434 13.0%	209 6.3%	219 6.6%	1,060 31.8%	1,279 38.4%	3,335 -
性別	男性	度数 割合	323 22.8%	118 8.3%	340 24.0%	510 36.0%	377 26.6%	203 14.3%	59 4.2%	118 8.3%	463 32.7%	516 36.4%	1,417 -
	女性	度数 割合	357 18.8%	146 7.7%	380 20.1%	719 38.0%	550 29.0%	229 12.1%	150 7.9%	101 5.3%	592 31.3%	745 39.3%	1,894 -
年代	20歳代	度数 割合	91 32.3%	39 13.8%	100 35.5%	132 46.8%	100 35.5%	51 18.1%	39 13.8%	31 11.0%	126 44.7%	35 12.4%	282 -
	30歳代	度数 割合	129 25.1%	53 10.3%	111 21.6%	275 53.5%	277 53.9%	111 21.6%	50 9.7%	47 9.1%	211 41.1%	72 14.0%	514 -
	40歳代	度数 割合	162 27.7%	60 10.3%	125 21.4%	301 51.5%	205 35.0%	94 16.1%	54 9.2%	48 8.2%	252 43.1%	115 19.7%	585 -
	50歳代	度数 割合	137 22.7%	44 7.3%	155 25.7%	254 42.1%	167 27.6%	79 13.1%	39 6.5%	33 5.5%	199 32.9%	205 33.9%	604 -
	60歳代	度数 割合	117 15.4%	43 5.7%	156 20.5%	192 25.2%	134 17.6%	77 10.1%	19 2.5%	39 5.1%	192 25.2%	407 53.5%	761 -
	70歳以上	度数 割合	46 8.0%	25 4.3%	75 13.0%	75 13.0%	45 7.8%	21 3.6%	7 1.2%	21 3.6%	78 13.5%	437 75.6%	578 -
地域区分	市街地地域	度数 割合	265 22.3%	95 8.0%	285 24.0%	444 37.4%	340 28.6%	158 13.3%	93 7.8%	76 6.4%	374 31.5%	432 36.4%	1,187 -
	市街地周辺地域	度数 割合	128 16.6%	56 7.2%	167 21.6%	288 37.3%	227 29.4%	100 12.9%	49 6.3%	60 7.8%	256 33.1%	298 38.6%	773 -
	犀南地域	度数 割合	196 22.6%	67 7.7%	188 21.6%	328 37.7%	254 29.2%	121 13.9%	46 5.3%	49 5.6%	285 32.8%	318 36.6%	869 -
	松代・若穂	度数 割合	52 18.4%	23 8.2%	44 15.6%	102 36.2%	71 25.2%	36 12.8%	17 6.0%	23 8.2%	83 29.4%	116 41.1%	282 -
	中山間地域	度数 割合	34 17.3%	20 10.2%	34 17.3%	57 28.9%	34 17.3%	18 9.1%	3 1.5%	10 5.1%	52 26.4%	105 53.3%	197 -

エムウェーブのスケートリンクについて望まれる施設整備の内容としては、「ひと休みできる休憩スペース（36.9%）」が最も多く、次いで「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け（31.8%）」が続いた。

地域別で見ても、全ての地域で「ひと休みできる休憩スペース」が最も多く、次いで「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」が続いた。



【性別・年代別順位】上位5項目

順位	全体 (n=3,335)	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	ひと休みできる休憩スペース (36.9%)	ひと休みできる休憩スペース (36.0%)	ひと休みできる休憩スペース (38.0%)	ひと休みできる休憩スペース (46.8%)	幼児向けのエリア (53.9%)	ひと休みできる休憩スペース (51.5%)	ひと休みできる休憩スペース (42.1%)	ひと休みできる休憩スペース (25.2%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (13.5%)
2	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (31.8%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (32.7%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (31.3%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (44.7%)	ひと休みできる休憩スペース (53.5%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (43.1%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (32.9%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (25.2%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (13.0%)
3	幼児向けのエリア (27.9%)	幼児向けのエリア (26.6%)	幼児向けのエリア (29.0%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (35.5%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (41.1%)	幼児向けのエリア (35.0%)	幼児向けのエリア (27.6%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (20.5%)	ひと休みできる休憩スペース (13.0%)
4	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (21.6%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (24.0%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (20.1%)	幼児向けのエリア (35.5%)	駐車場や通路の整備 (25.1%)	駐車場や通路の整備 (27.7%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (25.7%)	幼児向けのエリア (17.6%)	駐車場や通路の整備 (8.0%)
5	駐車場や通路の整備 (20.5%)	駐車場や通路の整備 (22.8%)	駐車場や通路の整備 (18.8%)	駐車場や通路の整備 (32.3%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (21.6%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (21.4%)	駐車場や通路の整備 (22.7%)	駐車場や通路の整備 (15.4%)	幼児向けのエリア (7.8%)

男女別で見ると、男女共に「ひと休みできる休憩スペース」がトップとなった。以降、男女共に同じ項目が続いている。

年代別では、「20歳代」および「40歳代」から「60歳代」まででは「ひと休みできる休憩スペース」が、「30歳代」では「幼児向けのエリア」が、「70歳以上」では「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」がトップになった。

以降、順位は年代によって異なるものの、同じ項目が上位5項目に入っている。

問 12 の回答結果別（施設の利用頻度）に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

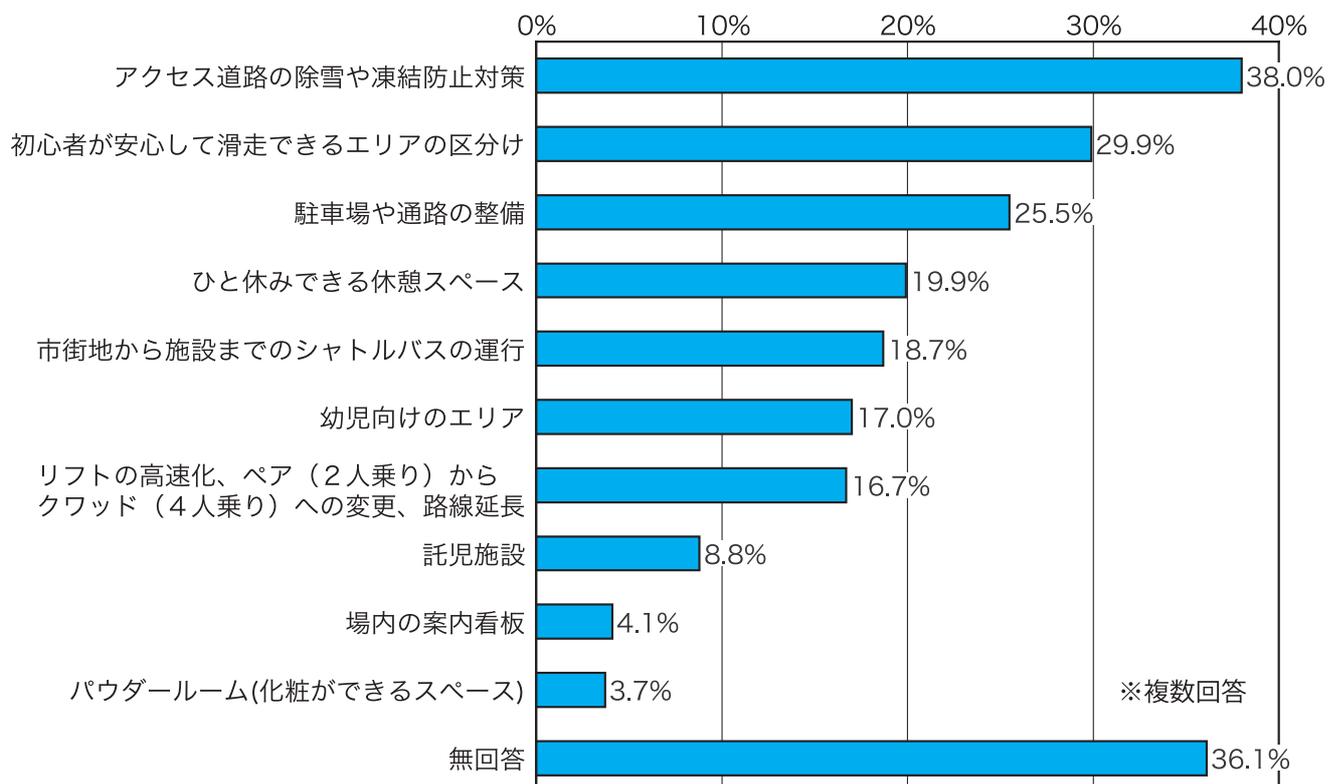
		駐車場 や通路 の整備	アクセ ス道路 の除雪 や凍結 防止対 策	市街地 から施 設まで のシャ トルバ スの運 行	ひと休 みでき る休憩 スペース	幼児向 けのエ リア	託児施 設	パウダ ールー ム	場内の 案内看 板	初心者 が安心 して滑 走でき るエリ アの区 分け	無回答	対象
全体		度数 683	264	722	1,230	930	434	209	219	1,060	1,279	3,335
		割合 20.5%	7.9%	21.6%	36.9%	27.9%	13.0%	6.3%	6.6%	31.8%	38.4%	-
問 12 回 答 結 果	スポーツ自体し なかった	度数 608	242	654	1,034	790	382	178	184	888	985	2,752
		割合 22.1%	8.8%	23.8%	37.6%	28.7%	13.9%	6.5%	6.7%	32.3%	35.8%	-
	市外の施設を利用 した	度数 8	3	13	15	7	4	2	1	10	13	35
		割合 22.9%	8.6%	37.1%	42.9%	20.0%	11.4%	5.7%	2.9%	28.6%	37.1%	-
	1～2 回利用し た	度数 45	14	26	132	92	37	18	27	117	28	212
		割合 21.2%	6.6%	12.3%	62.3%	43.4%	17.5%	8.5%	12.7%	55.2%	13.2%	-
	3～5 回利用し た	度数 4	1	3	19	10	5	4	0	12	5	27
	割合 14.8%	3.7%	11.1%	70.4%	37.0%	18.5%	14.8%	0.0%	44.4%	18.5%	-	
6 回以上利用し た	度数 1	0	2	3	4	0	1	2	4	0	6	
	割合 16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	66.7%	0.0%	16.7%	33.3%	66.7%	0.0%	-	

②飯綱高原スキー場

			駐車場 や通路 の整備	アクセ ス道路 除雪や 凍結防 止対策	市街地 から施 設まで のシャ トルバ スの運 行	ひと休 みでき る休憩 スペース	幼児向 けのエ リア	託児施 設	パウダ ールー ム	場内の 案内看 板	初心者 が安心 して滑 走でき るエリ アの区 分け	リフト の高速 化、ペ アから クワッ ドへの 変更、 路線延 長	無回答	対象
全体		度数	850	1,267	622	662	568	293	122	136	996	556	1,204	3,335
		割合	25.5%	38.0%	18.7%	19.9%	17.0%	8.8%	3.7%	4.1%	29.9%	16.7%	36.1%	-
性別	男性	度数	396	563	280	298	211	111	34	64	400	312	468	1,417
		割合	27.9%	39.7%	19.8%	21.0%	14.9%	7.8%	2.4%	4.5%	28.2%	22.0%	33.0%	-
	女性	度数	452	701	341	363	355	181	88	72	591	244	717	1,894
		割合	23.9%	37.0%	18.0%	19.2%	18.7%	9.6%	4.6%	3.8%	31.2%	12.9%	37.9%	-
年代	20歳代	度数	100	160	84	59	59	34	29	20	131	58	31	282
		割合	35.5%	56.7%	29.8%	20.9%	20.9%	12.1%	10.3%	7.1%	46.5%	20.6%	11.0%	-
	30歳代	度数	144	240	97	151	209	98	28	27	200	120	58	514
		割合	28.0%	46.7%	18.9%	29.4%	40.7%	19.1%	5.4%	5.3%	38.9%	23.3%	11.3%	-
	40歳代	度数	206	298	112	174	108	63	32	26	216	153	100	585
		割合	35.2%	50.9%	19.1%	29.7%	18.5%	10.8%	5.5%	4.4%	36.9%	26.2%	17.1%	-
	50歳代	度数	193	269	138	139	84	42	17	23	171	122	183	604
		割合	32.0%	44.5%	22.8%	23.0%	13.9%	7.0%	2.8%	3.8%	28.3%	20.2%	30.3%	-
	60歳代	度数	143	219	139	96	79	39	11	28	191	83	392	761
		割合	18.8%	28.8%	18.3%	12.6%	10.4%	5.1%	1.4%	3.7%	25.1%	10.9%	51.5%	-
	70歳以上	度数	63	80	52	43	27	16	5	12	86	19	432	578
		割合	10.9%	13.8%	9.0%	7.4%	4.7%	2.8%	0.9%	2.1%	14.9%	3.3%	74.7%	-
地域区分	市街地地域	度数	314	457	256	235	198	100	50	55	356	214	407	1,187
		割合	26.5%	38.5%	21.6%	19.8%	16.7%	8.4%	4.2%	4.6%	30.0%	18.0%	34.3%	-
	市街地周辺地域	度数	207	271	152	171	145	63	23	32	221	124	275	773
		割合	26.8%	35.1%	19.7%	22.1%	18.8%	8.2%	3.0%	4.1%	28.6%	16.0%	35.6%	-
	犀南地域	度数	223	368	145	158	159	82	29	35	284	158	297	869
		割合	25.7%	42.3%	16.7%	18.2%	18.3%	9.4%	3.3%	4.0%	32.7%	18.2%	34.2%	-
	松代・若穂	度数	65	106	41	51	42	32	10	8	80	36	112	282
割合		23.0%	37.6%	14.5%	18.1%	14.9%	11.3%	3.5%	2.8%	28.4%	12.8%	39.7%	-	
中山間地域	度数	36	60	21	40	21	16	9	5	45	20	102	197	
	割合	18.3%	30.5%	10.7%	20.3%	10.7%	8.1%	4.6%	2.5%	22.8%	10.2%	51.8%	-	

飯綱高原スキー場について望まれる施設整備の内容としては、「アクセス道路の除雪や凍結防止対策（38.0%）」が最も多く、次いで「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け（29.9%）」が続いた。

地域別で見ても、全ての地域で「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」が最も多く、次いで「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」が続いた。



【性別・年代別順位】 上位5項目

順位	全体 (n=3,335)	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (38.0%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (39.7%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (37.0%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (56.7%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (46.7%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (50.9%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (44.5%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (28.8%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (14.9%)
2	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (29.9%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (28.2%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (31.2%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (46.5%)	幼児向けのエリア (40.7%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (36.9%)	駐車場や通路の整備 (32.0%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (25.1%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (13.8%)
3	駐車場や通路の整備 (25.5%)	駐車場や通路の整備 (27.9%)	駐車場や通路の整備 (23.9%)	駐車場や通路の整備 (35.5%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (38.9%)	駐車場や通路の整備 (35.2%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (28.3%)	駐車場や通路の整備 (18.8%)	駐車場や通路の整備 (10.9%)
4	ひと休みできる休憩スペース (19.9%)	リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長 (22.0%)	ひと休みできる休憩スペース (19.2%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (29.8%)	ひと休みできる休憩スペース (29.4%)	ひと休みできる休憩スペース (29.7%)	ひと休みできる休憩スペース (23.0%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (18.3%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (9.0%)
5	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (18.7%)	ひと休みできる休憩スペース (21.0%)	幼児向けのエリア (18.7%)	ひと休みできる休憩スペース (20.9%)	駐車場や通路の整備 (28.0%)	リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長 (26.2%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (22.8%)	ひと休みできる休憩スペース (12.6%)	ひと休みできる休憩スペース (7.4%)

男女別で見ると、男女共に「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」がトップとなった。2位と3位は同じ項目が入り、「男性」は「リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長」が4位に、「ひと休みできる休憩スペース」が5位になった。一方「女性」は、「ひと休みできる休憩スペース」が4位に、「幼児向けのエリア」が5位に入っている。

年代別では、「70歳以上」を除いた全ての年代で「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」がトップとなった。「70歳以上」では「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」がトップとなった。

2位には、「30歳代」では「幼児向けのエリア」が、「50歳代」では「駐車場や通路の整備」が、「70歳以上」では「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」となった。それ以外の年代では、「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」が2位になった。

「市街地から施設までのシャトルバスの運行」は、「20歳代」、「60歳代」および「70歳以上」では4位に、「50歳代」では5位に入ったが、「30歳代」および「40歳代」では上位に入っていない。また、「40歳代」では「リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長」が5位に入っている。

問12の回答結果別（施設の利用頻度）に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

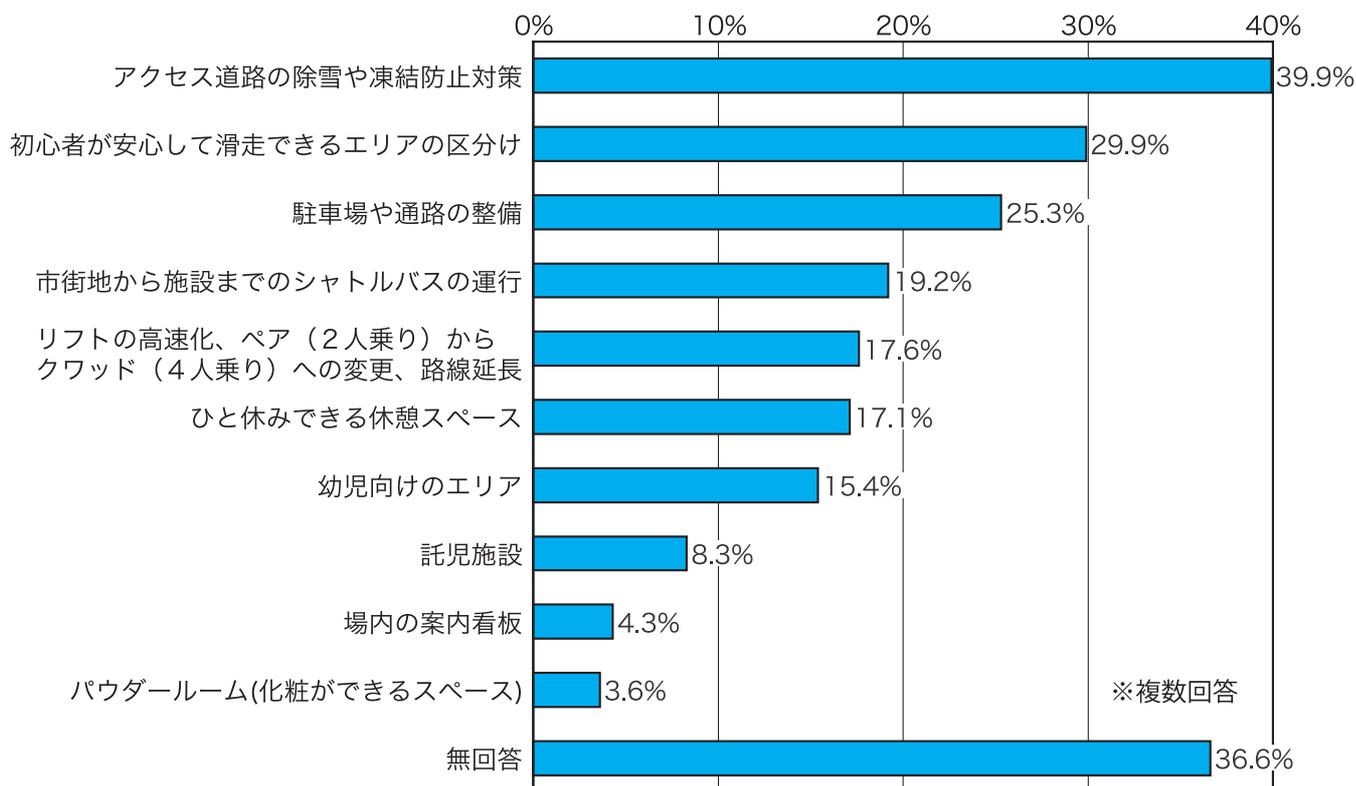
		駐車場 や通路 の整備	アクセ ス道路 の除雪 や凍結 防止対 策	市街地 から施 設まで のシャ トルバ スの運 行	ひと休 みでき る休憩 スペース	幼児向 けのエ リア	託児施 設	パウダ ールーム	場内の 案内看 板	初心者 が安心 して滑 走でき るエリ アの区 分け	リフト の高速 化、ペ アから クワッ ドへの 変更、 路線延 長	無回答	対象
全体		度数 850 割合 25.5%	1,267 38.0%	622 18.7%	662 19.9%	568 17.0%	293 8.8%	122 3.7%	136 4.1%	996 29.9%	556 16.7%	1,204 36.1%	3,335 -
問 12 回 答 結 果	スポーツ自体し なかつた	度数 681 割合 26.9%	1,028 40.7%	523 20.7%	469 18.6%	438 17.3%	235 9.3%	92 3.6%	107 4.2%	802 31.7%	398 15.7%	863 34.2%	2,527 -
	市外の施設を利用 した	度数 44 割合 29.9%	73 49.7%	35 23.8%	43 29.3%	39 26.5%	14 9.5%	8 5.4%	8 5.4%	51 34.7%	50 34.0%	20 13.6%	147 -
	1～2回利用し た	度数 86 割合 34.1%	110 43.7%	42 16.7%	104 41.3%	63 25.0%	29 11.5%	12 4.8%	15 6.0%	88 34.9%	76 30.2%	27 10.7%	252 -
	3～5回利用し た	度数 8 割合 19.0%	19 45.2%	5 11.9%	22 52.4%	13 31.0%	8 19.0%	3 7.1%	4 9.5%	18 42.9%	11 26.2%	2 4.8%	42 -
	6回以上利用し た	度数 2 割合 10.5%	8 42.1%	1 5.3%	9 47.4%	4 21.1%	4 21.1%	1 5.3%	0 0.0%	8 42.1%	9 47.4%	1 5.3%	19 -

③戸隠スキー場

			駐車場 や通路 の整備	アクセ ス道路 除雪や 凍結防 止対策	市街地 から施 設まで のシャ トルバ スの運 行	ひと休 みでき る休憩 スペース	幼児向 けのエ リア	託児施 設	パウダ ールー ム	場内の 案内看 板	初心者 が安心 して滑 走でき るエリ アの区 分け	リフト の高速 化、ベ アから クワッ ドへの 変更、 路線延 長	無回答	対象
全体		度数	845	1,329	641	571	513	277	121	145	996	587	1,220	3,335
		割合	25.3%	39.9%	19.2%	17.1%	15.4%	8.3%	3.6%	4.3%	29.9%	17.6%	36.6%	-
性別	男性	度数	405	594	285	245	195	95	33	65	401	331	473	1,417
		割合	28.6%	41.9%	20.1%	17.3%	13.8%	6.7%	2.3%	4.6%	28.3%	23.4%	33.4%	-
	女性	度数	438	732	355	325	316	181	88	80	590	256	728	1,894
		割合	23.1%	38.6%	18.7%	17.2%	16.7%	9.6%	4.6%	4.2%	31.2%	13.5%	38.4%	-
年代	20歳代	度数	94	165	86	51	53	35	29	26	126	62	33	282
		割合	33.3%	58.5%	30.5%	18.1%	18.8%	12.4%	10.3%	9.2%	44.7%	22.0%	11.7%	-
	30歳代	度数	148	259	102	130	197	94	27	26	206	123	59	514
		割合	28.8%	50.4%	19.8%	25.3%	38.3%	18.3%	5.3%	5.1%	40.1%	23.9%	11.5%	-
	40歳代	度数	209	316	120	145	103	58	31	27	213	146	107	585
		割合	35.7%	54.0%	20.5%	24.8%	17.6%	9.9%	5.3%	4.6%	36.4%	25.0%	18.3%	-
	50歳代	度数	195	281	138	114	71	41	21	25	167	137	186	604
		割合	32.3%	46.5%	22.8%	18.9%	11.8%	6.8%	3.5%	4.1%	27.6%	22.7%	30.8%	-
	60歳代	度数	136	224	140	98	64	36	9	28	198	96	391	761
		割合	17.9%	29.4%	18.4%	12.9%	8.4%	4.7%	1.2%	3.7%	26.0%	12.6%	51.4%	-
	70歳以上	度数	62	82	55	33	24	12	4	13	85	22	436	578
		割合	10.7%	14.2%	9.5%	5.7%	4.2%	2.1%	0.7%	2.2%	14.7%	3.8%	75.4%	-
地域区分	市街地地域	度数	306	473	268	200	177	101	49	58	346	220	420	1,187
		割合	25.8%	39.8%	22.6%	16.8%	14.9%	8.5%	4.1%	4.9%	29.1%	18.5%	35.4%	-
	市街地周辺地域	度数	208	291	158	143	133	61	22	37	223	124	279	773
		割合	26.9%	37.6%	20.4%	18.5%	17.2%	7.9%	2.8%	4.8%	28.8%	16.0%	36.1%	-
	犀南地域	度数	225	382	152	131	146	72	33	37	282	170	300	869
		割合	25.9%	44.0%	17.5%	15.1%	16.8%	8.3%	3.8%	4.3%	32.5%	19.6%	34.5%	-
	松代・若穂	度数	60	108	40	52	37	29	10	6	85	42	114	282
		割合	21.3%	38.3%	14.2%	18.4%	13.1%	10.3%	3.5%	2.1%	30.1%	14.9%	40.4%	-
	中山間地域	度数	42	68	19	37	18	13	6	7	51	25	96	197
		割合	21.3%	34.5%	9.6%	18.8%	9.1%	6.6%	3.0%	3.6%	25.9%	12.7%	48.7%	-

戸隠スキー場について望まれる施設整備の内容としては、「アクセス道路の除雪や凍結防止対策（39.9%）」が最も多く、次いで「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け（29.9%）」が続いた。

地域別で見ても、全ての地域で「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」が最も多く、次いで「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」が続いた。



【性別・年代別順位】 上位5項目

順位	全体 (n=3,335)	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (39.9%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (41.9%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (38.6%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (58.5%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (50.4%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (54.0%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (46.5%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (29.4%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (14.7%)
2	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (29.9%)	駐車場や通路の整備 (28.6%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (31.2%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (44.7%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (40.1%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (36.4%)	駐車場や通路の整備 (32.3%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (26.0%)	アクセス道路の除雪や凍結防止対策 (14.2%)
3	駐車場や通路の整備 (25.3%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (28.3%)	駐車場や通路の整備 (23.1%)	駐車場や通路の整備 (33.3%)	幼児向けのエリア (38.3%)	駐車場や通路の整備 (35.7%)	初心者が安心して滑走できるエリアの区分け (27.6%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (18.4%)	駐車場や通路の整備 (10.7%)
4	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (19.2%)	リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長 (23.4%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (18.7%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (30.5%)	駐車場や通路の整備 (28.8%)	リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長 (25.0%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (22.8%)	駐車場や通路の整備 (17.9%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (9.5%)
5	リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長 (17.6%)	市街地から施設までのシャトルバスの運行 (20.1%)	ひと休みできる休憩スペース (17.2%)	リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長 (22.0%)	ひと休みできる休憩スペース (25.3%)	ひと休みできる休憩スペース (24.8%)	リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長 (22.7%)	ひと休みできる休憩スペース (12.9%)	ひと休みできる休憩スペース (5.7%)

男女別で見ると、男女共に「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」がトップとなった。2位には、「男性」は「駐車場や通路の整備」が、「女性」は「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」が入っている。

「リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長」が「男性」で4位に入った。「女性」は、「市街地から施設までのシャトルバスの運行」が4位に、「ひと休みできる休憩スペース」が「女性」で5位に入った。

年代別では、「70歳以上」を除いた全ての年代で「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」がトップとなった。「70歳以上」では「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」がトップとなった。

2位には、「50歳代」では「駐車場や通路の整備」が、「70歳以上」では「アクセス道路の除雪や凍結防止対策」となり、それ以外の年代では「初心者が安心して滑走できるエリアの区分け」が入っている。

「30歳代」では「幼児向けのエリア」が3位に入った。

「市街地から施設までのシャトルバスの運行」は、「60歳代」では3位に、「20歳代」、「50歳代」および「70歳以上」では4位に入ったが、「30歳代」および「40歳代」では上位に入っていない。

同様に、「ひと休みできる休憩スペース」は「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」および「70歳以上」で5位に入ったが、「20歳代」および「50歳代」では上位に入らなかった。「20歳代」および「50歳代」では「リフトの高速化、ペアからクワッドへの変更、路線延長」が5位に入った。

問12の回答結果別（施設の利用頻度）に本回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		駐車場 や通路 の整備	アクセ ス道 路の 除雪 や凍 結防 止対 策	市街地 から施 設まで のシャ トルバ スの運 行	ひと休 みでき る休憩 スペース	幼児向 けのエ リア	託児施 設	パウダ ールー ム	場内の 案内看 板	初心者 が安心 して滑 走でき るエリ アの区 分け	リフト の高速 化、ペ アから クワッ ドへの 変更、 路線延 長	無回答	対象
全体		度数 845	1,329	641	571	513	277	121	145	996	587	1,220	3,335
		割合 25.3%	39.9%	19.2%	17.1%	15.4%	8.3%	3.6%	4.3%	29.9%	17.6%	36.6%	-
問 12 回 答 結 果	スポーツ自体し なかつた	度数 691	1,096	552	444	425	245	93	120	840	431	867	2,591
		割合 26.7%	42.3%	21.3%	17.1%	16.4%	9.5%	3.6%	4.6%	32.4%	16.6%	33.5%	-
	市外の施設を利用 した	度数 45	75	38	38	36	15	8	7	52	51	20	147
		割合 30.6%	51.0%	25.9%	25.9%	24.5%	10.2%	5.4%	4.8%	35.4%	34.7%	13.6%	-
	1～2 回利用し た	度数 59	89	24	56	35	12	11	10	58	61	26	174
		割合 33.9%	51.1%	13.8%	32.2%	20.1%	6.9%	6.3%	5.7%	33.3%	35.1%	14.9%	-
3～5 回利用し た	度数 15	23	8	14	2	0	2	4	6	17	3	38	
	割合 39.5%	60.5%	21.1%	36.8%	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%	15.8%	44.7%	7.9%	-	
6 回以上利用し た	度数 6	10	4	6	3	1	1	0	8	8	1	18	
	割合 33.3%	55.6%	22.2%	33.3%	16.7%	5.6%	5.6%	0.0%	44.4%	44.4%	5.6%	-	

支所における期日前投票時間について

支所における期日前投票時間 ～意見が分かれる～

問 14 今後の選挙で、支所における期日前投票時間について、あなたはどのように考えますか。次の中から1つだけ○をしてください。

		今後も一律「午後7時まで」とすべきである	経費を掛ける必要はないので、従来の「午後5時まで」に戻すべきである	利用が多かった支所のみ「午後7時まで」とし、少なかった支所は従来の「午後5時まで」でよい	合併地区の支所のみ「午後7時まで」とし、他の支所は従来の「午後5時まで」でよい	その他	無回答	合計
全体		度数 707	1,082	1,179	136	120	111	3,335
		割合 21.2%	32.4%	35.4%	4.1%	3.6%	3.3%	100.0%
性別	男性	度数 372	482	399	66	63	35	1,417
		割合 26.3%	34.0%	28.2%	4.7%	4.4%	2.5%	100.0%
	女性	度数 333	591	775	69	57	69	1,894
		割合 17.6%	31.2%	40.9%	3.6%	3.0%	3.6%	100.0%
年代	20歳代	度数 68	67	124	9	10	4	282
		割合 24.1%	23.8%	44.0%	3.2%	3.5%	1.4%	100.0%
	30歳代	度数 114	126	230	7	32	5	514
		割合 22.2%	24.5%	44.7%	1.4%	6.2%	1.0%	100.0%
	40歳代	度数 122	181	232	17	23	10	585
		割合 20.9%	30.9%	39.7%	2.9%	3.9%	1.7%	100.0%
	50歳代	度数 145	185	222	24	15	13	604
		割合 24.0%	30.6%	36.8%	4.0%	2.5%	2.2%	100.0%
	60歳代	度数 163	293	216	41	25	23	761
		割合 21.4%	38.5%	28.4%	5.4%	3.3%	3.0%	100.0%
	70歳以上	度数 93	229	152	38	14	52	578
		割合 16.1%	39.6%	26.3%	6.6%	2.4%	9.0%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数 259	382	444	32	40	30	1,187
		割合 21.8%	32.2%	37.4%	2.7%	3.4%	2.5%	100.0%
	市街地周辺地域	度数 156	249	258	44	36	30	773
		割合 20.2%	32.2%	33.4%	5.7%	4.7%	3.9%	100.0%
	犀南地域	度数 194	280	319	24	24	28	869
	割合 22.3%	32.2%	36.7%	2.8%	2.8%	3.2%	100.0%	
	松代・若穂	度数 63	99	93	8	9	10	282
		割合 22.3%	35.1%	33.0%	2.8%	3.2%	3.5%	100.0%
	中山間地域	度数 32	66	55	27	11	6	197
		割合 16.2%	33.5%	27.9%	13.7%	5.6%	3.0%	100.0%

平成23年9月に執行した市議会議員一般選挙では、支所の期日前投票時間を暫定措置として2時間の延長を行った。今後の選挙における投票時間についての考え方をたずねたところ、最も多い回答は、「利用が多かった支所のみ午後7時までとし、少なかった支所は従来の午後5時まででよい（35.4%）」となった。「経費を掛ける必要はないので、従来の午後5時までに戻すべきである（32.4%）」がこれに続いた。

一方で、「今後も一律午後7時までとすべきである」も21.2%の回答があり、市民の意見が分かれる結果となった。

「合併地区の支所のみ午後7時までとし、他の支所は従来の午後5時まででよい」は、全体で4.1%であった。

男女別で見ると、「男性」は「経費を掛ける必要はないので、従来の午後5時までに戻すべきである(34.0%)」が、「女性」は「利用が多かった支所のみ午後7時までとし、少なかった支所は従来の午後5時まででよい(40.9%)」が最多となった。男女間の意識の差が表れている。

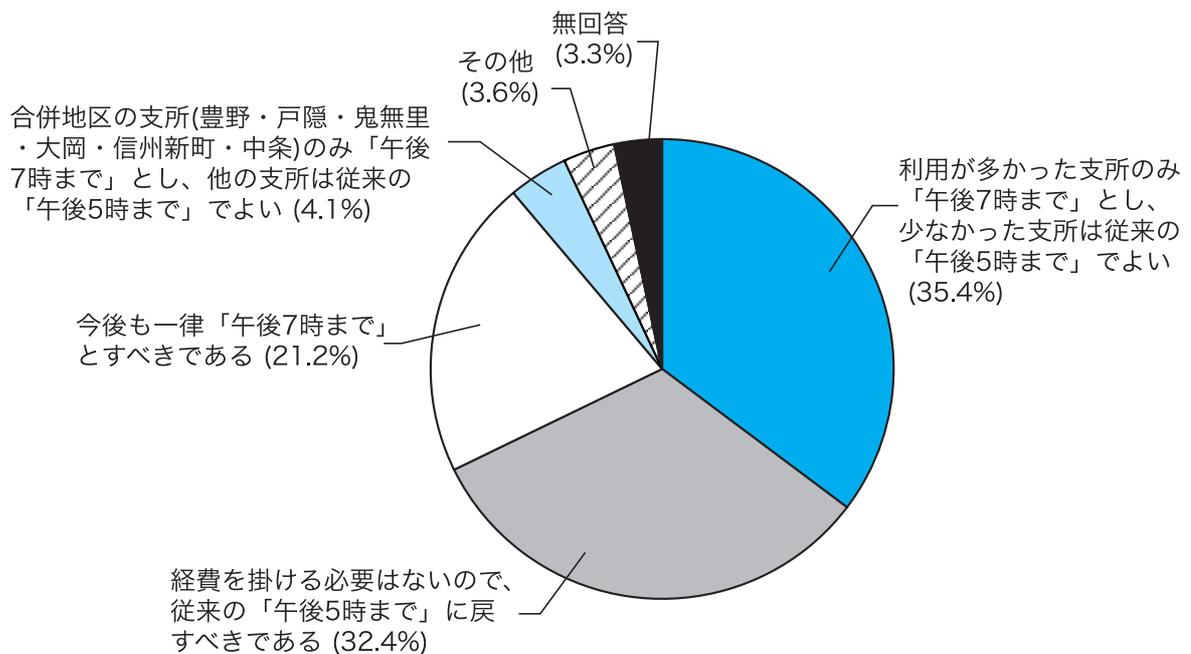
また、「今後も一律午後7時までとすべきである」は、「男性」が26.3%、「女性」が17.6%となり、8.7ポイントの開きが見られる。

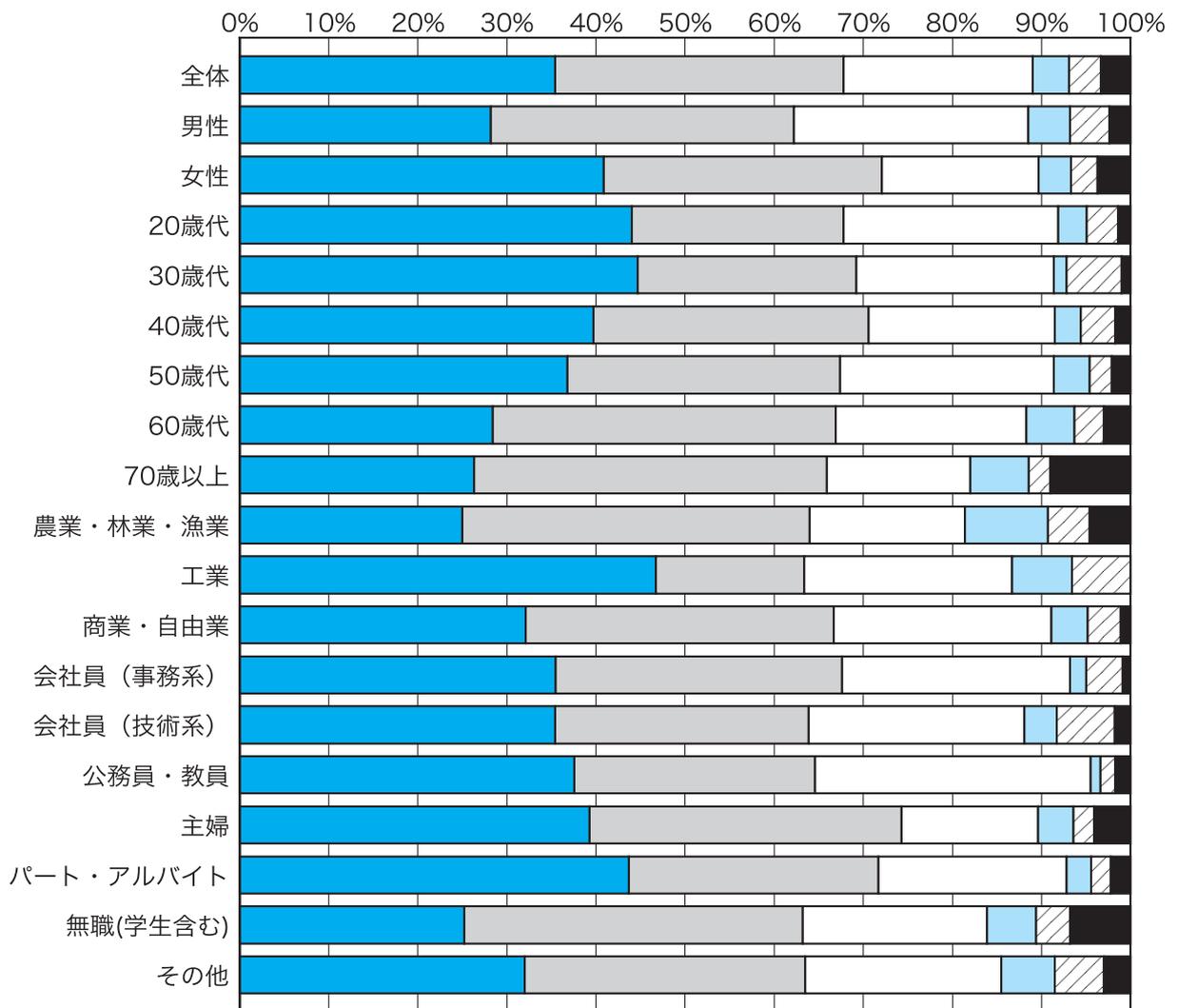
年代別では、「20歳代」から「50歳代」までは「利用が多かった支所のみ午後7時までとし、少なかった支所は従来の午後5時まででよい」が、「60歳代」および「70歳以上」では「経費を掛ける必要はないので、従来の午後5時までに戻すべきである」が最多となった。

「20歳代」では、「今後も一律午後7時までとすべきである」が2番目に多い回答となっている。

地域別では、「市街地地域」、「市街地周辺地域」および「犀南地域」では「利用が多かった支所のみ午後7時までとし、少なかった支所は従来の午後5時まででよい」が最多となり、「松代・若穂」および「中山間地域」では「経費を掛ける必要はないので、従来の午後5時までに戻すべきである」が最多となった。

「市街地周辺地域」、「犀南地域」および「松代・若穂」では、「利用が多かった支所のみ午後7時までとし、少なかった支所は従来の午後5時まででよい」と「経費を掛ける必要はないので、従来の午後5時までに戻すべきである」の回答が拮抗(きっこう)しており、いずれも5ポイント以内の差となっている。





- 利用が多かった支所のみ「午後7時まで」とし、少なかった支所は従来の「午後5時まで」でよい
- 経費を掛ける必要はないので、従来の「午後5時まで」に戻すべきである
- 今後も一律「午後7時まで」とすべきである
- 合併地区の支所(豊野・戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条)のみ「午後7時まで」とし、他の支所は従来の「午後5時まで」でよい
- その他
- 無回答

地区別に回答結果を集計すると、下表のとおりとなる。

		今後も一律「午後7時まで」とすべきである	経費を掛ける必要はないので、従来の「午後5時まで」に戻すべきである	利用が多かった支所のみ「午後7時まで」とし、少なかった支所は従来の「午後5時まで」でよい	合併地区の支所のみ「午後7時まで」とし、他の支所は従来の「午後5時まで」でよい	その他	無回答	合計
第一	度数	17	19	22	2	1	0	61
	割合	27.9%	31.1%	36.1%	3.3%	1.6%	0.0%	100.0%
第二	度数	16	31	43	0	8	2	100
	割合	16.0%	31.0%	43.0%	0.0%	8.0%	2.0%	100.0%
第三	度数	13	14	20	2	4	2	55
	割合	23.6%	25.5%	36.4%	3.6%	7.3%	3.6%	100.0%
第四	度数	7	6	9	1	1	2	26
	割合	26.9%	23.1%	34.6%	3.8%	3.8%	7.7%	100.0%
第五	度数	8	12	12	3	1	0	36
	割合	22.2%	33.3%	33.3%	8.3%	2.8%	0.0%	100.0%
芹田	度数	41	63	68	6	6	6	190
	割合	21.6%	33.2%	35.8%	3.2%	3.2%	3.2%	100.0%
古牧	度数	54	71	93	4	4	3	229
	割合	23.6%	31.0%	40.6%	1.7%	1.7%	1.3%	100.0%
三輪	度数	22	53	57	4	6	4	146
	割合	15.1%	36.3%	39.0%	2.7%	4.1%	2.7%	100.0%
吉田	度数	34	53	54	4	4	4	153
	割合	22.2%	34.6%	35.3%	2.6%	2.6%	2.6%	100.0%
古里	度数	20	35	47	3	7	3	115
	割合	17.4%	30.4%	40.9%	2.6%	6.1%	2.6%	100.0%
柳原	度数	8	23	19	4	5	2	61
	割合	13.1%	37.7%	31.1%	6.6%	8.2%	3.3%	100.0%
浅川	度数	10	26	24	1	1	8	70
	割合	14.3%	37.1%	34.3%	1.4%	1.4%	11.4%	100.0%
大豆島	度数	25	36	38	6	6	1	112
	割合	22.3%	32.1%	33.9%	5.4%	5.4%	0.9%	100.0%
朝陽	度数	25	43	37	7	7	9	128
	割合	19.5%	33.6%	28.9%	5.5%	5.5%	7.0%	100.0%
若槻	度数	43	58	58	9	4	3	175
	割合	24.6%	33.1%	33.1%	5.1%	2.3%	1.7%	100.0%
長沼	度数	4	6	10	1	2	0	23
	割合	17.4%	26.1%	43.5%	4.3%	8.7%	0.0%	100.0%
安茂里	度数	47	60	66	6	5	7	191
	割合	24.6%	31.4%	34.6%	3.1%	2.6%	3.7%	100.0%
小田切	度数	2	6	5	1	1	0	15
	割合	13.3%	40.0%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%	100.0%
芋井	度数	3	7	6	2	1	1	20
	割合	15.0%	35.0%	30.0%	10.0%	5.0%	5.0%	100.0%
篠ノ井	度数	80	104	140	11	8	15	358
	割合	22.3%	29.1%	39.1%	3.1%	2.2%	4.2%	100.0%
松代	度数	29	56	59	4	7	6	161
	割合	18.0%	34.8%	36.6%	2.5%	4.3%	3.7%	100.0%
若穂	度数	34	43	34	4	2	4	121
	割合	28.1%	35.5%	28.1%	3.3%	1.7%	3.3%	100.0%
川中島	度数	49	76	98	8	8	7	246
	割合	19.9%	30.9%	39.8%	3.3%	3.3%	2.8%	100.0%
更北	度数	65	100	81	5	8	6	265
	割合	24.5%	37.7%	30.6%	1.9%	3.0%	2.3%	100.0%
七二会	度数	4	5	5	0	0	0	14
	割合	28.6%	35.7%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
信更	度数	5	7	10	1	1	0	24
	割合	20.8%	29.2%	41.7%	4.2%	4.2%	0.0%	100.0%
豊野	度数	21	22	25	13	4	4	89
	割合	23.6%	24.7%	28.1%	14.6%	4.5%	4.5%	100.0%
戸隠	度数	7	16	4	9	1	0	37
	割合	18.9%	43.2%	10.8%	24.3%	2.7%	0.0%	100.0%
鬼無里	度数	3	3	4	6	0	0	16
	割合	18.8%	18.8%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
大岡	度数	0	3	5	2	0	0	10
	割合	0.0%	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
信州新町	度数	5	15	11	3	6	2	42
	割合	11.9%	35.7%	26.2%	7.1%	14.3%	4.8%	100.0%
中条	度数	3	4	5	3	1	3	19
	割合	15.8%	21.1%	26.3%	15.8%	5.3%	15.8%	100.0%

災害への備えについて

災害への備え ～「非常用持出品の用意」が5割、「何もしていない」が2割～

問 15 あなたのご家庭では、災害（地震・風水害など）に備えて何をしていますか。当てはまるものすべてに○をしてください。

			非常食、飲料水、携帯ラジオなどの非常用持出品の用意	避難路や避難場所の確認	家具や家電製品などの固定（転倒防止）	自宅の耐震性の確認	非常時の家族との連絡方法の確認	地域の防災訓練などへの参加	その他	何もしていない	無回答	対象
全体		度数	1,647	1,201	763	616	1,050	699	35	692	61	3,335
		割合	49.4%	36.0%	22.9%	18.5%	31.5%	21.0%	1.0%	20.7%	1.8%	-
性別	男性	度数	672	459	330	298	402	330	12	312	17	1,417
		割合	47.4%	32.4%	23.3%	21.0%	28.4%	23.3%	0.8%	22.0%	1.2%	-
	女性	度数	969	733	433	315	643	365	23	375	37	1,894
		割合	51.2%	38.7%	22.9%	16.6%	33.9%	19.3%	1.2%	19.8%	2.0%	-
年代	20歳代	度数	120	69	55	32	84	20	3	80	1	282
		割合	42.6%	24.5%	19.5%	11.3%	29.8%	7.1%	1.1%	28.4%	0.4%	-
	30歳代	度数	264	162	85	86	150	47	8	127	5	514
		割合	51.4%	31.5%	16.5%	16.7%	29.2%	9.1%	1.6%	24.7%	1.0%	-
	40歳代	度数	294	207	156	121	179	92	7	123	7	585
		割合	50.3%	35.4%	26.7%	20.7%	30.6%	15.7%	1.2%	21.0%	1.2%	-
	50歳代	度数	304	230	139	102	184	111	4	127	6	604
		割合	50.3%	38.1%	23.0%	16.9%	30.5%	18.4%	0.7%	21.0%	1.0%	-
	60歳代	度数	399	309	198	150	267	237	9	124	10	761
		割合	52.4%	40.6%	26.0%	19.7%	35.1%	31.1%	1.2%	16.3%	1.3%	-
	70歳以上	度数	264	222	129	124	186	189	4	108	28	578
		割合	45.7%	38.4%	22.3%	21.5%	32.2%	32.7%	0.7%	18.7%	4.8%	-
地域区分	市街地地域	度数	598	438	266	206	374	146	15	268	19	1,187
		割合	50.4%	36.9%	22.4%	17.4%	31.5%	12.3%	1.3%	22.6%	1.6%	-
	市街地周辺地域	度数	375	283	194	145	250	211	10	159	16	773
		割合	48.5%	36.6%	25.1%	18.8%	32.3%	27.3%	1.3%	20.6%	2.1%	-
	犀南地域	度数	441	312	188	169	266	163	5	182	14	869
		割合	50.7%	35.9%	21.6%	19.4%	30.6%	18.8%	0.6%	20.9%	1.6%	-
	松代・若穂	度数	144	94	55	58	83	71	1	54	3	282
		割合	51.1%	33.3%	19.5%	20.6%	29.4%	25.2%	0.4%	19.1%	1.1%	-
	中山間地域	度数	76	67	53	35	67	103	4	25	3	197
		割合	38.6%	34.0%	26.9%	17.8%	34.0%	52.3%	2.0%	12.7%	1.5%	-

家庭での災害（地震・風水害）への備えとしては、「非常食、飲料水、携帯ラジオなどの非常用持出品の用意（49.4%）」が最も多く、市民のおよそ半数がこれら持出品の用意ができていることが分かった。

「避難路や避難場所の確認（36.0%）」、「非常時の家族との連絡方法の確認（31.5%）」がこれに続いている。

一方で、「何もしていない（20.7%）」という回答も2割を超えている。

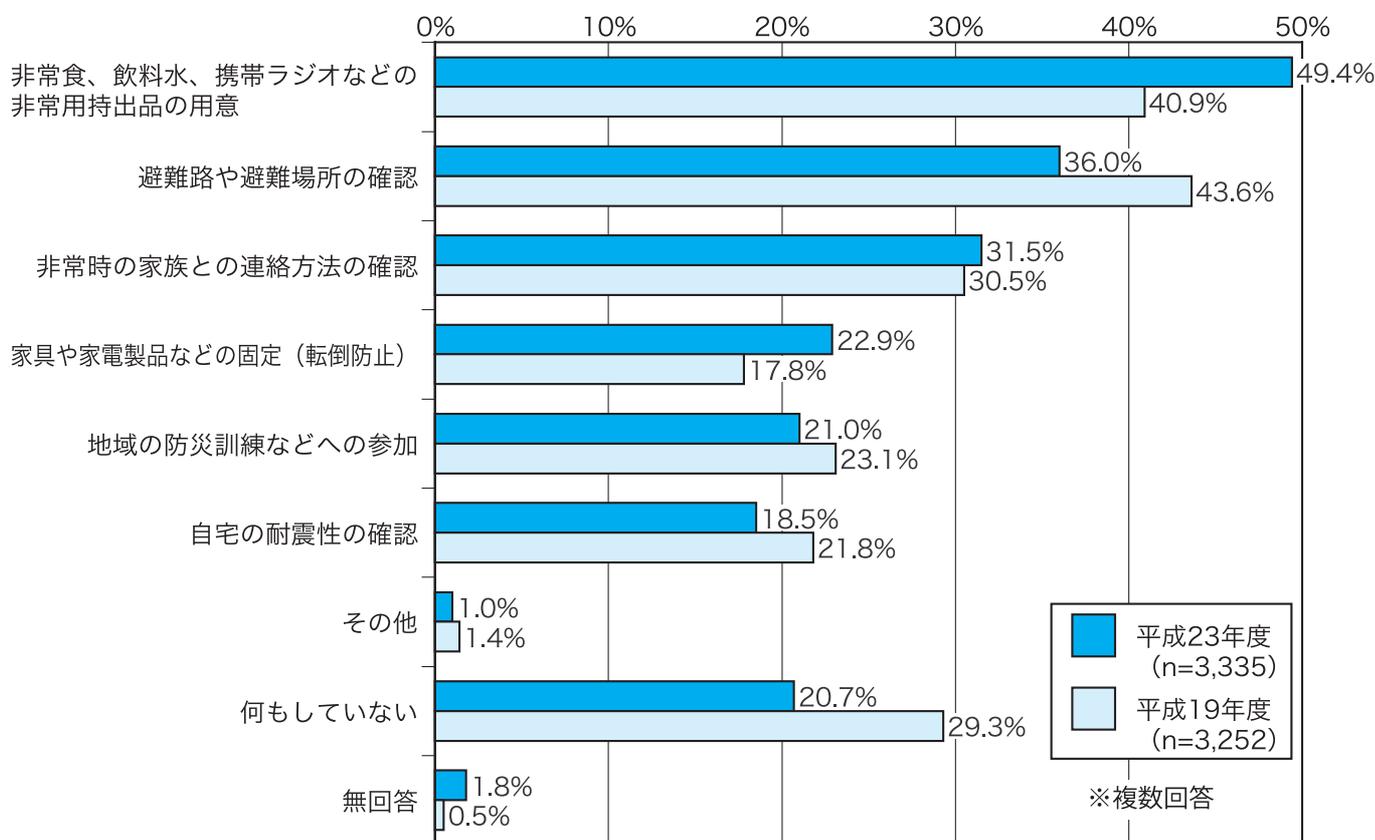
平成 19 年度に実施した同調査と比較した結果は次のグラフのとおりである。

平成 19 年度では、「避難路や避難場所の確認」が最も多かったが、今回の調査では「非常食、飲料水、携帯ラジオなどの非常用持出品の用意」に次いで 2 番手となっている。

「非常食、飲料水、携帯ラジオなどの非常用持出品の用意」は、平成 19 年度より 8.5 ポイント増加している。このほか、「家具や家電製品などの固定（転倒防止）」が 5.1 ポイント、「非常時の家族との連絡方法の確認」が 1.0 ポイントそれぞれ増加している。

一方で、「避難路や避難場所の確認」は平成 19 年度より 7.6 ポイント減少した。同様に、「自宅の耐震性の確認」が 3.3 ポイント、「地域の防災訓練などへの参加」が 2.1 ポイント減少している。

なお、「何もしていない」については、今回調査で 2 割を超えているものの、平成 19 年度より 8.6 ポイント減少した。平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災や栄村を中心とする地震、福島第一原子力発電所の事故などに伴い、市民の防災に対する意識が高まったことがうかがえる。



居住年数別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

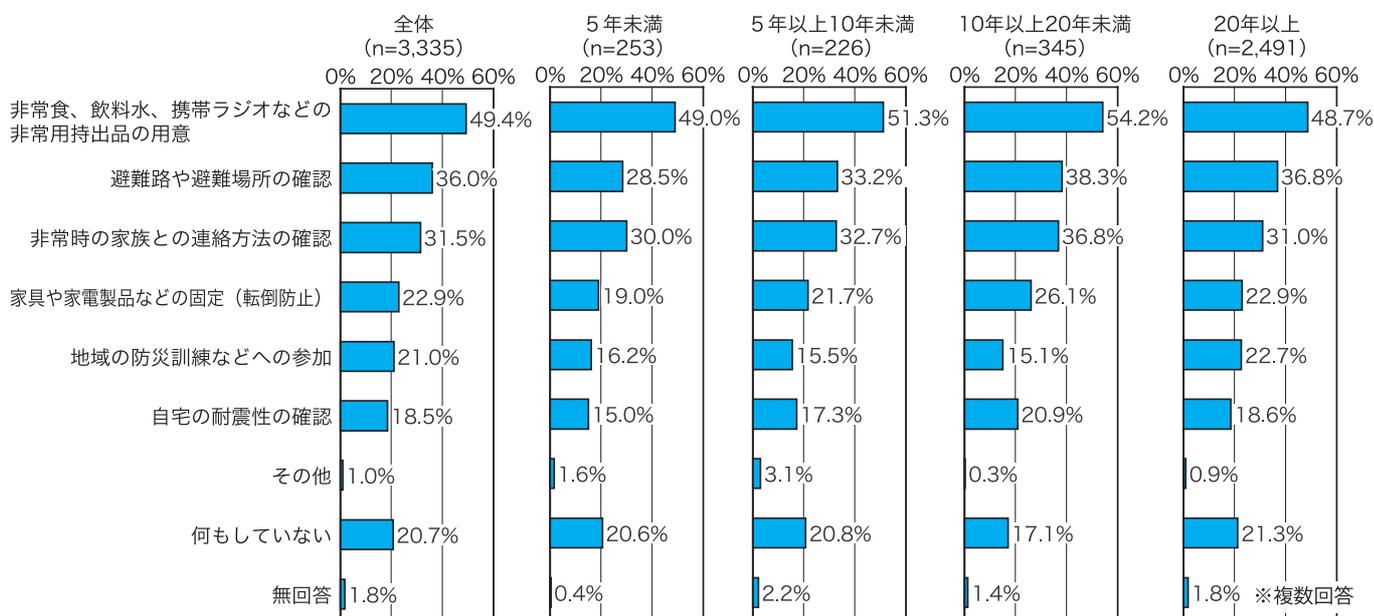
		非常食、飲料水、携帯ラジオなどの非常用持出品の用意	避難路や避難場所の確認	家具や家電製品などの固定（転倒防止）	自宅の耐震性の確認	非常時の家族との連絡方法の確認	地域の防災訓練などへの参加	その他	何もしていない	無回答	対象	
全体	度数	1,647	1,201	763	616	1,050	699	35	692	61	3,335	
	割合	49.4%	36.0%	22.9%	18.5%	31.5%	21.0%	1.0%	20.7%	1.8%	-	
居住年数	5年未満	度数	124	72	48	38	76	41	4	52	1	253
		割合	49.0%	28.5%	19.0%	15.0%	30.0%	16.2%	1.6%	20.6%	0.4%	-
	5年以上10年未満	度数	116	75	49	39	74	35	7	47	5	226
		割合	51.3%	33.2%	21.7%	17.3%	32.7%	15.5%	3.1%	20.8%	2.2%	-
	10年以上20年未満	度数	187	132	90	72	127	52	1	59	5	345
		割合	54.2%	38.3%	26.1%	20.9%	36.8%	15.1%	0.3%	17.1%	1.4%	-
	20年以上	度数	1,212	917	571	464	771	565	23	530	45	2,491
		割合	48.7%	36.8%	22.9%	18.6%	31.0%	22.7%	0.9%	21.3%	1.8%	-

回答結果を見ると、「10年以上20年未満」の居住者が、「非常食、飲料水、携帯ラジオなどの非常用持出品の用意」をはじめ5項目で最も高かった。

「地域の防災訓練などへの参加」については、「20年以上」の居住者の回答割合が最も高い。

「避難路や避難場所の確認」については、「5年未満」の居住者のみ3割を下回っている。同様に、「家具や家電製品などの固定」については、「5年未満」の居住者のみ2割を下回っている。

「何もしていない」については「20年以上」の居住者の回答割合が最も高い。本回答で2割を下回ったのは「10年以上20年未満」の居住者だけであった。



地区別に回答結果を集計すると、下表のとおりとなる。

		非常食、飲料水、携帯ラジオなどの非常用持出品の用意	避難路や避難場所の確認	家具や家電製品などの固定(転倒防止)	自宅の耐震性の確認	非常時の家族との連絡方法の確認	地域の防災訓練などへの参加	その他	何もしていない	対象
第一	度数	29	24	19	10	17	11	1	14	61
	割合	47.5%	39.3%	31.1%	16.4%	27.9%	18.0%	1.6%	23.0%	-
第二	度数	56	40	23	25	28	15	0	17	100
	割合	56.0%	40.0%	23.0%	25.0%	28.0%	15.0%	0.0%	17.0%	-
第三	度数	26	23	15	10	22	7	1	9	55
	割合	47.3%	41.8%	27.3%	18.2%	40.0%	12.7%	1.8%	16.4%	-
第四	度数	15	9	9	4	7	2	1	4	26
	割合	57.7%	34.6%	34.6%	15.4%	26.9%	7.7%	3.8%	15.4%	-
第五	度数	14	18	6	9	13	4	1	9	36
	割合	38.9%	50.0%	16.7%	25.0%	36.1%	11.1%	2.8%	25.0%	-
芹田	度数	91	61	45	25	52	22	3	44	190
	割合	47.9%	32.1%	23.7%	13.2%	27.4%	11.6%	1.6%	23.2%	-
古牧	度数	114	92	54	46	84	21	1	56	229
	割合	49.8%	40.2%	23.6%	20.1%	36.7%	9.2%	0.4%	24.5%	-
三輪	度数	79	50	23	23	40	15	1	41	146
	割合	54.1%	34.2%	15.8%	15.8%	27.4%	10.3%	0.7%	28.1%	-
吉田	度数	81	66	31	22	60	17	5	31	153
	割合	52.9%	43.1%	20.3%	14.4%	39.2%	11.1%	3.3%	20.3%	-
古里	度数	60	44	39	23	38	34	3	23	115
	割合	52.2%	38.3%	33.9%	20.0%	33.0%	29.6%	2.6%	20.0%	-
柳原	度数	29	23	16	11	22	14	1	8	61
	割合	47.5%	37.7%	26.2%	18.0%	36.1%	23.0%	1.6%	13.1%	-
浅川	度数	37	26	15	11	19	16	0	12	70
	割合	52.9%	37.1%	21.4%	15.7%	27.1%	22.9%	0.0%	17.1%	-
大豆島	度数	61	41	22	18	37	16	0	23	112
	割合	54.5%	36.6%	19.6%	16.1%	33.0%	14.3%	0.0%	20.5%	-
朝陽	度数	61	53	34	26	43	31	2	30	128
	割合	47.7%	41.4%	26.6%	20.3%	33.6%	24.2%	1.6%	23.4%	-
若槻	度数	81	68	45	35	60	63	3	36	175
	割合	46.3%	38.9%	25.7%	20.0%	34.3%	36.0%	1.7%	20.6%	-
長沼	度数	12	4	4	4	4	7	0	6	23
	割合	52.2%	17.4%	17.4%	17.4%	17.4%	30.4%	0.0%	26.1%	-
安茂里	度数	93	55	41	32	51	32	1	43	191
	割合	48.7%	28.8%	21.5%	16.8%	26.7%	16.8%	0.5%	22.5%	-
小田切	度数	5	3	4	4	6	8	0	4	15
	割合	33.3%	20.0%	26.7%	26.7%	40.0%	53.3%	0.0%	26.7%	-
芋井	度数	7	10	6	3	10	11	0	1	20
	割合	35.0%	50.0%	30.0%	15.0%	50.0%	55.0%	0.0%	5.0%	-
篠ノ井	度数	180	124	66	73	100	90	2	79	358
	割合	50.3%	34.6%	18.4%	20.4%	27.9%	25.1%	0.6%	22.1%	-
松代	度数	87	56	35	35	48	53	1	26	161
	割合	54.0%	34.8%	21.7%	21.7%	29.8%	32.9%	0.6%	16.1%	-
若穂	度数	57	38	20	23	35	18	0	28	121
	割合	47.1%	31.4%	16.5%	19.0%	28.9%	14.9%	0.0%	23.1%	-
川中島	度数	121	94	64	46	80	37	0	48	246
	割合	49.2%	38.2%	26.0%	18.7%	32.5%	15.0%	0.0%	19.5%	-
更北	度数	140	94	58	50	86	36	3	55	265
	割合	52.8%	35.5%	21.9%	18.9%	32.5%	13.6%	1.1%	20.8%	-
七二会	度数	3	5	3	2	4	6	0	4	14
	割合	21.4%	35.7%	21.4%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	-
信更	度数	7	3	4	1	4	12	1	4	24
	割合	29.2%	12.5%	16.7%	4.2%	16.7%	50.0%	4.2%	16.7%	-
豊野	度数	34	24	19	17	27	30	1	21	89
	割合	38.2%	27.0%	21.3%	19.1%	30.3%	33.7%	1.1%	23.6%	-
戸隠	度数	14	14	10	7	12	11	1	6	37
	割合	37.8%	37.8%	27.0%	18.9%	32.4%	29.7%	2.7%	16.2%	-
鬼無里	度数	8	6	4	4	7	9	0	3	16
	割合	50.0%	37.5%	25.0%	25.0%	43.8%	56.3%	0.0%	18.8%	-
大岡	度数	3	2	1	1	1	7	0	2	10
	割合	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	70.0%	0.0%	20.0%	-
信州新町	度数	21	15	18	6	15	26	0	1	42
	割合	50.0%	35.7%	42.9%	14.3%	35.7%	61.9%	0.0%	2.4%	-
中条	度数	8	9	3	7	8	13	2	0	19
	割合	42.1%	47.4%	15.8%	36.8%	42.1%	68.4%	10.5%	0.0%	-

第四次長野市総合計画 施策の指標項目

週1回以上の運動 ～前年度より1.0ポイント減「51.8%」～

問16 あなたは、体を動かす運動（1日30分以上）をどのくらい行っていますか。次の中から1つだけ○をしてください。

施策番号 441-01 生涯スポーツの振興		
指標項目	現状値（H18）	目標値（H23）
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	52.5%	67.5%

		週3日以上行っている	週2日行っている	週1日行っている	行っていない	無回答	合計	
全体	度数	805	427	496	1,533	74	3,335	
	割合	24.1%	12.8%	14.9%	46.0%	2.2%	100.0%	
性別	男性	度数	390	170	237	606	14	1,417
	割合	27.5%	12.0%	16.7%	42.8%	1.0%	100.0%	
	女性	度数	410	254	258	918	54	1,894
	割合	21.6%	13.4%	13.6%	48.5%	2.9%	100.0%	
年代	20歳代	度数	48	38	45	148	3	282
		割合	17.0%	13.5%	16.0%	52.5%	1.1%	100.0%
	30歳代	度数	65	43	94	308	4	514
		割合	12.6%	8.4%	18.3%	59.9%	0.8%	100.0%
	40歳代	度数	93	50	94	346	2	585
		割合	15.9%	8.5%	16.1%	59.1%	0.3%	100.0%
	50歳代	度数	123	74	103	291	13	604
		割合	20.4%	12.3%	17.1%	48.2%	2.2%	100.0%
	60歳代	度数	247	124	98	271	21	761
		割合	32.5%	16.3%	12.9%	35.6%	2.8%	100.0%
	70歳以上	度数	227	97	61	166	27	578
		割合	39.3%	16.8%	10.6%	28.7%	4.7%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	295	162	176	529	25	1,187
		割合	24.9%	13.6%	14.8%	44.6%	2.1%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	192	106	97	359	19	773
		割合	24.8%	13.7%	12.5%	46.4%	2.5%	100.0%
	犀南地域	度数	203	95	153	405	13	869
		割合	23.4%	10.9%	17.6%	46.6%	1.5%	100.0%
	松代・若穂	度数	64	43	40	131	4	282
		割合	22.7%	15.2%	14.2%	46.5%	1.4%	100.0%
	中山間地域	度数	46	19	27	99	6	197
		割合	23.4%	9.6%	13.7%	50.3%	3.0%	100.0%

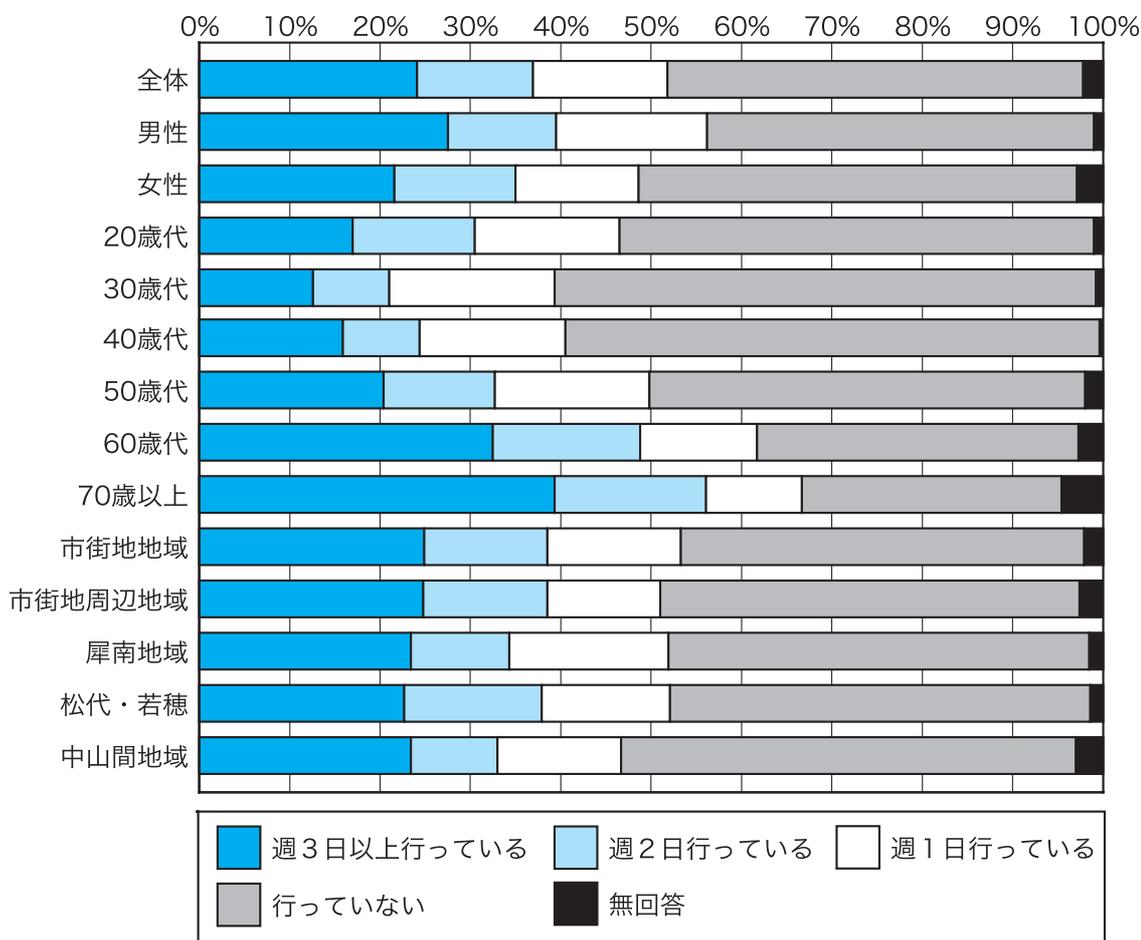
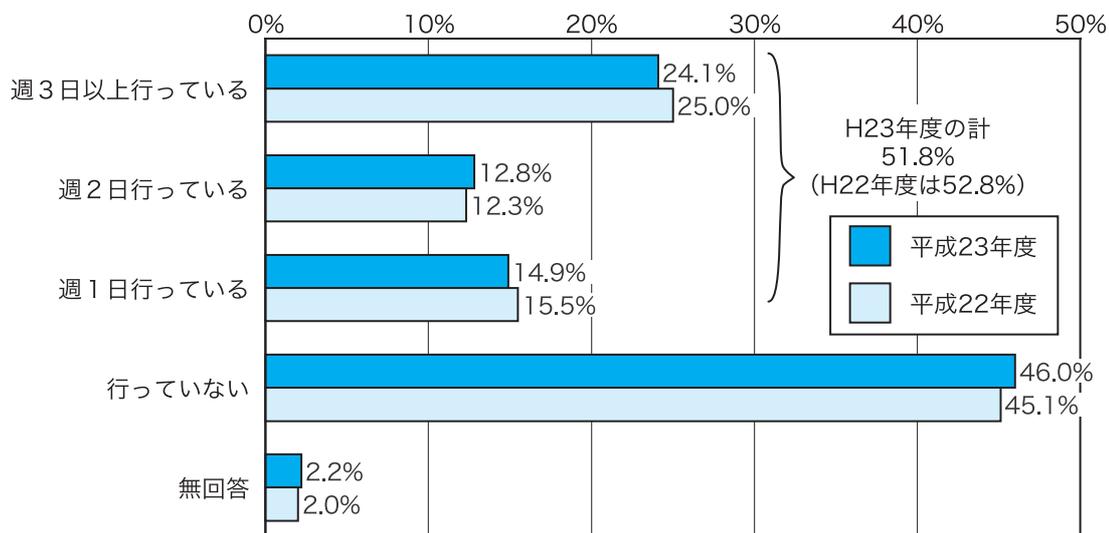
「1日30分以上の運動」については、「行っていない（46.0%）」という回答が最も多い。続いて、「週3日以上行っている（24.1%）」、「週1日行っている（14.9%）」、「週2日行っている（12.8%）」の順となっている。

男女別で見ると、運動を「行っていない」割合は「男性（42.8%）」よりも「女性（48.5%）」の方が高い。

年代別では、運動を「行っていない」割合は「20歳代」から「40歳代」までが5割を超えている一方、「60歳代（35.6%）」および「70歳以上（28.7%）」の割合は低い。

地域別では、「中山間地域」において、運動を「行っていない」割合が5割を超えている。

平成 22 年度の調査結果と比較すると、運動を「行っていない」割合は、平成 22 年度の 45.1%から 0.9 ポイント増加した。一方、「週 1 日行っている」から「週 3 日以上行っている」までを合計した「運動を行っている」割合は、平成 23 年度は 51.8%となり、運動を「行っていない」割合を上回っているものの、平成 22 年度より 1.0 ポイント減少した。



ホテルを見かけた市民 ～前年度より 0.3 ポイント増「18.5%」～

問 17 お住まいの地区では、ホテルを見かけることがありますか。次の中から1つだけ○をしてください。

施策番号 212-01 身近な自然環境の保全と創造		
指標項目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
ホテルを見かけることがある市民の割合	17.3%	30.0%

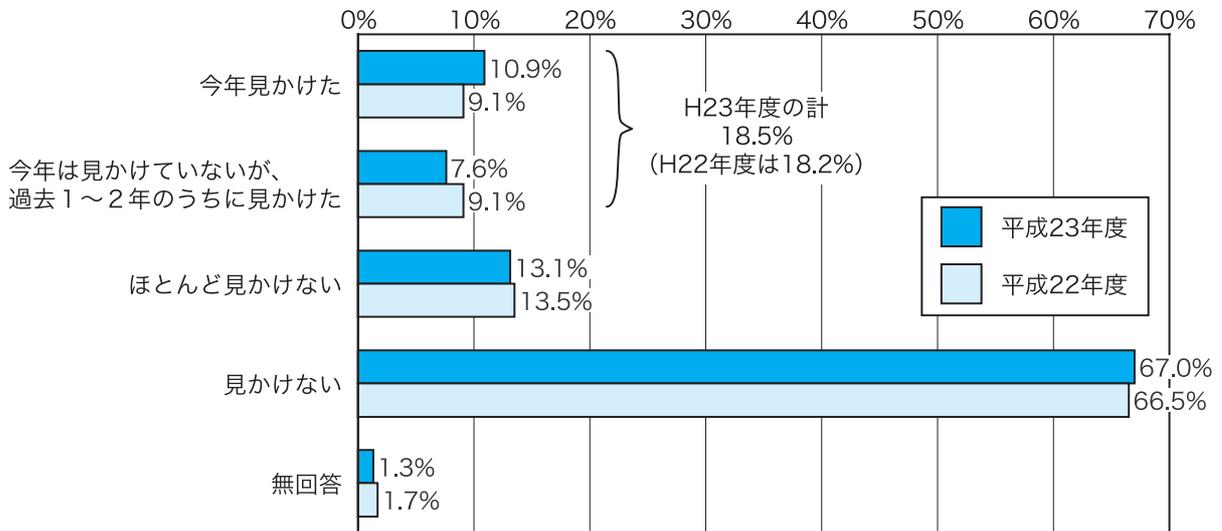
		今年見かけた	今年は見かけていないが、過去 1～2 年のうちに見かけた	ほとんど見かけない	見かけない	無回答	合計	
全体	度数	364	254	438	2,235	44	3,335	
	割合	10.9%	7.6%	13.1%	67.0%	1.3%	100.0%	
性別	男性	度数	161	107	193	946	10	1,417
		割合	11.4%	7.6%	13.6%	66.8%	0.7%	100.0%
	女性	度数	201	144	241	1,280	28	1,894
		割合	10.6%	7.6%	12.7%	67.6%	1.5%	100.0%
年代	20 歳代	度数	34	25	21	202	0	282
		割合	12.1%	8.9%	7.4%	71.6%	0.0%	100.0%
	30 歳代	度数	52	30	35	394	3	514
		割合	10.1%	5.8%	6.8%	76.7%	0.6%	100.0%
	40 歳代	度数	62	41	57	424	1	585
		割合	10.6%	7.0%	9.7%	72.5%	0.2%	100.0%
	50 歳代	度数	60	50	68	418	8	604
		割合	9.9%	8.3%	11.3%	69.2%	1.3%	100.0%
	60 歳代	度数	97	56	131	466	11	761
		割合	12.7%	7.4%	17.2%	61.2%	1.4%	100.0%
	70 歳以上	度数	59	52	125	325	17	578
		割合	10.2%	9.0%	21.6%	56.2%	2.9%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	74	63	150	886	14	1,187
		割合	6.2%	5.3%	12.6%	74.6%	1.2%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	124	78	91	469	11	773
		割合	16.0%	10.1%	11.8%	60.7%	1.4%	100.0%
	犀南地域	度数	34	30	100	698	7	869
		割合	3.9%	3.5%	11.5%	80.3%	0.8%	100.0%
	松代・若穂	度数	68	48	54	111	1	282
		割合	24.1%	17.0%	19.1%	39.4%	0.4%	100.0%
	中山間地域	度数	62	34	41	56	4	197
		割合	31.5%	17.3%	20.8%	28.4%	2.0%	100.0%

「住んでいる地区でホテルを見かけることがあるか」については、「見かけない (67.0%)」という回答が最も多く、「ほとんど見かけない (13.1%)」の回答と合計すると、およそ 8 割の市民がホテルを見かけていないことが分かった。

「今年見かけた」は 10.9%、「今年は見かけていないが、過去 1～2 年のうちに見かけた」は 7.6% となり、この 2 つの回答を合計した、最近ホテルを見かけた市民の割合は 18.5% となり、2 割に達していない。

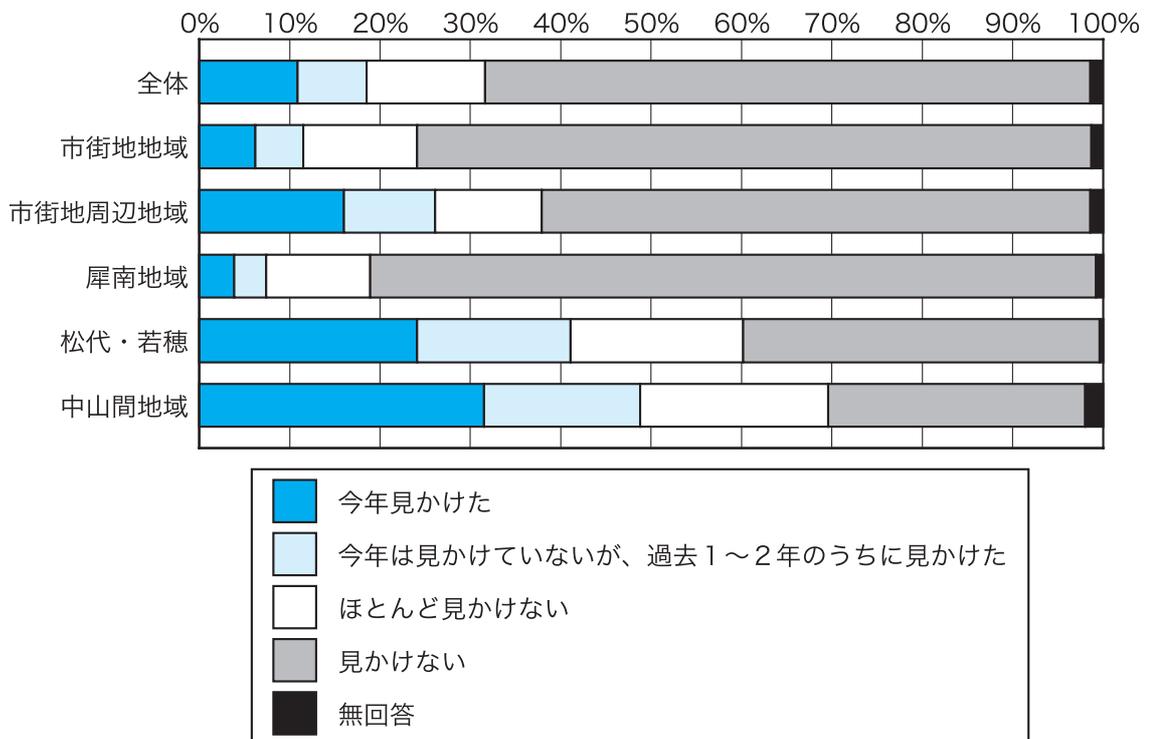
平成 22 年度の調査結果と比較すると、「見かけない」という回答は 0.5 ポイント増加した。

一方、「今年見かけた」および「今年は見かけていないが、過去 1～2 年のうちに見かけた」を合計した、最近ホテルを見かけた市民の割合は、平成 22 年度（18.2%）より 0.3 ポイント増加した。



地域別で見ると、「今年見かけた」および「今年は見かけていないが、過去 1～2 年のうちに見かけた」を合計した、最近ホテルを見かけた市民の割合は、「中山間地域（48.8%）」が最も高く、およそ半数の市民が「見かけた」と回答している。

一方、最近ホテルを見かけた市民の割合が最も低かった地域は「犀南地域（7.4%）」で、「中山間地域」と比較すると 41.4 ポイントの大きな開きが見られる。



市政情報を手軽に入手 ～「入手できている」前年度より1.4ポイント増「60.3%」～

問18 あなたは、「広報ながの」や「長野市ホームページ」などを通じ、必要な市政情報を手軽に入手できていると感じますか。次の中から1つだけ○をしてください。

施策番号 011-02 開かれた市政の推進		
指標項目	現状値 (H18)	目標値 (H23)
市政情報が手軽に入手できると感じる市民の割合	69.7%	現状維持

		そう感じる	ややそう感じる	あまりそう感じない	そう感じない	分からない	無回答	合計	
全体	度数	627	1,385	615	263	365	80	3,335	
	割合	18.8%	41.5%	18.4%	7.9%	10.9%	2.4%	100.0%	
性別	男性	度数	255	586	269	145	138	24	1,417
		割合	18.0%	41.4%	19.0%	10.2%	9.7%	1.7%	100.0%
	女性	度数	369	793	341	116	226	49	1,894
		割合	19.5%	41.9%	18.0%	6.1%	11.9%	2.6%	100.0%
年代	20歳代	度数	29	93	59	29	71	1	282
		割合	10.3%	33.0%	20.9%	10.3%	25.2%	0.4%	100.0%
	30歳代	度数	84	232	102	36	57	3	514
		割合	16.3%	45.1%	19.8%	7.0%	11.1%	0.6%	100.0%
	40歳代	度数	87	264	126	52	54	2	585
		割合	14.9%	45.1%	21.5%	8.9%	9.2%	0.3%	100.0%
	50歳代	度数	106	272	105	58	49	14	604
		割合	17.5%	45.0%	17.4%	9.6%	8.1%	2.3%	100.0%
	60歳代	度数	172	307	131	60	68	23	761
		割合	22.6%	40.3%	17.2%	7.9%	8.9%	3.0%	100.0%
	70歳以上	度数	149	215	89	26	66	33	578
		割合	25.8%	37.2%	15.4%	4.5%	11.4%	5.7%	100.0%
地域区分	市街地地域	度数	217	481	241	99	130	19	1,187
		割合	18.3%	40.5%	20.3%	8.3%	11.0%	1.6%	100.0%
	市街地周辺地域	度数	139	328	129	65	97	15	773
		割合	18.0%	42.4%	16.7%	8.4%	12.5%	1.9%	100.0%
	犀南地域	度数	167	370	156	62	91	23	869
		割合	19.2%	42.6%	18.0%	7.1%	10.5%	2.6%	100.0%
	松代・若穂	度数	63	120	47	20	24	8	282
		割合	22.3%	42.6%	16.7%	7.1%	8.5%	2.8%	100.0%
	中山間地域	度数	38	78	37	17	20	7	197
		割合	19.3%	39.6%	18.8%	8.6%	10.2%	3.6%	100.0%

「必要な市政情報を手軽に入手できていると感じているか」については、「ややそう感じる (41.5%)」が最も多く、「そう感じる (18.8%)」が続いた。

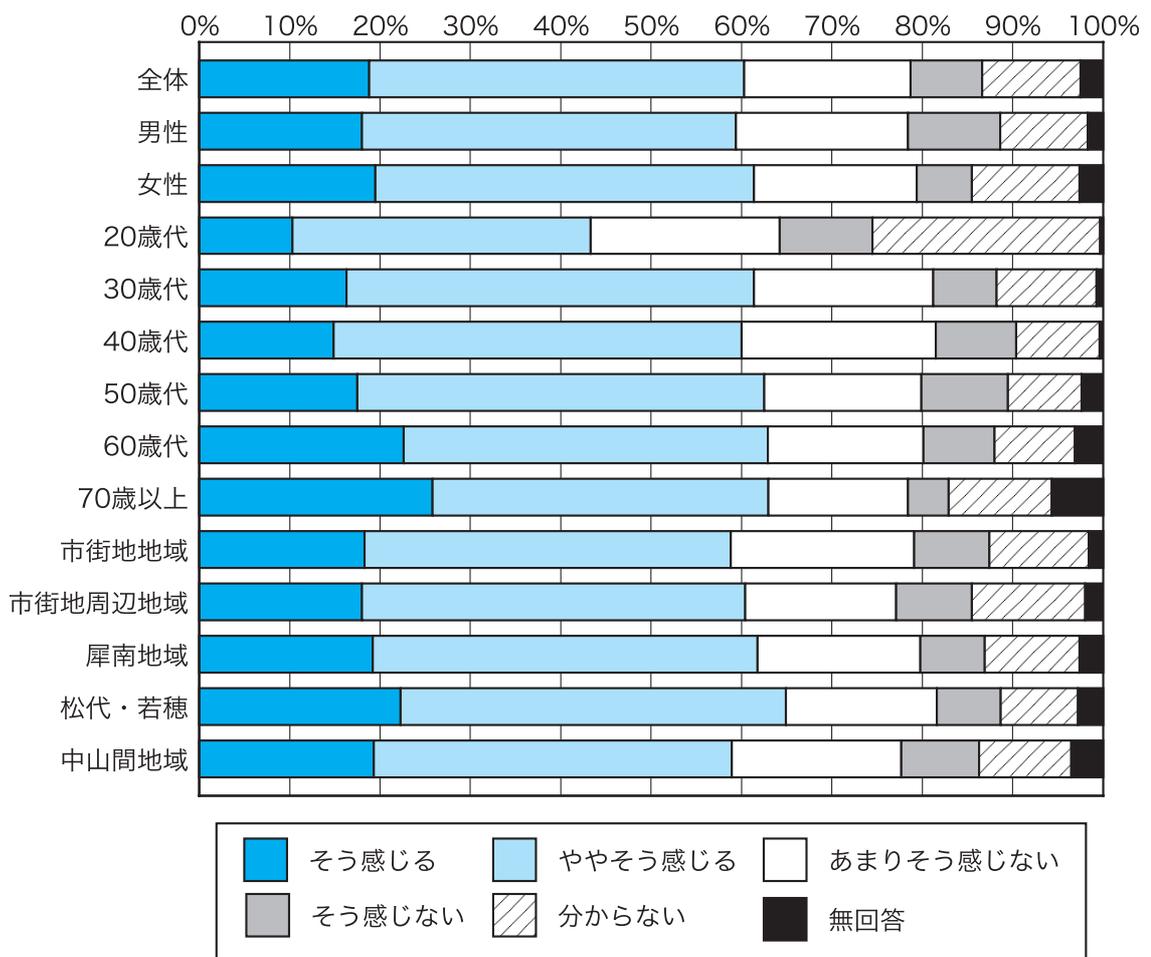
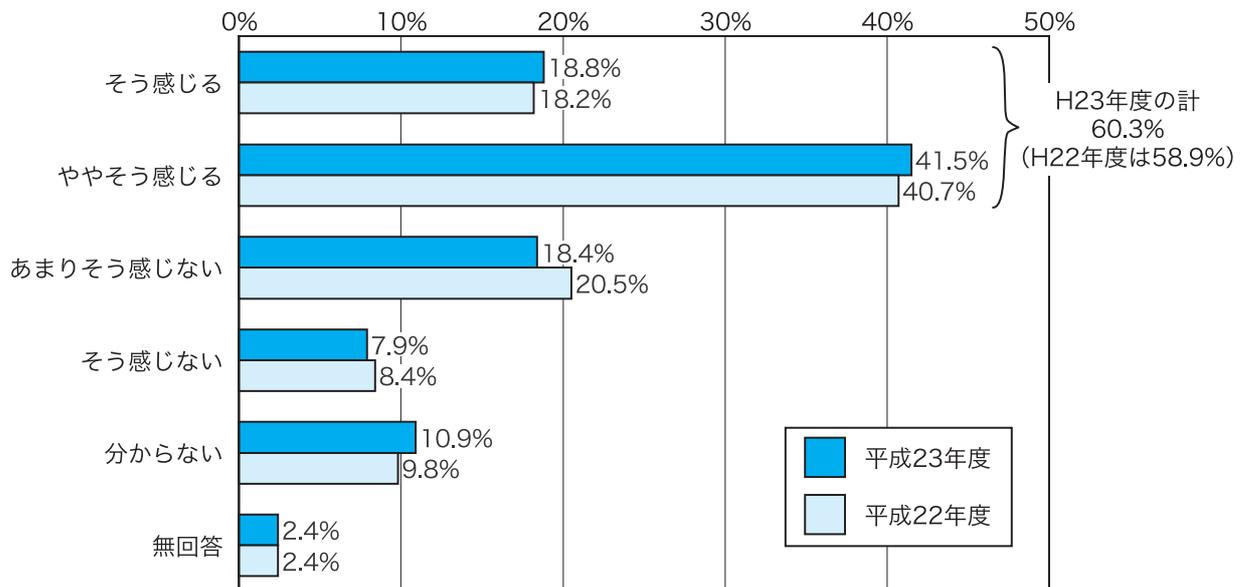
「そう感じる」と「ややそう感じる」の回答を合計した「入手できている」割合は60.3%となった。

男女別で見ると、「入手できている」割合は「女性 (61.4%)」が「男性 (59.4%)」をわずかに上回っている。

年代別では、「入手できている」割合は「70歳以上 (63.0%)」が最も高く、最も低い「20歳代 (43.3%)」と比較すると19.7ポイントの開きがある。

地域別では、「入手できている」割合は「松代・若穂 (64.9%)」が最も高かった。

平成 22 年度の調査結果と比較すると、「入手できている」割合は平成 22 年度の 58.9%より 1.4 ポイント増加した。

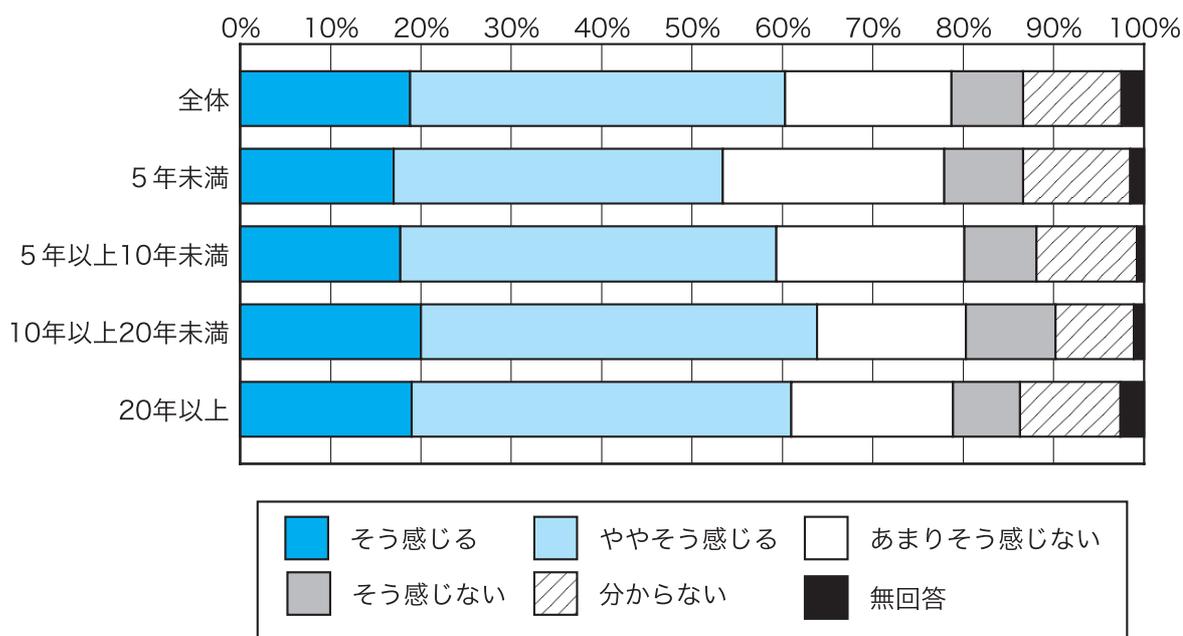


居住年数別に回答を集計すると、下表のとおりとなる。

		そう感じる	ややそう感じる	あまりそう感じない	そう感じない	分からない	無回答	合計	
全体	度数	627	1,385	615	263	365	80	3,335	
	割合	18.8%	41.5%	18.4%	7.9%	10.9%	2.4%	100.0%	
居住年数	5年未満	度数	43	92	62	22	30	4	253
		割合	17.0%	36.4%	24.5%	8.7%	11.9%	1.6%	100.0%
	5年以上10年未満	度数	40	94	47	18	25	2	226
		割合	17.7%	41.6%	20.8%	8.0%	11.1%	0.9%	100.0%
	10年以上20年未満	度数	69	151	57	34	30	4	345
		割合	20.0%	43.8%	16.5%	9.9%	8.7%	1.2%	100.0%
	20年以上	度数	474	1,045	446	185	276	65	2,491
		割合	19.0%	42.0%	17.9%	7.4%	11.1%	2.6%	100.0%

「入手できている」割合は「10年以上20年未満」の居住者が最も高く、63.8%となった。続いて、「20年以上(61.0%)」、「5年以上10年未満(59.3%)」の順となった。

「5年未満」の居住者について「入手できている」割合は53.4%となり、「10年以上20年未満」の居住者と比較すると10ポイント以上の開きが見られた。



行政施策の満足度（※第四次長野市総合計画 基本施策 アンケート指標）

生活環境には満足、雇用や経済活性化が課題に

問 19 あなたの日常生活を思い出していただき、No.1 からNo.44 のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号1つに○をつけてください。実感や印象、経験でお答えください。
 （選択肢：「1.そう思う」「2.ややそう思う」「3.あまりそう思わない」「4.そう思わない」「5.わからない」）

【「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目】

順位	項 目	そう思う	やや そう思う	思う合計
1	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	20.1%	46.1%	66.2%
2 (同率)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	19.4%	43.3%	62.7%
	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	14.1%	48.6%	62.7%
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	12.3%	46.9%	59.2%
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	14.7%	42.6%	57.3%

【「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目】

順位	項 目	そう思う	やや そう思う	思う合計
40	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	2.2%	14.7%	16.9%
41	外国の人や文化との交流が行われている	1.3%	12.0%	13.4%
42	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1.3%	10.8%	12.1%
43	工業や製造業に活気がある	1.0%	8.5%	9.5%
44	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	0.6%	3.7%	4.3%

「日常生活を思い出し、各項目についてどのように思うか」についての回答結果から、「そう思う」、「ややそう思う」という回答割合の合計上位5項目、下位5項目は上記のとおりである。

市民の満足度が最も高い項目は「生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている（思う合計：66.2%）」ことであった。このほか、「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである（62.7%）」こと、「豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある（62.7%）」ことが6割以上の満足度を得ており、生活環境については、多くの市民が満足している結果となっている。

一方、仕事への就きやすさや、工業や製造業の活気については、満足度が1割を下回っている状況である。雇用や経済の活性化が、依然として大きな課題に挙げられる。

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目】

順位	項目	あまりそう 思わない	そう 思わない	思わない 合計
1	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	28.0%	53.6%	81.6%
2	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	38.4%	31.9%	70.3%
3	工業や製造業に活気がある	35.1%	33.9%	69.1%
4	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている	37.2%	30.0%	67.2%
5	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	37.2%	28.2%	65.4%

【「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目】

順位	項目	あまりそう 思わない	そう 思わない	思わない 合計
40	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	19.2%	9.3%	28.5%
41	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	19.2%	8.4%	27.6%
42	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	20.9%	6.1%	27.0%
43	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	14.9%	5.5%	20.4%
44	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	13.1%	4.9%	18.0%

「日常生活を思い出し、各項目についてどのように思うか」についての回答結果から、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答の合計上位5項目、下位5項目は上記のとおりである。

仕事への就きやすさや、工業や製造業の活気について満足度が低くなっているほか、「公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている（思わない合計：70.3%）」ことや「魅力と賑（にぎ）わいがある中心市街地が整備されている（思わない合計：67.2%）」ことに対する満足度が低い状況である。

一方、「思わない」合計割合が低い5項目（満足度が高い項目）としては、生活環境に関する項目が挙げられているほか、「生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている（思わない合計：28.5%）」ことに対する市民の満足度が高くなっている。

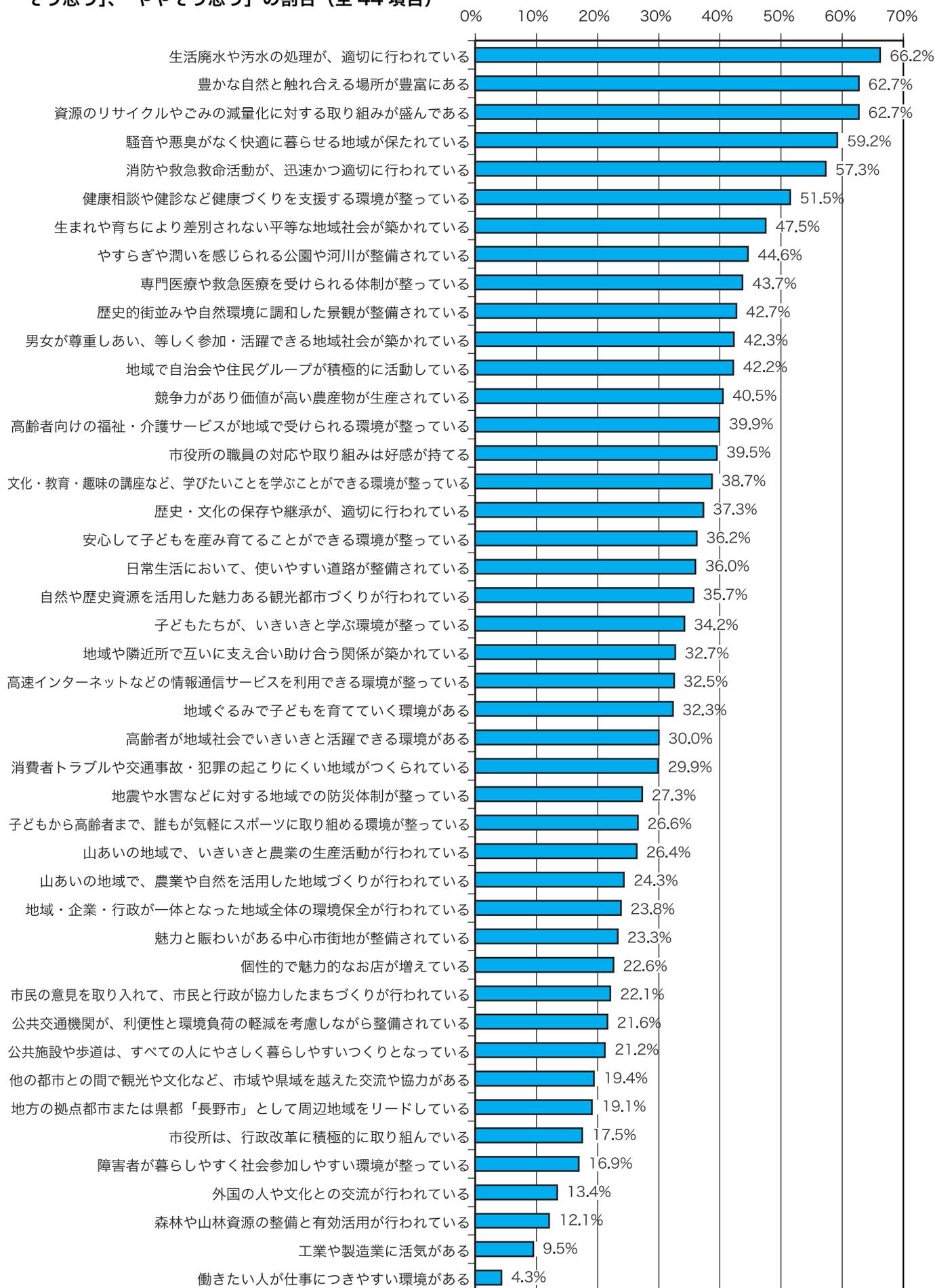
※第四次長野市総合計画

第四次長野市総合計画は、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち“ながの”をまちづくりの目標（都市像）に定め、市民福祉の更なる向上と新たなまちづくりを展望した総合的な市政運営を行うための基本方針（長野市の最高方針）である。平成19年度を初年度として、平成28年度を目標としている。

総合計画は、まちづくりの方針や政策を示す「基本構想」と、施策の展開や取組内容を示す「基本計画」、具体的な事業を示す「実施計画」で構成されている。

「基本計画」は、目標年次までの前半5年間（平成19年度から平成23年度）の前期基本計画と、後半5年間（平成24年度から平成28年度）の後期基本計画に分けられ、基本施策の「アンケート指標」を定め、市民の皆さんによる評価の視点を導入している。

「そう思う」、「ややそう思う」の割合（全44項目）



回答結果一覧（設問順）

No	設問項目	そう 思う	ややそ う思う	あまり そう思 わない	そう思 わない	分か らない	無回答
1	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている	2.5%	20.8%	37.2%	30.0%	4.3%	5.3%
2	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	1.8%	19.4%	38.4%	31.9%	3.9%	4.6%
3	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	4.6%	38.1%	30.7%	15.8%	5.5%	5.2%
4	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	2.0%	19.6%	37.2%	28.2%	7.6%	5.3%
5	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	5.5%	30.4%	30.8%	25.4%	3.0%	4.8%
6	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	6.8%	25.7%	22.2%	13.7%	25.5%	6.2%
7	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	4.1%	31.7%	33.0%	16.0%	9.7%	5.4%
8	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	7.0%	33.5%	28.8%	12.9%	12.2%	5.6%
9	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	4.7%	21.8%	29.4%	21.0%	18.0%	5.1%
10	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1.3%	10.8%	31.5%	26.3%	24.3%	5.8%
11	工業や製造業に活気がある	1.0%	8.5%	35.1%	33.9%	15.4%	6.0%
12	個性的で魅力的なお店が増えている	1.9%	20.7%	34.9%	29.7%	7.6%	5.2%
13	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	0.6%	3.7%	28.0%	53.6%	9.2%	4.9%
14	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	4.0%	30.3%	32.7%	13.8%	14.4%	5.0%
15	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	3.8%	28.5%	34.2%	16.2%	12.4%	4.9%
16	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	5.2%	33.5%	30.8%	14.4%	11.6%	4.5%
17	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	4.1%	33.2%	27.6%	11.3%	18.3%	5.5%
18	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	2.9%	23.7%	35.4%	21.7%	11.8%	4.5%
19	外国の人や文化との交流が行われている	1.3%	12.0%	32.4%	22.4%	26.5%	5.3%
20	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	2.8%	24.5%	35.6%	16.3%	16.8%	4.0%
21	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	14.7%	42.6%	14.9%	5.5%	18.2%	4.0%
22	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	2.8%	27.1%	33.4%	12.7%	19.2%	4.8%
23	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	2.1%	21.7%	34.9%	13.8%	21.4%	6.0%
24	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	19.4%	43.3%	19.2%	8.4%	4.6%	5.1%
25	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	14.1%	48.6%	20.9%	6.1%	5.8%	4.5%
26	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	12.3%	46.9%	22.2%	9.2%	4.3%	5.1%
27	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	20.1%	46.1%	13.1%	4.9%	10.6%	5.2%
28	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	7.8%	36.8%	31.4%	12.1%	6.5%	5.4%
29	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	5.3%	30.9%	28.2%	14.0%	15.5%	6.1%
30	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	6.8%	33.1%	24.9%	13.5%	17.2%	4.4%
31	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	4.4%	25.7%	31.4%	14.2%	19.2%	5.2%
32	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	2.2%	14.7%	33.6%	18.5%	25.4%	5.6%
33	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	4.7%	28.0%	34.3%	18.6%	9.5%	4.9%
34	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	8.2%	43.3%	23.2%	8.8%	10.8%	5.6%
35	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	7.9%	35.8%	26.8%	12.0%	12.2%	5.3%
36	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	9.0%	38.5%	19.2%	9.3%	18.6%	5.4%
37	男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	6.6%	35.8%	24.7%	10.0%	17.3%	5.7%
38	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	2.5%	19.5%	31.1%	22.7%	19.3%	4.8%
39	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	6.7%	35.5%	25.8%	10.8%	16.0%	5.2%
40	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	2.8%	21.5%	25.8%	12.1%	32.3%	5.5%
41	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	2.8%	16.2%	32.8%	22.0%	20.7%	5.4%
42	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	1.9%	17.5%	29.2%	14.8%	30.9%	5.6%
43	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	2.3%	15.3%	27.3%	24.5%	25.6%	5.1%
44	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	7.7%	31.7%	21.5%	19.5%	15.5%	4.0%

【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (67.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (65.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (72.3%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (71.2%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (69.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (69.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (69.1%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (63.3%)
2	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (62.7%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (63.5%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (61.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (64.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (67.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (63.9%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (68.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (61.4%)
3	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (62.2%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (63.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (58.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (62.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (64.1%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (62.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (62.4%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (59.3%)
4	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (62.2%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (60.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (56.0%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (58.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (63.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (60.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (60.2%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (54.2%)
5	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (58.8%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (55.3%)	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている (51.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (54.1%) やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている (54.1%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (55.0%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (57.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (56.6%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (54.2%)

【地域別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計上位5項目

順位	市街地地域 (n=1,187)	市街地周辺地域 (n=773)	犀南地域 (n=869)	松代・若穂 (n=282)	中山間地域 (n=197)
1	生活廃水や汚水の処理が適切に行われている (66.7%)	生活廃水や汚水の処理が適切に行われている (68.0%)	生活廃水や汚水の処理が適切に行われている (68.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (66.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (64.0%)
2	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (64.6%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (62.9%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (62.8%)	生活廃水や汚水の処理が適切に行われている (61.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (62.4%)
3	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (62.5%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (62.2%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (61.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (60.3%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (61.9%)
4	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (59.1%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (58.7%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (59.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (59.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (60.9%)
5	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (56.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (57.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (57.9%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (58.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (59.9%)

【性別・年代別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

順位	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
40	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (18.1%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (16.1%)	外国人の人や文化との交流が行われている (16.3%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (15.4%)	外国人の人や文化との交流が行われている (16.6%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (15.6%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (17.9%)	個性的で魅力的なお店が増えている (18.5%)
41	外国人の人や文化との交流が行われている (14.0%)	外国人の人や文化との交流が行われている (13.0%)	工業や製造業に活気がある (16.0%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (14.6%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (16.2%)	外国人の人や文化との交流が行われている (13.2%)	外国人の人や文化との交流が行われている (11.0%)	外国人の人や文化との交流が行われている (11.4%)
42	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (11.5%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (12.7%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (14.9%)	外国人の人や文化との交流が行われている (14.2%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (13.8%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (9.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (7.0%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (8.7%)
43	工業や製造業に活気がある (9.4%)	工業や製造業に活気がある (9.7%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (13.8%)	工業や製造業に活気がある (14.0%)	工業や製造業に活気がある (9.2%)	工業や製造業に活気がある (8.3%)	工業や製造業に活気がある (6.4%)	工業や製造業に活気がある (8.3%)
44	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (3.7%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (4.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (7.4%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (5.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (3.8%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (4.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (3.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (3.6%)

【地域別順位】「そう思う」、「ややそう思う」合計下位5項目

順位	市街地地域 (n=1,187)	市街地周辺地域 (n=773)	犀南地域 (n=869)	松代・若穂 (n=282)	中山間地域 (n=197)
40	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (17.8%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (15.1%)	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる (14.8%)	個性的で魅力的なお店が増えている (15.2%)	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている (15.7%)
41	外国人の人や文化との交流が行われている (15.1%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (11.9%)	外国人の人や文化との交流が行われている (14.2%)	外国人の人や文化との交流が行われている (12.1%)	外国人の人や文化との交流が行われている (10.2%)
42	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (14.1%)	外国人の人や文化との交流が行われている (11.3%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (10.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (10.6%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (9.6%)
43	工業や製造業に活気がある (10.2%)	工業や製造業に活気がある (9.6%)	工業や製造業に活気がある (10.5%)	工業や製造業に活気がある (7.8%)	工業や製造業に活気がある (5.1%)
44	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (4.1%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (3.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (5.2%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (3.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (3.6%)

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (85.0%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (79.4%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (79.1%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (83.5%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (89.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (87.3%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (82.9%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (66.1%)
2	工業や製造業に活気がある (75.8%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (69.7%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (75.9%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (75.5%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (78.3%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (78.3%)	工業や製造業に活気がある (72.7%)	個性的で魅力的なお店が増えている (55.0%)
3	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (71.8%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (64.8%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (68.8%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (72.6%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (77.4%)	工業や製造業に活気がある (76.0%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (68.7%)	工業や製造業に活気がある (54.3%)
4	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (71.0%)	工業や製造業に活気がある (64.3%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (68.1%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (71.0%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (76.4%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (72.2%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (65.4%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (51.9%)
5	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (68.2%)	個性的で魅力的なお店が増えている (63.6%) 公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (63.6%)	個性的で魅力的なお店が増えている (65.6%)	工業や製造業に活気がある (69.1%)	工業や製造業に活気がある (75.9%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (71.5%)	個性的で魅力的なお店が増えている (65.0%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (47.4%)

【地域別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計上位5項目

順位	市街地地域 (n=1,187)	市街地周辺地域 (n=773)	犀南地域 (n=869)	松代・若穂 (n=282)	中山間地域 (n=197)
1	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (81.2%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (81.0%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (83.0%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (82.6%)	働きたい人が仕事につきやすい環境がある (81.7%)
2	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (72.4%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (71.8%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (72.4%)	個性的で魅力的なお店が増えている (72.3%)	工業や製造業に活気がある (69.5%)
3	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (70.3%)	工業や製造業に活気がある (69.3%)	工業や製造業に活気がある (70.0%)	工業や製造業に活気がある (70.9%)	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている (68.5%)
4	工業や製造業に活気がある (68.2%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (66.5%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (68.0%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (68.1%)	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている (64.0%)
5	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (65.3%)	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている (64.0%)	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている (67.8%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (67.4%)	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている (61.9%)

【性別・年代別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
40	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (30.0%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (27.8%)	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている (28.0%)	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている (30.9%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (33.0%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (31.8%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (28.9%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (22.7%)
41	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (29.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (25.8%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (26.2%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (28.2%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (29.9%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (31.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (28.6%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (22.1%)
42	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (29.2%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (25.4%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (19.1%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (24.9%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (28.9%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (31.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (23.1%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (19.0%)
43	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (20.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (20.1%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (18.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (17.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (26.2%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (21.7%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (19.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (17.3%)
44	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (20.0%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (16.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (18.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (17.9%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (19.1%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (20.2%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (18.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (13.8%)

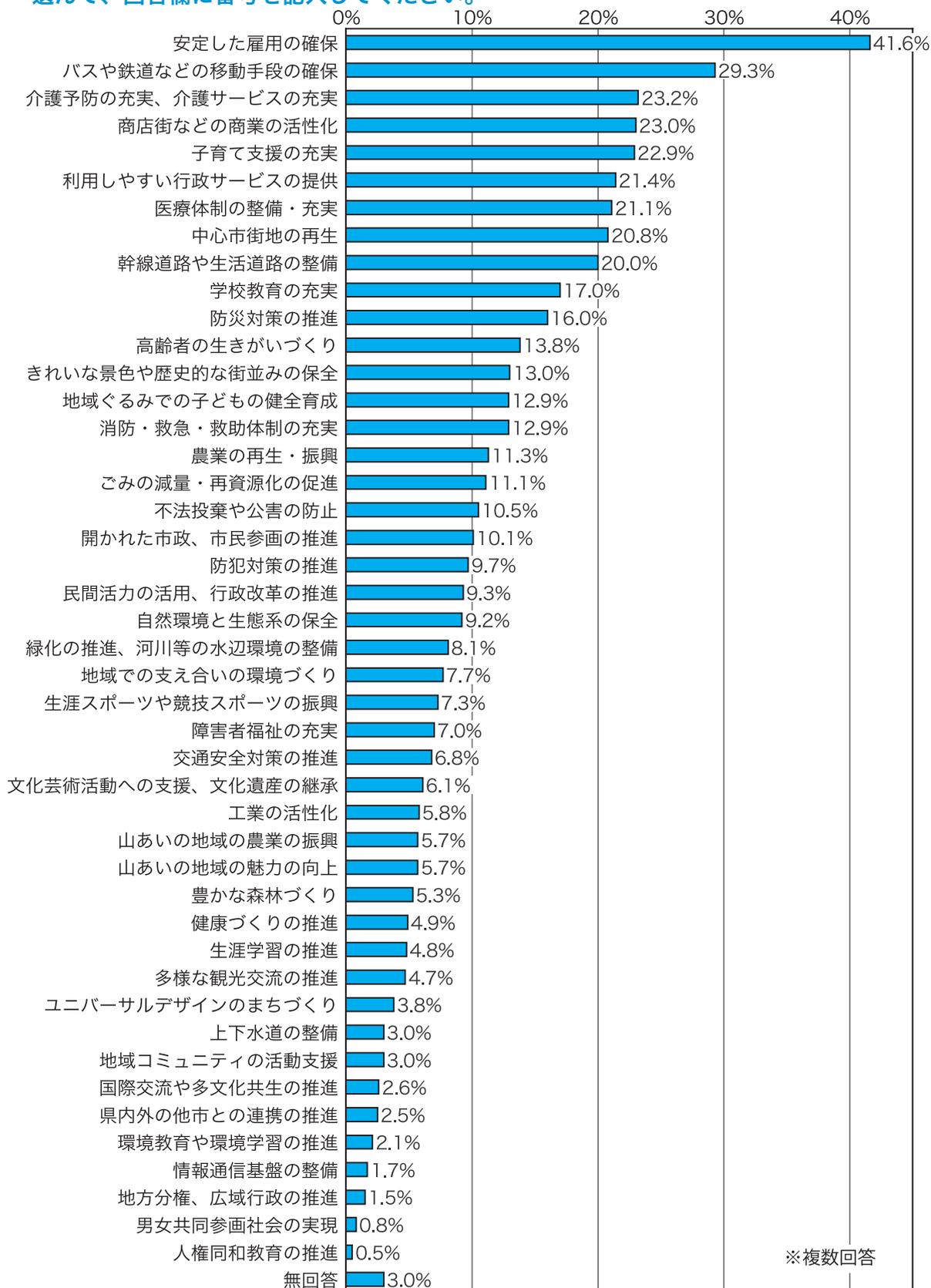
【地域別順位】「あまりそう思わない」、「そう思わない」合計下位5項目

順位	市街地地域 (n=1,187)	市街地周辺地域 (n=773)	犀南地域 (n=869)	松代・若穂 (n=282)	中山間地域 (n=197)
40	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (28.3%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (29.2%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (29.5%)	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (28.4%)	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている (25.9%)
41	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている (27.8%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (27.6%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (28.7%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (27.3%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (25.4%)
42	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (26.5%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (26.9%)	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである (27.6%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (23.4%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (24.4%)
43	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (19.8%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (20.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (21.1%)	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある (23.4%)	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている (23.4%)
44	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (15.4%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (17.5%)	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている (18.6%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (20.9%)	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている (21.3%)

行政施策の優先度

～「安定した雇用の確保」3年連続トップ～

問 20 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記 45 項目の中から5つ選んで、回答欄に番号を記入してください。



※複数回答

長野市が「特に力を入れるべきだと思う施策」としては、「安定した雇用の確保」が本年度の1位となった。これは3年連続でトップとなり、依然として改善が見られない厳しい雇用環境を表していると考えられる。

平成22年度に引き続き、「バスや鉄道などの移動手段の確保」が2位に、「介護予防の充実・介護サービスの充実」が3位となった。

平成22年度では6位の「商店街などの商業の活性化」が4位に、同7位の「子育て支援の充実」が5位に、それぞれ順位を上げた。商業の活性化や子育て環境の充実について、市民の関心が高まっていると考えられる。

なお、平成22年度は30位だった「防災対策の推進」は、本年度11位と大きく順位を上げた。平成23年3月に発生した東日本大震災や栄村を中心とする地震、福島第一原子力発電所の事故などに伴い、市民の防災に対する意識が高まったことがうかがえる。

【性別・年代別順位】

順位	全体 (n=3,335)	男性 (n=1,417)	女性 (n=1,894)	20歳代 (n=282)	30歳代 (n=514)	40歳代 (n=585)	50歳代 (n=604)	60歳代 (n=761)	70歳以上 (n=578)
1	安定した雇用の確保 (41.6%)	安定した雇用の確保 (38.5%)	安定した雇用の確保 (44.1%)	安定した雇用の確保 (47.5%)	子育て支援の充実 (49.2%)	安定した雇用の確保 (44.4%)	安定した雇用の確保 (45.9%)	安定した雇用の確保 (42.3%)	安定した雇用の確保 (32.9%)
2	バスや鉄道などの移動手段の確保 (29.3%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (25.9%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (31.8%)	子育て支援の充実 (33.0%)	安定した雇用の確保 (39.3%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (31.8%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (27.6%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (29.2%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (31.0%)
3	介護予防の充実、介護サービスの充実 (23.2%)	幹線道路や生活道路の整備 (23.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.1%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (31.9%)	中心市街地の再生 (31.5%)	子育て支援の充実 (30.4%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (26.5%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (27.2%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (30.4%)
4	商店街などの商業の活性化 (23.0%)	商店街などの商業の活性化 (21.9%)	利用しやすい行政サービスの提供 (24.3%)	中心市街地の再生 (29.8%)	バスや鉄道などの移動手段の確保 (26.1%)	学校教育の充実 (25.3%)	幹線道路や生活道路の整備 (22.7%)	商店街などの商業の活性化 (21.6%)	高齢者の生きがいづくり (25.1%)
5	子育て支援の充実 (22.9%)	子育て支援の充実 (21.4%)	子育て支援の充実 (24.1%)	商店街などの商業の活性化 (28.7%)	学校教育の充実 (26.1%)	商店街などの商業の活性化 (25.1%)	商店街などの商業の活性化 (22.2%)	幹線道路や生活道路の整備 (20.9%)	医療体制の整備・充実 (20.2%)
6	利用しやすい行政サービスの提供 (21.4%)	中心市街地の再生 (21.2%)	商店街などの商業の活性化 (24.1%)	医療体制の整備・充実 (24.1%)	商店街などの商業の活性化 (25.5%)	医療体制の整備・充実 (24.1%)	中心市街地の再生 (22.0%)	利用しやすい行政サービスの提供 (20.8%)	商店街などの商業の活性化 (19.0%)
7	医療体制の整備・充実 (21.1%)	医療体制の整備・充実 (19.9%)	医療体制の整備・充実 (22.0%)	利用しやすい行政サービスの提供 (21.6%)	利用しやすい行政サービスの提供 (23.0%)	利用しやすい行政サービスの提供 (23.6%)	医療体制の整備・充実 (21.5%)	医療体制の整備・充実 (20.5%)	利用しやすい行政サービスの提供 (18.9%)
8	中心市街地の再生 (20.8%)	介護予防の充実、介護サービスの充実 (18.1%)	中心市街地の再生 (20.8%)	幹線道路や生活道路の整備 (18.8%)	幹線道路や生活道路の整備 (18.9%)	幹線道路や生活道路の整備 (21.4%)	利用しやすい行政サービスの提供 (21.2%)	高齢者の生きがいづくり (16.0%)	消防・救急・救助体制の充実 (17.0%)
9	幹線道路や生活道路の整備 (20.0%)	利用しやすい行政サービスの提供 (17.8%)	学校教育の充実 (18.3%)	防災対策の推進 (17.7%)	医療体制の整備・充実 (17.9%)	防災対策の推進 (20.5%) 介護予防の充実、介護サービスの充実 (20.5%)	防災対策の推進 (16.7%)	地域ぐるみでの子どもの健全育成 (15.6%)	幹線道路や生活道路の整備 (16.3%)
10	学校教育の充実 (17.0%)	防災対策の推進 (15.5%)	幹線道路や生活道路の整備 (17.5%)	きれいな景色や歴史的な街並みの保全 (16.3%)	防災対策の推進 (16.7%)		農業の再生・振興 (14.7%)	中心市街地の再生 (13.9%) 防災対策の推進 (13.9%)	中心市街地の再生 (15.7%)

男女別で見ると、男女ともに「安定した雇用の確保」がトップに、「バスや鉄道などの移動手段の確保」が2位になった。「男性」は「幹線道路や生活道路の整備」が、「女性」は「介護予防の充実、介護サービスの充実」が3位になった。

今年度大きく順位を上げた「防災対策の推進」は、「男性」で10位に入っている。

年代別で見ると、「30歳代」は「子育て支援の充実」が、それ以外の年代では「安定した雇用の確保」がトップになった。「子育て支援の充実」は「20歳代」から「40歳代」まで3位以内に入っているが、それ以外の年代では上位に入っていない。

また、「介護予防の充実、介護サービスの充実」については、「40歳代」以降の年代で上位に入っているが、「20歳代」および「30歳代」では入っていない。

今年度大きく順位を上げた「防災対策の推進」は、「20歳代」から「60歳代」まででは9位または10位に入っているが、「70歳以上」では入っていない。

【地域別順位】

順位	全体 (n=3,335)	市街地地域 (n=1,187)	市街地周辺地域 (n=773)	犀南地域 (n=869)	松代・若穂 (n=282)	中山間地域 (n=197)
1	安定した雇用の確保 (41.6%)	安定した雇用の確保 (38.2%)	安定した雇用の確保 (44.0%)	安定した雇用の確保 (44.9%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (47.5%)	安定した雇用の確保 (40.6%)
2	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (29.3%)	中心市街地の再生 (29.9%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (30.1%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (28.8%)	安定した雇用の確保 (42.9%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (31.0%)
3	介護予防の充実、介 護サービスの充実 (23.2%)	商店街などの商業 の活性化 (28.4%)	介護予防の充実、介 護サービスの充実 (24.1%)	介護予防の充実、介 護サービスの充実 (24.9%)	介護予防の充実、介 護サービスの充実 (22.0%)	幹線道路や生活道 路の整備 (28.4%)
4	商店街などの商業 の活性化 (23.0%)	バスや鉄道などの 移動手段の確保 (24.3%)	子育て支援の充実 (23.4%)	子育て支援の充実 (24.6%)	子育て支援の充実 (21.3%)	山あいの地域の農 業の振興 (22.3%)
5	子育て支援の充実 (22.9%)	子育て支援の充実 (23.1%)	商店街などの商業 の活性化 (22.5%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (23.4%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (19.9%)	山あいの地域の魅 力の向上 (21.3%)
6	利用しやすい行政 サービスの提供 (21.4%)	介護予防の充実、介 護サービスの充実 (22.8%)	幹線道路や生活道 路の整備 (22.4%)	医療体制の整備・充 実 (22.7%)	幹線道路や生活道 路の整備 (19.1%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (20.8%)
7	医療体制の整備・充 実 (21.1%)	医療体制の整備・充 実 (21.9%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (22.1%)	商店街などの商業 の活性化 (21.3%)	医療体制の整備・充 実 (19.1%)	介護予防の充実、介 護サービスの充実 (20.3%)
8	中心市街地の再生 (20.8%)	利用しやすい行政 サービスの提供 (20.2%)	医療体制の整備・充 実 (19.9%)	幹線道路や生活道 路の整備 (20.6%)	高齢者の生きがい づくり (17.4%)	医療体制の整備・充 実 (19.3%)
9	幹線道路や生活道 路の整備 (20.0%)	幹線道路や生活道 路の整備 (16.8%)	中心市街地の再生 (19.3%)	学校教育の充実 (19.3%)	防災対策の推進 (16.7%)	消防・救急・救助体 制の充実 (18.8%)
10	学校教育の充実 (17.0%)	学校教育の充実 (16.3%)	学校教育の充実 (16.8%)	防災対策の推進 (18.3%)	学校教育の充実 (16.3%)	防災対策の推進 (17.8%)

地域別で見ると、「市街地周辺地域」、「犀南地域」および「松代・若穂」では、「安定した雇用の確保」、「バスや鉄道などの移動手段の確保」、「介護予防の充実、介護サービスの充実」といった施策が3位以内に入っている。

「市街地地域」と「中山間地域」ではともに「安定した雇用の確保」がトップとなったが、「市街地地域」においては「中心市街地の再生」が2位に、「商店街などの商業の活性化」が3位となっている。

「中山間地域」では、「バスや鉄道などの移動手段の確保」が2位に、「幹線道路や生活道路の整備」が3位に入っている。

今年度大きく順位を上げた「防災対策の推進」は、「犀南地域」、「松代・若穂」および「中山間地域」で9位または10位に入っている。

【行政施策の優先順位に係る年次別推移】

設 問 項 目	順位（回答割合）				
	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度
安定した雇用の確保	1(41.6%)	1(34.6%)	1(44.6%)	2(33.3%)	6(23.8%)
バスや鉄道などの移動手手段の確保	2(29.3%)	2(28.5%)	2(32.3%)	6(25.6%)	5(25.2%)
介護予防の充実、介護サービスの充実	3(23.2%)	3(27.3%)	4(27.0%)	3(30.2%)	2(29.1%)
商店街などの商業の活性化	4(23.0%)	6(22.1%)	7(18.7%)	10(21.0%)	7(17.9%)
子育て支援の充実	5(22.9%)	7(21.4%)	5(23.2%)	4(27.9%)	4(26.2%)
利用しやすい行政サービスの提供	6(21.4%)	5(23.6%)	6(22.0%)	5(25.8%)	3(27.4%)
医療体制の整備・充実	7(21.1%)	4(25.2%)	3(28.0%)	1(42.2%)	1(32.0%)
中心市街地の再生	8(20.8%)	8(17.6%)	7(18.7%)	15(17.5%)	14(14.2%)
幹線道路や生活道路の整備	9(20.0%)	10(16.4%)	10(17.4%)	18(14.8%)	15(14.2%)
学校教育の充実	10(17.0%)	9(17.1%)	9(17.4%)	9(22.6%)	9(16.8%)
防災対策の推進	11(16.0%)	30(5.7%)	22(8.2%)	24(10.0%)	25(7.7%)
高齢者の生きがいづくり	12(13.8%)	13(14.7%)	16(12.6%)	16(16.3%)	13(14.4%)
きれいな景色や歴史的な街並みの保全	13(13.0%)	17(12.3%)	15(12.8%)	21(11.8%)	22(9.3%)
地域ぐるみでの子どもの健全育成	14(12.9%)	16(12.5%)	14(13.6%)	14(18.1%)	16(13.9%)
消防・救急・救助体制の充実	15(12.9%)	22(9.5%)	13(14.8%)	12(19.8%)	17(13.1%)
農業の再生・振興	16(11.3%)	12(15.2%)	12(15.7%)	8(23.0%)	11(15.0%)
ごみの減量・再資源化の促進	17(11.1%)	22(9.5%)	17(12.4%)	7(25.1%)	8(17.3%)
不法投棄や公害の防止	18(10.5%)	19(11.1%)	19(11.4%)	17(15.2%)	18(12.2%)
開かれた市政、市民参画の推進	19(10.1%)	11(15.8%)	21(8.3%)	25(8.0%)	24(8.2%)
防犯対策の推進	20(9.7%)	18(11.2%)	11(15.9%)	11(20.4%)	10(15.5%)
民間活力の活用、行政改革の推進	21(9.3%)	15(12.7%)	24(8.0%)	23(10.0%)	19(11.6%)
自然環境と生態系の保全	22(9.2%)	14(13.4%)	20(10.0%)	13(19.0%)	12(15.0%)
緑化の推進、河川等の水辺環境の整備	23(8.1%)	21(10.2%)	25(6.4%)	20(13.4%)	21(9.8%)
地域での支え合いの環境づくり	24(7.7%)	27(7.4%)	26(6.3%)	29(7.4%)	26(7.4%)
生涯スポーツや競技スポーツの振興	25(7.3%)	28(6.3%)	28(6.0%)	28(7.6%)	32(5.0%)
障害者福祉の充実	26(7.0%)	24(8.1%)	23(8.1%)	22(11.1%)	23(9.3%)
交通安全対策の推進	27(6.8%)	31(5.7%)	32(5.0%)	27(7.6%)	30(5.5%)
文化芸術活動への支援、文化遺産の継承	28(6.1%)	34(4.6%)	30(5.4%)	35(6.2%)	37(4.0%)
工業の活性化	29(5.8%)	32(5.5%)	29(5.9%)	31(7.0%)	33(4.8%)
山あいの地域の農業の振興 (◎)	30(5.7%)	-	-	-	-
山あいの地域の魅力の向上 (◎)	31(5.7%)	-	-	-	-
豊かな森林づくり	32(5.3%)	29(5.9%)	31(5.1%)	36(5.4%)	29(6.4%)
健康づくりの推進	33(4.9%)	26(7.4%)	33(4.8%)	30(7.1%)	28(6.8%)
生涯学習の推進	34(4.8%)	33(4.9%)	34(4.7%)	33(6.5%)	35(4.4%)
多様な観光交流の推進	35(4.7%)	35(4.6%)	36(3.3%)	37(4.0%)	38(2.9%)
ユニバーサルデザインのまちづくり	36(3.8%)	40(3.0%)	37(3.1%)	39(3.2%)	39(2.6%)
上下水道の整備	37(3.0%)	37(3.3%)	35(3.9%)	34(6.4%)	31(5.2%)
地域コミュニティの活動支援	38(3.0%)	36(3.7%)	37(3.1%)	38(3.5%)	36(4.3%)
国際交流や多文化共生の推進	39(2.6%)	41(2.5%)	41(1.9%)	41(2.6%)	43(1.8%)
県内外の他市との連携の推進	40(2.5%)	39(3.2%)	42(1.8%)	40(2.8%)	42(1.8%)
環境教育や環境学習の推進	41(2.1%)	37(3.3%)	39(2.5%)	32(6.6%)	34(4.4%)
情報通信基盤の整備	42(1.7%)	43(1.7%)	40(2.0%)	44(2.0%)	40(2.1%)
地方分権、広域行政の推進	43(1.5%)	42(2.3%)	43(1.4%)	43(2.1%)	41(1.9%)
男女共同参画社会の実現	44(0.8%)	44(1.2%)	44(0.9%)	42(2.3%)	44(1.0%)
人権同和教育の推進	45(0.5%)	45(0.6%)	45(0.5%)	45(0.8%)	45(0.4%)
低所得世帯に対する保護 (▲)	-	20(10.4%)	18(11.6%)	19(13.8%)	20(10.8%)
山あいの地域の活性化 (▲)	-	25(7.9%)	27(6.3%)	26(8.0%)	27(7.3%)

(◎) 平成 23 年度調査からの新規項目

(▲) 平成 22 年度調査をもって廃止した項目

3 アンケート用紙

平成 23 年 10 月 25 日

各 位

「まちづくりアンケート」ご協力のお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

このアンケートは、市民の皆さまのご意見やご要望をお聴きし、長野市のまちづくりに反映させることを目的に、昭和 57 年度から毎年度実施しております。

本年度は、平成 23 年 10 月 16 日現在の長野市の住民基本台帳に登録されている 20 歳以上の市民の皆さまから、5,100 人の方を無作為に抽出させていただき、あなたにアンケートをお願いすることとなりました。

この調査のまとめはコンピューターにより統計的に処理を行いますので、個人の秘密が漏れたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはありません。つきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、この調査の趣旨をご理解いただき、アンケートの記入にご協力をお願い申し上げます。

なお、調査結果の概要は、平成 24 年 3 月発行の「広報ながの」に掲載する予定です。

敬具

長野市長 鷲澤 正一

ご記入の方法などについて

- ☆ この「まちづくりアンケート」は、あなた自身の率直な考えをお書きください。
- ☆ 回答は、あなた自身の考えに近いものをお選びください。
- ☆ 「その他」に当てはまる場合は、() 内に具体的に記入してください。
- ☆ **ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成 23 年 11 月 8 日 (火) までにご返送ください。**
- ☆ このアンケートについてのお問い合わせは、
長野市企画政策部広報広聴課広聴担当
電話：026-224-5004 (直通) までお願いいたします。

まちづくりアンケート

以下、選択肢の該当する番号に○をしてください。

【最初にあなた自身についてお聞きします】

問A あなたがお住まいの地区は。

- | | | | | | |
|---------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 1 第一 | 2 第二 | 3 第三 | 4 第四 | 5 第五 | 6 芹田 |
| 7 古牧 | 8 三輪 | 9 吉田 | 10 古里 | 11 柳原 | 12 浅川 |
| 13 大豆島 | 14 朝陽 | 15 若槻 | 16 長沼 | 17 安茂里 | 18 小田切 |
| 19 芋井 | 20 篠ノ井 | 21 松代 | 22 若穂 | 23 川中島 | 24 更北 |
| 25 七二会 | 26 信更 | 27 豊野 | 28 戸隠 | 29 鬼無里 | 30 大岡 |
| 31 信州新町 | 32 中条 | | | | |

※地区名が分からない場合は、町名を記入してください。(_____)

問B あなたの性別は。

- 1 男性 2 女性

問C あなたの年代は。

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代
4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上

問D あなたの職業は。

《自営業主および家族従業員》

- 1 農業・林業・漁業 2 工業 3 商業・自由業

《会社員・公務員》

- 4 会社員（事務系） 5 会社員（技術系） 6 公務員・教員

《その他》

- 7 主婦 8 パート・アルバイト 9 無職（学生含む） 10 その他

問E あなたは長野市にお住まいになって何年になりますか。

- 1 5年未満 2 5年以上10年未満
3 10年以上20年未満 4 20年以上

【レジ袋について】

問1 あなたのご家庭では、日常のお買い物をするとき、マイバッグ（買い物袋）を持参していますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 いつも持参している } → 問3へ（次ページ）
2 どちらかという持参している時が多い }
3 どちらかという持参していない時が多い } → 問2へ
4 まったく持参していない

問2 問1で「3 どちらかという持参していない時が多い」または「4 まったく持参していない」に○をした方にお伺いします。マイバッグを持参しない主な理由に1つだけ○をしてください。

- 1 面倒だから
2 忘れてしまうから
3 レジ袋を再利用したいから（主な用途： _____）
4 店でレジ袋を配ることは当たり前だから
5 その他（ _____ ）

問3 全員の方にお伺いします。買い物の際、レジ袋をもらえないとすれば、あなたはどのようにしますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 マイバッグを持参する
- 2 レジ袋が有料の場合は、購入する
- 3 レジ袋を無料で配布している他の店で買い物をする
- 4 その他 ()

【健康について】

問4 昨年度(平成22年4月から平成23年3月までの期間)にあなたが受けたがん検診(勤務先などの検診や人間ドックを含む)について、当てはまる欄すべてに○をしてください。

胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん (女性のみ)	子宮がん (女性のみ)	前立腺がん (男性のみ)
○	○	○	○	○	○

問5 平成23年9月から10月までの期間に、あなたは、屋内において受動喫煙(※)の害を受けたことがありますか。①から⑨の場所ごとに、当てはまるものを回答欄から1つだけ選んで番号に○をしてください。

(※) 受動喫煙：自分以外の人が吸うたばこの煙が混じった空気を吸い込むこと

<記入例>

場所	回答欄		
	受けた	受けなかった	行かなかった
○○○○○	1	②	3

場所	回答欄		
	受けた	受けなかった	行かなかった
① 自宅	1	2	3
② 職場	1	2	3
③ 学校など教育施設	1	2	3
④ 飲食店	1	2	3
⑤ 宿泊施設・公衆浴場	1	2	3
⑥ 遊技場(ゲームセンター、パチンコ店、カラオケ店など)	1	2	3
⑦ 公共交通施設(駅、バスターミナル、タクシー車両など)	1	2	3
⑧ 公共・公益施設(官公庁、医療機関など)	1	2	3
⑨ 地域公民館や冠婚葬祭施設などの集会場	1	2	3

問6 平成23年9月から10月までの期間に、あなたは、道路や公園など屋外の公共の場所で、自分以外の人が吸っているたばこによって、迷惑や被害を受けたことがありますか。次の中から当てはまるものすべてに○をしてください。

- 1 たばこの煙を吸わされた(受動喫煙の害を受けた)
- 2 やけどを負わされた、または負わされそうになった
- 3 衣服や手荷物などを焦がされた、または焦がされそうになった
- 4 その他 ()
- 5 特に迷惑や被害を受けたことはなかった

【公園での犬の散歩について】

本市は条例により、一部の公園（※）を除き、公園での犬の散歩を禁止しています。一方、近年、犬を飼う人の増加とペットの果たす社会的役割の増大に伴い、犬の散歩場所として、身近な憩いの場である公園を利用したいと思う方が増えています。

（※）犬の散歩が認められている公園：長野運動公園、八幡原史跡公園、真田公園、犀川第二緑地の一部の区域。なお、若里公園（県設置）も犬の散歩ができます。

問7 あなたは、公園で犬を散歩させることについてどう思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 公園利用の一つとして認めるべきである
- 2 犬と楽しく触れ合えるので、望ましい
- 3 マナーが良ければ、気にならない
- 4 放置されたふんが気になる
- 5 犬を散歩させるべきでない
- 6 その他 ()

問8 今後、公園での犬の散歩について、どのようにしていくのが良いと思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。また、そのように思う理由を枠内にご記入ください。

- 1 散歩できる公園を増やすべきである
- 2 現状のままでよい
- 3 現在の4公園を含め、公園での犬の散歩は禁止すべきである
- 4 その他 ()

<理由記載欄>

問9 犬を散歩させる際の飼い主のマナーについてどう思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 良い
- 2 悪い
- 3 分からない

(問10へ)

問10 問9で「2 悪い」を選んだ方にお伺いします。どんな点についてマナーが悪いと感じますか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

- 1 ふんの放置
- 2 引き綱を付けずに散歩すること
- 3 すれ違うときに引き綱を短くするなどの配慮が不足していること
- 4 公共の場所でのブラッシング（ブラシなどを使って毛を整えること）
- 5 その他 ()

問11 全員の方にお伺いします。あなたの家庭では犬を飼っていますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 はい
- 2 いいえ

【ウィンタースポーツについて】

問 12 昨年度（平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの期間）、あなたは次の施設を何回利用しましたか。
①から③の施設ごとに、利用した回数を回答欄から 1 つだけ選んで番号に○をしてください。



①エムウェーブのスケートリンク



②飯綱高原スキー場



③戸隠スキー場

<記入例>

施設名	回答欄				
	利用しなかった		利用した		
	スポーツ自体しなかった	市外の施設を利用した	1～2回利用した	3～5回利用した	6回以上利用した
○○○○○	1	2	③	4	5
△△△△△	1	②	3	4	5

施設名	回答欄				
	利用しなかった		利用した		
	スポーツ自体しなかった	市外の施設を利用した	1～2回利用した	3～5回利用した	6回以上利用した
①エムウェーブのスケートリンク	1	2	3	4	5
②飯綱高原スキー場	1	2	3	4	5
③戸隠スキー場	1	2	3	4	5

問 13 問 12 の 3 施設をさらに利用しやすくするために、どんなことを実施または充実させるべきだと思いますか。①から③の施設ごとに、次の 2 つの観点からそれぞれ 3 つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

■サービス提供の観点から

- 1 利用可能な日、時間、料金など施設に関するきめ細かな P R
- 2 ファミリー向けプラン、ファミリー割引などの家族対象サービス
- 3 市民向け格安チケットの販売
- 4 営業時間の延長（早朝、夜間営業の実施）
- 5 営業期間の延長（秋の営業開始から春の営業終了までの期間の延長）
- 6 市民向けイベント
- 7 ビギナー向けワンポイントレッスン
- 8 スキーやスケート以外の体験コーナー（スノーモービル、チューブライド、そりなど）
- 9 レストランのメニュー
- 10 スキー板やスケート靴など用具のレンタル

回答欄

	①エムウェーブのスケートリンク	②飯綱高原スキー場	③戸隠スキー場
■ サービス提供の観点から			

問 16 あなたは、体を動かす運動（1日 30 分以上）をどのくらい行っていますか。次の中から 1つだけ○をしてください。

- 1 週3日以上行っている 2 週2日行っている
3 週1日行っている 4 行っていない

問 17 お住まいの地区では、ホテルを見かけることがありますか。次の中から 1つだけ○をしてください。

- 1 今年見かけた 2 今年は見かけていないが、過去1～2年のうちに見かけた
3 ほとんど見かけない 4 見かけない

問 18 あなたは、「広報ながの」や「長野市ホームページ」などを通じ、必要な市政情報を手軽に入手できていると感じますか。次の中から 1つだけ○をしてください。

- 1 そう感じる 2 ややそう感じる
3 あまりそう感じない 4 そう感じない 5 分からない

【市政全般について】

問 19 あなたの日常生活を思い出していただき、No.1 からNo.44 のそれぞれの質問項目について、最も当てはまると思われる番号 1つに○をつけてください。実感や印象、経験でお答えください。

No.	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
例	□□□□や△△△△な環境が整っている	1	②	3	4	5

《都市整備について》

1	魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている	1	2	3	4	5
2	公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	1	2	3	4	5
3	歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	1	2	3	4	5
4	公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	1	2	3	4	5
5	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	1	2	3	4	5
6	高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	1	2	3	4	5

《産業、経済について》

7	自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	1	2	3	4	5
8	競争力があり価値が高い農産物が生産されている	1	2	3	4	5
9	山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	1	2	3	4	5
10	森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	1	2	3	4	5
11	工業や製造業に活気がある	1	2	3	4	5
12	個性的で魅力的なお店が増えている	1	2	3	4	5
13	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1	2	3	4	5

《教育、文化について》

14	子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	1	2	3	4	5
15	地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	1	2	3	4	5
16	文化・教育・趣味の講座など、学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	1	2	3	4	5
17	歴史・文化の保存や継承が、適切に行われている	1	2	3	4	5
18	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	1	2	3	4	5
19	外国の人や文化との交流が行われている	1	2	3	4	5

<問 19 の続き>

No.	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
-----	------	------	--------	-----------	--------	-------

《防災、安全について》

20	地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	1	2	3	4	5
21	消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	1	2	3	4	5
22	消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	1	2	3	4	5

《環境について》

23	地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	1	2	3	4	5
24	豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	1	2	3	4	5
25	資源のリサイクルやごみの減量化に対する取り組みが盛んである	1	2	3	4	5
26	騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	1	2	3	4	5
27	生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	1	2	3	4	5
28	やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	1	2	3	4	5

《保健、福祉について》

29	安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	1	2	3	4	5
30	高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5
31	高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	1	2	3	4	5
32	障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1	2	3	4	5
33	地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	1	2	3	4	5
34	健康相談や健診など健康づくりを支援する環境が整っている	1	2	3	4	5
35	専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	1	2	3	4	5
36	生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	1	2	3	4	5
37	男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	1	2	3	4	5

《行政経営について》

38	市民の意見を取り入れて、市民と行政が協したまちづくりが行われている	1	2	3	4	5
39	地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	1	2	3	4	5
40	山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	1	2	3	4	5
41	地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	1	2	3	4	5
42	他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	1	2	3	4	5
43	市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
44	市役所の職員の対応や取り組みは好感が持てる	1	2	3	4	5

問 20 住み良い長野市をつくるため、特に力を入れるべきだと思う施策を下記 45 項目の中から 5 つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

分野	番号	項目	分野	番号	項目
都市整備	1	中心市街地の再生	環境	24	環境教育や環境学習の推進
	2	ユニバーサルデザインのまちづくり		25	自然環境と生態系の保全
	3	きれいな景色や歴史的な街並みの保全		26	ごみの減量・再資源化の促進
	4	バスや鉄道などの移動手段の確保		27	不法投棄や公害の防止
	5	幹線道路や生活道路の整備		28	上下水道の整備
	6	情報通信基盤の整備		29	緑化の推進、河川等の水辺環境の整備
産業・経済	7	多様な観光交流の推進	保健・福祉	30	子育て支援の充実
	8	農業の再生・振興		31	介護予防の充実、介護サービスの充実
	9	山あいの地域の農業の振興		32	高齢者の生きがいづくり
	10	豊かな森林づくり		33	障害者福祉の充実
	11	工業の活性化		34	地域での支え合いの環境づくり
	12	商店街などの商業の活性化		35	健康づくりの推進
	13	安定した雇用の確保		36	医療体制の整備・充実
教育・文化	14	学校教育の充実	行政経営	37	人権同和教育の推進
	15	地域ぐるみでの子どもの健全育成		38	男女共同参画社会の実現
	16	生涯学習の推進		39	開かれた市政、市民参画の推進
	17	文化芸術活動への支援、文化遺産の継承		40	地域コミュニティの活動支援
	18	生涯スポーツや競技スポーツの振興		41	山あいの地域の魅力の向上
	19	国際交流や多文化共生の推進		42	地方分権、広域行政の推進
防災・安全	20	防災対策の推進	43	県内外の他市との連携の推進	
	21	消防・救急・救助体制の充実	44	民間活力の活用、行政改革の推進	
	22	交通安全対策の推進	45	利用しやすい行政サービスの提供	
	23	防犯対策の推進			

回答欄

1	2	3	4	5

アンケートは以上です。
お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

恐れ入りますが、11月8日(火)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

平成 24 年 3 月発行

発行：長野市

編集：長野市企画政策部 広報広聴課

長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 電話 026 (224) 5004 (直通)

E-mail : kouhou-kouchou@city.nagano.lg.jp

<http://www.city.nagano.nagano.jp/>

集計・印刷 カシヨ株式会社